

一 般 質 問 通 告 書

平成28年3月定例会（No. 1）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 方 相 手 方
1 野村広志	1 本市農業を取り巻く環境について	(1) 環太平洋パートナーシップ（TPP）協定の合意による本市農業への影響について ① TPPが与える本市農業への影響について、どのように考えているか。 ② TPP発効に向け、本市農業の採るべき備えについて、どのように考えているか。 ③ TPP発効をにらんだ本市の支援策の在り方について、考え方を問う。 ④ TPP発効により得るものがあるのか。また、その可能性をどのように考えているか。	市 長
		(2) 輸出に係るトップセールスにおいて、得られた成果と今後の在り方について ① シアトルへのトップセールスの結果として、どのような成果が得られたのか。 ② 今後のトップセールスの在り方をどう考えているか。 ③ お茶の消費拡大に向け、どのように取り組んでいく考えか。	市 長
		(3) 国際バルク戦略港湾の指定を受けた志布志港が、本市農業に与える影響と可能性について ① 志布志港における海外輸出の現状と課題について問う。 ② 農産物輸出の現状と今後の可能性をどのように捉えているか。	市 長
2 小辻一海	1 環境行政について	(1) 生物多様性地域戦略策定の進捗状況について問う。	市 長
		(2) 生物多様性の保全のためのボランティアに対する活動費支援策について問う。	市 長
		(3) メリケントキンソウ撲滅対策について ① 具体的な駆除対策と実施状況について問う。 ② 市民、学校、事業所への啓発と、取り組みに対する協力依頼について問う。	市 長 教育委員長
3 市ヶ谷 孝	1 ふるさと納税について	(1) ふるさと納税の現状をどのように捉え、今後の展望をどう考えているか。	市 長
	2 移住定住政策について	(1) 人口減少対策について ① 地域定着につながる婚活事業の在り方と、今後の取り組みについて問う。 ② 地域コミュニティへの参加意識を高めるため、様々な職場における入社式及び研修などの合同実施を導入する考えはないか。	市 長
4 八代 誠	1 危険廃屋解体撤去事業について	(1) 補助対象となる基準（対象物件）を見直しする考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年3月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 方 相 手
5丸山 一	1 環境行政について	(1) コアジサシの営巣地をつくり、守る考えはないか。	市 長
	2 防災行政について	(1) 平成27年6月定例会において、災害に強い街づくりについて質問したが、その後の対応等について問う。	市 長
6小野広嗣	1 港を中心としたまちづくりについて	(1) 平成28年度当初予算案において、国際バルク戦略港湾の整備実現に向けた、県による港湾計画変更のための予算4,600万円が計上されている。国際バルク戦略港湾は、今後の志布志市をさらに発展させる起爆剤となり、港を中心としたまちづくりに寄与することは間違いない。早期事業化に向けた今後の展望を示せ。 (2) これまで本市は、海外に姉妹都市、友好都市を持たなかったが、港湾を核とした国際交流都市への飛躍を図る上でも、海外友好都市提携を行い、積極的に国際交流を推進すべきではないか。	市 長
	2 国土強靱化地域計画について	(1) 「国土強靱化基本法」では、その第4条において地方公共団体の責務を明記するとともに、その第13条において、都道府県または市町村は「国土強靱化地域計画」を定めることが出来ると明記されている。本市では、いつ頃を目途にこの「国土強靱化地域計画」を策定しようと考えているのか。	市 長
	3 緊急輸送道路の空洞化対策について	(1) 災害に強い、安全で安心なまちづくりが求められている中で、最近、緊急輸送道路の下に空洞がどのくらいあるのかを調査する自治体がふえている。災害時の安全を確保するためにも、緊急輸送道路の空洞化対策を検討すべきではないか。	市 長
	4 教育行政について	(1) 施政方針では、確かな学力の育成の一環として、土曜学習教室(志学教室)や夏休み学習教室等で学校外での教育環境の充実を図るとあるが、これまでの成果と課題、今後の展望を示せ。	教育委員長
7東 宏二	1 政治姿勢について	(1) 一般質問における答弁後の対応について問う。	市 長
	2 安心、安全の街づくりについて	(1) 防犯カメラの設置について、現状と今後の取組みの考えを問う。	市 長
	3 公共事業について	(1) 都城・志布志道路や東九州道路建設事業での地元業者の工事実績と今後の見通しを問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年3月定例会（No. 3）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 方 相 手
8 小園 義行	1 政治姿勢について	(1) 庁舎等在り方研究委員会の取り組み状況を問う。 (2) アンケート結果を受けて、議論の進め方の方向性はどうか。 (3) 市長の退職金について、どう検討したのか。	市 長 市 長 市 長
	2 駅舎等整備総合計画について	(1) 基本計画の提案にいたるまでの議論の進め方について問う。 (2) (株)まちづくり公社への支援をどのように考えているか。	市 長 市 長
	3 ふるさと納税について	(1) 来年度20億円からの寄付を想定し事業が計画されているが、考え方を問う。	市 長
	4 学校教育について	(1) 給食費の多子世帯への支援をどう検討されたか。	市 長 教育委員長
9 平野 栄作	1 防災行政について	(1) これまで数年に亘り、地震・津波避難訓練を実施してきたが、津波災害に特化しており、市民の意識が全体的に高まっているとは感じられない。これまで実施してきた成果や反省点を踏まえ、今後訓練や防災政策への取組みをどのように実施していく考えか。 ① 自主防災組織の拡充と活動の活性化について ② 市民の意識高揚策について ③ 市民を中心とした避難訓練の実施について ④ 災害対策本部設置に伴う、現地対策本部設置の考え方と各種機関との連絡体制について	市 長
10 鶴迫 京子	1 市内体育施設について	(1) 現況と問題点をどのように捉えているか具体的に示せ。 (2) 今後の施設内のトイレ整備に対する考えは。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 有明地区公民館施設整備について	(1) 公民館内のトイレ改修の今後の見込みと考え方について問う。	市 長 教育委員長
	3 障がい福祉について	(1) 重症心身障害児・者の療育と支援体制について、本市の現状と今後の取組みについて問う。	市 長 教育委員長
	4 教育行政について	(1) 県立志布志高等学校の存続のための支援策について見解を問う。また、今後の取組みについてどのように考えているか。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年6月定例会（No. 1）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 防災対策・消防行政について	<p>(1) 4月に発生した熊本地震における被害の状況を踏まえると、本市の地域防災計画への影響や、見直し等の対応については喫緊の課題であると考える。震源地であった益城町においては、想定されていた避難計画や災害時計画については、その多くが機能しなかったと聞いている。本市は南海トラフ等の地震の備えと併せて、津波対策など課題は多いと思うが、今後の取り組みについてどのように考えているのか。</p> <p>① 隣県で発生した、熊本地震で本市はどのような被災地支援の対応が取られたか。</p> <p>② 熊本地震を受けて、地域防災計画の見直し等については、どのように考えているのか。</p> <p>③ 自主防災組織については、意識付けを含め強化していかなければならないが、どのように考えているのか。</p> <p>(2) 現在消防団は、7月3日に開催予定の志布志市操法大会に向けて、各分団訓練を積んでいるが、本市としてこの大会をどのように捉えているか。また、今後の支援の在り方について問う。</p>	市長 市長
	2 小野広嗣	1 防災対策について	<p>(1) 南海トラフを震源とする巨大地震の発生が予測される中、今回の熊本地震から何を学び、わがまちの防災対策にどう生かすべきかは、今を生きるうえでの重要なテーマである。本市では今回の巨大地震をどのように受け止め、災害から住民の生命と財産を守るのか。</p>
	2 住宅政策について	<p>(1) 本市の住宅政策では、住宅マスタープラン・ストック総合活用計画により、建替・改善・維持管理事業を進め、若者から高齢者まで誰もが安全に暮らせる豊かな居住環境を実現するとあるが、今後は、新たな課題に対応した住宅政策を計画的に推進する必要があるのではないか。</p>	市長
	3 青少年の社会参画について	<p>(1) 青少年が市政やまちづくりに参加する機会を増やし、社会への参加意識を高めるとともに、青少年の視点と意見を市政に反映させることによる施策の充実を図るべきではないか。</p>	市長 教育委員長
	4 食品ロス対策について	<p>(1) 日本の食料自給率は約4割にとどまるが、一方で、食べられるのに捨てられる食品ロスは年間約642万トンと推計されており、すでに先進的な自治体では、様々な食品ロス対策が行われている。本市においても、食品ロス削減のための取り組みを進めるべきではないか。</p>	市長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年6月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 毛 野 了	1 産業振興と企業誘致の取り組みについて	(1) 本市が、企業誘致を目的に購入・造成した遊休地を活用し、産業振興を図る考えはないか。 (2) 臨海工業団地の第2工区以降の分譲・譲渡の計画について問う。	市 長 市 長
	2 消防分団詰所の整備について	(1) 帖5区消防分団詰所の出入口を改善する考えはないか。	市 長
4 青 山 浩 二	1 体育施設について	(1) 有明野球場周辺に屋内練習場を建設する考えはないか。 (2) 有明野球場のスコアボードを電光掲示板にする考えはないか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 市民サービスについて	(1) 住民票の写しなどの証明書が全国のコンビニ等で取得できるサービスを実施する考えはないか。	市 長
5 西 江 園 明	1 災害時のまちづくりの考え方について	(1) 津波被害を想定した時、志布志町の高台に広場の確保をすべきではないか。 (2) 先般の新聞でも多くの自治体で緊急的に利用可能な用地の準備不足があると報道があった。本市は現在の状況で十分と考えるのか。 (3) 香月地区のふるさとづくり委員会は、設立当初の課題・要望として、高台に多目的施設を整備することや、港内の工業団地と体育館周辺を結ぶ橋りょう整備の二つの要望をあげたが、現在までの経緯と今後の考え方について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 職員の処分の在り方について	(1) 始末書を提出した職員は、最近5年間において、年度ごとに何人ぐらいいるのか。 (2) 平成26年度決算が不認定となったが、この事案の経緯について問う。 (3) 始末書を提出したことは、職員の履歴に記録されるのか。 (4) 処分の在り方について、今後の見解を問う。	市 長 市 長 市 長 市 長
	3 運動公園やしおかぜ公園一帯の管理状況について	(1) サッカーフェスティバルに来ていた県外のお客さんから、会場の管理について厳しい指摘があったが、このことに対する見解について問う。 (2) 運動公園一帯の管理区分について問う。 (3) この一帯の松の木が害虫のため枯れており、薬剤散布を行ったが、今までの経緯について問う。 (4) 施設管理の今後の対策について問う。 (5) 昨年の議会で、指定管理者制度の見直しをするとの答弁だったが、その後の取り組み状況について問う。	市 長 教育委員長 市 長 市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年6月定例会（No. 3）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手	方
6 八代 誠	1 市単独の補助事業における事務事業評価の在り方について	(1) マネジメントシートによる事務事業評価の、今までの経緯と改善状況について問う。	市	長
		(2) 外部評価を廃止した経緯と、その後の評価内容の検証について問う。	市	長
		(3) 評価検証後の補助基準の在り方をどのように改善しているのか。また、評価後に廃止もしくは新規となった事業はあるのか。	市	長
7 持留 忠義	1 茶業振興について	(1) 過去にも一般質問をしてきたが、課題に対してその後どのような対策を講じてきたのか問う。 (2) これまでのトップセールスの効果について問う。 (3) 今後の新たな振興策について、どのように考えているか問う。	市	長
	2 有明町開発農協跡地について	(1) これまでの経緯について問う。 (2) 既存施設の有効な利活用方法は考えていないのか問う。	市	長
	3 市営住宅について	(1) 山重・野神地区にそれぞれ新たに市営住宅を建設できないか問う。	市	長
8 鶴迫 京子	1 交通行政について	(1) 高齢者運転免許証自主返納支援制度について、これまでの推移と現状は。また、現在の特典を増やす方向での内容の見直しは考えられないか。 (2) 未来ある地域の宝である子ども達の命を守るために、交通量の多い志布志小学校・香月小学校・安楽小学校周辺の通学路エリアをゾーン30に指定できないか。	市	長
		市教育委員長	長	
9 小園 義行	1 政治姿勢について	(1) アンケート調査に4つの項目を追加するとの答弁であった。その後の庁舎等在り方研究委員会の取り組み状況について問う。 (2) 5月31日の南日本新聞に憲法アンケート結果が掲載されている。その内容について問う。	市	長
	2 商業振興について	(1) 小規模企業振興基本法に基づき、本市の諸条件に応じた施策を策定する考えはないか。	市	長
	3 福祉行政について	(1) 敬老祝金を75歳以上全員に支給するように見直す考えはないか。	市	長
	4 ひとり親家庭の支援策について	(1) 婚姻歴のないひとり親家庭がどれくらいあるのか。 (2) 寡婦（夫）控除を受けられないひとり親家庭に対して、みなし適用をして経済的負担を軽減する考えはないか。	市	長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年9月定例会（No. 1）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 有害鳥獣対策について	(1) 近年その数が著しく増加し、生息地の範囲が拡大している有害鳥獣被害について、ここ数年間の被害状況と被害金額の推移をどのように捉えているのか問う。 (2) 市民からの被害の報告を受け、その対応に至るまでの経緯を示せ。また、現在の対応で十分と考えているのか問う。 (3) 現在までの有害鳥獣捕獲事業による実績で、十分な効果を発揮していると考えているのか問う。 (4) 生活環境の保全及び農林水産業被害の未然防止策について、現状を踏まえ、今後どのように進めていく考えなのか問う。	市長 市長 市長 市長
	2 廃棄物処理施設について	(1) 現在本市では、曾於南部厚生事務組合と曾於北部衛生処理組合の、広域連携による処理施設を持っているが、いずれも経年による老朽化が著しい。今後の長寿命化並びに適正管理の在り方について見解を問う。	市長
	3 リサイクル・ごみ分別について	(1) 徹底したごみの分別・再資源化は、高齢化によるごみ出し困難者の増加を招いているのではないかと。市民意識の啓発及び向上に向けてどのような取り組みがなされているのか。また、ごみ出し困難者への支援は効果的に機能しているのか問う。	市長
2 小野広嗣	1 地方創生について	(1) 地方創生の実現に向け、全国の自治体で地方創生戦略競争が始まっている。地方創生の有益な施策として、移住政策をどう推進し成功させるかがカギの一つであると考えているが、本市の現状と今後の取り組みについて問う。	市長
	2 公共施設等の適正な管理について	(1) 志布志市まち・ひと・しごと ころざし創生戦略には、人口規模や財政状況を踏まえた公共施設やインフラ等の管理方針の強化に努めるとあるが、公共施設等の今後の在り方について、具体的にどのように考えているのか。 (2) 志布志市まち・ひと・しごと ころざし創生戦略では、公共施設最適化プロジェクトを推進するにあたり、PPP/PFIの活用を視野に入れているが、具体的な方向性は見えているのか。	市長 市長
	3 クルーズ船の誘致について	(1) 自治体等でクルーズ船の誘致強化に向けて、港湾施設を整備する動きが活発化している。大型クルーズ船が地方に寄港できれば、その経済効果は大きい。志布志港への船舶ツアーの誘致について、どのように考えているのか。	市長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年9月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2小野広嗣	4 行政機関のペーパーレス化の推進について	(1) ペーパーレス化の推進に向けて、ICT機器を使い、行政運営の効率化を進めている自治体が増えている。タブレット機器の活用等、本市でも導入していく価値があると思うが、見解を問う。	市 長 教育委員長
3平野栄作	1 防犯対策について	(1) 市内では、複数の団体が青パト隊として地域の防犯活動を積極的に推進している。児童の登下校及び高齢者の見守りの観点から、市内各地で活動が展開できる体制づくりが望まれると思うが、以下の点について問う。 ① 申請事務のサポートはできないか。 ② 物品の貸与は考えられないか。 ③ 犯罪や不審者の発生情報の提供（メール等）はできないか。 ④ 定期的な研修実施の取り組みはできないか。	市 長
	2 公用車の貸与について	(1) 市の車両を外郭団体へ貸与しているが、以下の点について問う。 ① 日常管理・定期管理の在り方と修理等経費負担の状況は。 ② 更新計画の策定状況は。 ③ 故障等で稼働できない場合の代替車の手配は。	市 長
	3 公共施設の改修について	(1) 開田の里公園は、建設後相当の期間が経過し、歩道については当初カラー舗装であったが、現在はその形跡も無くなっている。また、従来芝であった部分もほとんどが雑草となっているが、部分的にでも改修が必要ではないか。	市 長 教育委員長
4八代 誠	1 教育行政について	(1) 学力向上日本一に対する取り組みのうち、「志学教室」及び「夏休み学習教室」の成果と今後の課題について問う。 (2) 本市の「総合教育会議」における協議内容について。 ① 今後のタブレットパソコン導入の在り方について問う。 ② 小中一貫教育に対する考え方と、今後の進め方について問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 志布志港フェリー旅客待合所周辺環境について	(1) 2018年の3月及び6月に、「フェリーさんふらわあ」2隻の新造が決定した。そのことを受けて、県が所管する待合所周辺の緑地・若浜運動公園・県道の、今後の管理について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年9月定例会（No. 3）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5市ヶ谷 孝	1 選挙について	(1) 「18歳以上」へと選挙権年齢が引き下げられて以降、初の国政選挙となった第24回参議院議員通常選挙、2016年鹿児島県知事選挙が7月に行われた。本市における投票率の年代別分析と、対象年齢引き下げによる対象者への今後の対応について問う。	市 長 教育委員長
	2 福祉政策について	(1) 本市における生活保護の在り方について。 ① 本市の生活保護の現状について問う。 ② 保護申請に伴う手続きと、申請状況について問う。 ③ 様々な段階があると思うが、それぞれの生活状況の見守りや、就業指導等についてどのように対応されているのか問う。	市 長
6小園 義行	1 政治姿勢について	(1) 庁舎等在り方研究委員会で、この間具体的に研究した内容と、その結果を問う。 (2) 志布志事件の控訴審判決が確定し、志布志事件の裁判は刑事・民事共に終結した。どのように受け止めているか。	市 長 市 長 教育委員長
	2 介護保険について	(1) 8月から補足給付の収入算定が強化された。影響はどうか。	市 長
	3 福祉行政について	(1) 志布志支所に生活保護面接相談員を配置している理由は何か。	市 長
	4 学校教育について	(1) 就学援助制度の周知方法等について、実施時期を問う。 (2) 就学援助制度による入学準備金を入学前に支給できるように見直す考えはないか。	教育委員長 市 長 教育委員長
7丸山 一	1 有害鳥獣被害対策について	(1) 本市の有害鳥獣による被害は、増加傾向にあるが、猟友会をはじめとする捕獲従事者は減少傾向にある。市内各地区の対応と、今後の後継者確保をどのように考えているのか問う。	市 長
	2 工業団地造成について	(1) 第4工区の造成の進め方について、第4工区より川下にある水田への水利については、関係者との協議が必要と思われるが、どのように進めていくのか問う。	市 長
	3 防災行政について	(1) 今年3月定例会で質問をした避難タワーについては、予算措置を含め検討するとの答弁だったが、その後の進捗について問う。 (2) 一丁田地区排水対策は、当初予算に計上されていた。今現在、着工されていないが、豪雨時期に間に合うような施工が望ましいと思うが、着工時期について問う。	市 長 市 長

一般質問通告書

平成28年9月定例会（No. 4）

質問者	件名	要旨	質問の相手方
8小辻一海	1 道路行政について	(1) 県道塗木大隅線改良工事の進捗状況と、今後の見通しについて問う。 (2) 国道220号線外岩戸ガソリンスタンド前の歩道と、信号機の設置について問う。	市長 市長
	2 行政改革大綱に基づく職員業務の在り方について	(1) 業務量調査が職員の配置等、円滑な事務執行のために適正に生かされているか。 (2) 職員による自治会使送について問う。	市長 教育委員長 市長 教育委員長
	3 鳥獣被害対策について	(1) 鳥獣被害の現状と対策について問う。 (2) 市の支援策と猟友会の現状、協力体制について問う。	市長 市長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年12月定例会（No. 1）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村 広志	1 雇用の創出について	<p>(1) 平成27年度に、人口減少に歯止めをかけ、将来に向けて魅力ある地域づくりを目指す、志布志市まち・ひと・しごと ころざし創生戦略が取りまとめられた。</p> <p>その中で、基本目標及びプロジェクトにおいて「志布志にしごとをつくり、安心して働けるようにする～若年層の地元回帰希望をかなえる体制整備～」が基本目標のひとつに掲げられている。</p> <p>そこで、現在の若年層が抱える課題が本プロジェクトで補われているのか。また、1年を経過して、創生戦略の目標達成に向けた進捗状況を問う。</p>	市 長
	2 教育行政について	<p>(1) 施政方針では、「地域とともにある学校づくり」を目指し、コミュニティ・スクールの導入を進めるとしている。更に、小中一貫教育に向けた研究への取り組みも表明されているが、このことは、総合教育会議の中で、どのように議論がなされたか。併せて、今後の在り方について問う。</p>	市 長 教育委員長
2 平野 栄作	1 防災対策について	<p>(1) 近年、我が国では地震を始め台風等による災害が多発傾向にあり、本県でも数年ぶりに上陸した台風16号の影響により多大な被害が発生した。</p> <p>地震においても、熊本・鳥取・福島沖地震が相次いで発生し、近い将来、南海トラフ地震も予想される中、災害に対する自助・共助といった意識付けを更に高める必要があると感じるため、以下の点について問う。</p> <p>① 自治会活動メニューに防災活動を盛り込む考えはないか。</p> <p>② 盛岡市では「シェイクアウト」を導入し、全市民が防災意識を持つ試みを展開しているが、本市でも導入すべきではないか。</p> <p>③ 災害情報収集・情報発信・避難所管理等を円滑に行うために、どのような対策を考えているか。</p> <p>④ 秋田県や岩手県では、公共施設の案内板に避難場所及び海拔の表示があり、地域外の人にも分かりやすいと感じたが、今後このような表示板等を設置する考えはないか。</p> <p>⑤ 地震への備えとして、家屋内の物品転倒防止や、ガラス等の飛散防止等の対策があるが、これらを広く普及するための対策は考えられないか。</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年12月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 平野栄作	2 移住定住対策について	(1) 農村部においては、人口の減少が進んできており、更に新たな住宅用地も確保できないことから、今後一層拍車が掛かることが推測される。 一方、集落内を見渡すと空き地や廃屋等が点在しており、一括して整備することで、新たな住宅用地としての活用が期待できると思われるが、市が窓口となって取りまとめを行い、住宅用地として整備する考えはないか。	市 長
		(2) 移住定住策の一環として、働く場を創設するという意味合いから、集落営農等の組織設置を後押しする体制づくりを行う考えはないか。	市 長
3 小野広嗣	1 無電柱化について	(1) 電柱は、通行空間の安全性・快適性の確保、良好な景観の形成、道路の防災機能の向上などによって、大きな阻害要因となっている。まずは志布志支所を中心にして、新町通り・上町通りの無電柱化を図る考えはないか。	市 長
	2 インフラ老朽化対策について	(1) JR博多駅前の大規模な道路陥没は大きな衝撃を与えた。限られた資金でどのようにインフラを維持・管理するかが大きな課題となってきている中、本市において悲惨な事故を起こさないために、適切な公共施設の維持管理に今後どのように取り組むのか。	市 長
		(2) 3月定例会において、市が選定している緊急輸送道路の空洞化対策について質問した。「600万円程度で調査事業ができるとすれば、計画は立てたい」との答弁であったが、その後の検討状況を問う。	市 長
	3 高齢者の交通事故防止対策について	(1) 高齢化の進展で、高齢者の交通事故が増加していく中、市としてもこれまで以上に安全対策、防止対策に取り組まねばならないと思うが、現状をどのように認識し、対策を講じようとしているのか。	市 長
4 いじめ問題について	(1) いじめが発生した後に対処することも大切だが、いじめを起こさせない社会づくりに努めることは大人の責任である。「いじめ防止対策推進法」の施行から3年余り経過したが、本市の取り組みについて問う。	市 長 教育委員長	

一 般 質 問 通 告 書

平成28年12月定例会（No. 3）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 西江園 明	1 鳥獣被害対策について	(1) 「アナグマ」の実態と被害額について問う。 (2) 捕獲による助成金の支出はあるのか。 (3) 今後の対策と、アナグマの捕獲と処分に対する助成金の在り方について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 教育現場のトイレの洋式化について	(1) 小中学校の洋式トイレの普及率を問う。 (2) 最近の改修率を問う。 (3) 今後の改修計画を問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	3 学校給食について	(1) 給食費の未納の状況について問う。 (2) 野菜の価格高騰により給食の中止をした自治体があったが、見解を問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	4 市営住宅入居者の保証人について	(1) 昨年一般質問があったが、その後の進捗状況を問う。	市 長
5 青山浩二	1 農業振興について	(1) 農業従事者や次世代の後継者、新規就農者への支援の在り方について問う。 (2) 6次産業化への現状と、今後の方策について問う。 (3) 中学生の修学旅行を利活用して、現地の郷土会等と連携し、旅行先で地元産品を販売する考えはないか。	市 長 市 長 市 長 教育委員長
	2 ICT（情報通信技術）の活用推進について	(1) ICT（情報通信技術）を積極的に活用した、新たな行政運営に対する考え方を問う。	市 長
6 八代 誠	1 本市が取り組んでいる交通施策の現状と今後について	(1) 高齢化率がピークとなる2025年を前に、現在の交通施策を再検討し、新公共交通システムを構築していく考えはないか。 ① 福祉タクシー運行事業について ② 地方公共交通対策事業について ③ 志布志中学校通学バス運行事業について	市 長 教育委員長
	2 東九州自動車道について	(1) （仮称）夏井インターチェンジから県境までの区間に、上下線相互利用できるパーキングエリア（海側）の設置を要望する考えはないか。	市 長
7 小園義行	1 政治姿勢について	(1) 庁舎の在り方については、将来を見据え、広域的な視点で研究を重ね、次のステップに進むと答弁しているが、この間の取り組みを問う。	市 長
	2 子育て支援について	(1) 妊婦健康診査における多胎児妊娠の診査回数等の現状はどうか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年12月定例会（No. 4）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7 小園 義行	3 高齢者福祉について	(1) 福祉タクシーの運行について ① 利用者の待ち時間を短くする等の見直しはできないか。 ② 松山地区における利用者の利便性を考え、曾於市の思いやりタクシーの利用等について、曾於市と協議し利便を図る考えはないか。	市 長
	4 学校教育について	(1) 小中一貫教育についての考え方を問う。	市 長 教育委員長
8 市ヶ谷 孝	1 福祉行政について	(1) 福祉タクシー運行事業について ① 予算規模、利用者数など、事業効果の現状についての認識を示せ。 ② 担当部署内、または関係団体や委託先との協議の中で、どの様な意見や課題が上がっているか。 ③ 今後の社会情勢の動向をどの様に捉え、この事業の継続を図っていくか。市長の考え方を問う。	市 長
9 鶴迫 京子	1 地域振興策について	(1) 高校の存在は、地域活性化に重要な役割を果たすと思う。本市も地域の高校存続のため、支援策が本年度からスタートしたが、地域振興策の一環としてさらに拡充する考えはないか。	市 長 教育委員長
	2 公共交通行政について	(1) 過去に（平成24年12月、平成25年6月）交通弱者対策など公共交通の在り方について一般質問してきたが、それらに対するこれまでの進捗状況と、今後の方向性について問う。	市 長
		(2) 6月定例会で、高齢者運転免許証自主返納支援制度について一般質問したが、見直しは進んでいるか。	市 長
	3 保健行政について	(1) 母子検診において、乳児（生後3～4か月）検診、1歳6か月児検診、3歳児検診を、現在の集団検診から個別検診へ見直す考えはないか。	市 長
(2) ひとり親家庭医療費助成の窓口申請を、子ども医療費助成と同様に簡素化できないか。		市 長	
4 環境行政について	(1) 本市においても、高齢者をはじめ各種団体を対象とした環境学習会が実施されているが、小中学校と連携し、児童・生徒を対象に環境教育を実施する考えはないか。	市 長 教育委員長	

一 般 質 問 通 告 書

平成29年3月定例会（No. 1）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 方 相 手 方
1 野村 広志	1 災害復旧に向けた対応について	(1) 近年の異常気象で頻発する豪雨や台風により、県内の農作物や家畜、倉庫やビニールハウス、畜舎などの農業施設が多大な被害に見舞われている。本市においても、昨年の台風16号で被害を受け、現在も復旧されていない箇所が多く見受けられる。そこで、本市の災害復旧の対応について問う。	市 長
	2 国際物流拠点志布志港の更なる活用について	(1) 志布志港では、飼料穀物を中心とする輸入貨物と、輸出貨物の取扱量のアンバランスさは長年の懸案となっている。また、背後地には農作物の生産供給地域を抱え、更に港の役割と責任は重大であるとする。それらを鑑み、今後の志布志港の目指すべき方向性を問う。 (2) 志布志港を活用した農産物の輸出について以前質問したが、その後どのような協議がなされてきたのか。 (3) 志布志港が持つ可能性と更なる活用について、観光客に優しく、市民が身近に感じられる港湾整備の在り方について問う。	市 長 市 長 市 長
2 小野 広嗣	1 施政方針について	(1) 健全な財政運営を維持しながら、施策及び事務事業の執行管理能力を最大限に発揮できるように組織体制の構築を目指すため、抜本的な組織機構の見直しに努めるとあるが、その具体的な展望と港湾商工課の志布志支所移転については、どのように考えているのか。 (2) 市道香月線延伸計画に伴い、志布志港から東九州自動車道へのアクセス向上及び地域の活性化に寄与するために、有明町野井倉地内に志布志有明インター（仮称）の本線連結の申請を行い、本格着工するとあるが、今後の具体的な展望を示せ。 (3) 母子保健事業の中で、子育て世代包括支援センター等による妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援ができる体制づくりに取り組むとあるが、子育て支援日本一のまちづくりを目指す本市ならではの特色ある体制を構築すべきではないか。	市 長 市 長 市 長
	2 認知症対策について	(1) 認知症で徘徊する高齢者の早期発見や事故を未然に防ぐ、認知症高齢者の見守り支援のための仕組みづくりについて、各自治体が知恵を絞っているが、本市の現状と課題、今後の対策について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成29年3月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2小野広嗣	3 子どもの貧困対策について	(1) 国は、学校をプラットフォームとした総合的な子どもの貧困対策推進体制の構築を掲げている。本市の子どもの貧困の現状及びこれまでの取り組みと課題、並びに今後の対策について問う。	市 長 教育委員長
3小辻一海	1 人口減少対策の実効性について	(1) 地方創生を進める中、まち・ひと・しごと ころざし創生戦略に掲げた人口目標の達成に向けた取り組みについて問う。 (2) 移住・定住政策の取り組みについて ① これまでの実績と今後の取り組みについて問う。 ② 具体的な情報発信対策について問う。	市 長 市 長
4玉垣大二郎	1 固定資産の名寄せ台帳について	(1) 固定資産の名義人（所有者）が、共有持ち分となっている場合の、問い合わせ等に対する対応について問う。	市 長
	2 観光行政について	(1) J R 志布志駅を核としたまちづくりを進めているが、今後の駅舎本体の整備の在り方を問う。 (2) 新たな駅舎の整備を進めるにあたり、J R九州との協議の状況について問う。	市 長 市 長
	3 教育行政について	(1) 教育は知・徳・体の育みが大きな柱となるが、最近食育の重要性が叫ばれている。本市の食育についての取り組み状況について問う。	教育委員長
5持留忠義	1 公共施設の現状について	(1) 市役所本庁下の多目的広場は、ゲートボールに利用される方も多い。一方で、水はけが悪く利用しにくい面もある。何らかの排水対策はできないか問う。 (2) ゲートボール場として専用施設の整備はできないか問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 畜産振興について	(1) 畜産農家は高齢化に伴い減少傾向にある。肉用牛の生産農家の現状と、今後さらなる支援策は考えられないか問う。 (2) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業の実績と効果について問う。	市 長 市 長
	3 交通安全協会に対する取り組みについて	(1) 志布志地区交通安全協会は、県の協会と市からの助成などにより運営を継続してきた。助成額が減少する中、運営が厳しい状況にある。市からの負担金の増額はできないか問う。	市 長
6八代 誠	1 自治会の在り方について	(1) 市内自治会の現状と今後の支援策について問う。	市 長
	2 開田の里公園について	(1) 開田の里公園敷地内にある通称「桜山」の現状と、今後の管理等の在り方について問う。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成29年3月定例会（No. 3）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 方 相 手
7 青山 浩二	1 市役所職員の時間外勤務と健康管理について	(1) 昨年度の職員の時間外勤務の実情について問う。 (2) 精神的・身体的なストレス等による病休・休職者の現状について問う。 (3) 平成27年12月からストレスチェック等の検査が義務付けられたが、職員への実施時期・実施方法、またその管理と活用策について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 中学校の部活動の休養日及び指導者体制について	(1) 顧問教員の業務負担軽減策として、文部科学省とスポーツ庁は本年1月に、部活動の休養日を適切に設けるよう求める通知を全国の教育委員会に出したが、本市の中学校部活動の実情を問う。 (2) 業務多忙な顧問教員の、長時間練習の負担に対する考え方と対策について問う。 (3) 学校職員以外の外部指導者の実情を問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
8 丸山 一	1 道路行政について	(1) 一丁田・上通山地区から海岸へ通じる里道（旧赤線道路）の一部が造成工事のため通行できない状況にある。現状を調査し、通行可能にする対応はできないか。 (2) 野井倉土地改良区内の3号水路沿いの、有明小・中学校への通学路に設置されている防護柵は、足元が崩落し危険な状態である。今後、速やかに対応を講じる考えはないか問う。	市 長 市 長
	2 市内の石橋の保護について	(1) 近年の豪雨等で、市内の石橋が数箇所流出している。歴史的建造物としての価値もあるので、今後の石橋保護についてどのように考えているか問う。	市 長 教育委員長
9 東 宏二	1 港湾行政について	(1) 志布志港は「国際バルク戦略港湾」として、現在国と県において計画変更の手続きが進められ、平成29年度には予算措置も見込まれている。今後の整備見込みと事業費負担について問う。 (2) 港湾整備が漁業に与える影響はないのか問う。 (3) 観光バースの管理の現状と、今後の対応について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 住宅行政について	(1) 近隣自治体では、移住・定住策として様々な住宅政策を行っている。本市でも若者向けの住宅建設により、人口増につなげる考えはないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成29年3月定例会（No. 4）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10鶴迫京子	1 商工・観光行政について	(1) 「まちあるき」観光や、定期的に行われる各種イベント等、またグルメ通りとしても年々にぎわいが創出されている商店街（志布志上町通り）には、駐車場やトイレ、また授乳やオムツ交換などが安心して行える施設等の整備がなされていない。このような現状で、食・グルメや人、自然、文化、歴史など最高のものに触れても、志布志の魅力は半減してしまう。これでは日本一のおもてなしとは言い難い。 ① この現状をどのように捉えているのか。 ② 観光客や消費者等のニーズに応えるためにも、早急に整備を図る考えはないか。	市 長
11小園義行	1 政治姿勢について	(1) 庁舎等在り方研究委員会で、この間に研究された内容と結果を問う。 (2) 本庁舎の位置等について、第2次志布志市総合振興計画案策定の中ではどのように議論されたのか。	市 長 市 長
	2 国民健康保険について	(1) 2018年度から、運営を都道府県に移管されることが決まっているが、保険税等どのように変わるのか。	市 長
	3 福祉行政について	(1) 生活保護を受給している人に対する指導や指示に対する考えを問う。 (2) 生活保護受給者の、転居に対する考えを問う。 (3) 母子生活支援施設の運営について問う。	市 長 市 長 市 長
	4 施政方針について	(1) 総合教育会議等を通して「志の心」を育ててまいりますと述べている。具体的な取り組みを問う。 (2) タブレット導入による行政事務の効率化及びペーパーレス化を検討するとあるが、具体的な取り組みを問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成29年6月定例会（No. 1）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 政治姿勢について	(1) 本田市政3期12年の最終年度を迎え、これまでの行財政運営の総括と、次期市長選挙（4期目）に対する考えを問う。	市 長
	2 財政運営について	(1) 地方自治体の財務会計制度は専門性が高く、処理方法も複雑で分かりづらいため、市民に財政の状況を分かりやすく情報開示することは、市の重要な責務でもある。そこで、本市の具体的な財政の状況について問う。	市 長
2 西江園 明	1 志布志港内（さんふらわあ発着場前）の若浜運動公園の管理について	(1) 今回、補正予算で計上されている「市民が親しむ港づくり推進事業」の内容を問う。 (2) 公園内にあるソフトボール場の今回の計画を問う。 (3) 来年度以降の管理計画を問う。 (4) 大浜緑地のように将来的に市で引き取り、管理する計画はないか。	市 長 市 長 市 長 市 長
	2 福祉タクシーについて	(1) 福祉タクシーの現状を問う。 (2) 志布志地区、有明地区、松山地区、それぞれの現状を問う。 (3) 以前、協議する場を設けると答弁があったが、その結果を問う。 (4) 先進事例を視察したようだが、感想を問う。 (5) 福祉タクシーも含めた、今後の本市の公共交通計画について問う。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長
3 小野広嗣	1 地方公会計の整備促進について	(1) 本年度は、国が示した統一的な基準による地方公会計の整備促進の完了年度であるが、本市の取り組みの現状と、整備された財務書類を基にした財政状況を、市民に分かりやすく開示するための在り方について問う。	市 長
	2 情報化の推進について	(1) 情報化の推進については、「志布志市情報化基本計画」及び「志布志市情報化実施計画」を、来年度から「志布志市情報化計画」へ一本化する予定となっているが、策定に向けた推進状況について問う。 (2) 各地の地方自治体では、自治体が直面する課題の解決に貢献し、地域住民にとって役立つスマートフォン用のアプリやWEB用アプリを開発し、地方情報、観光、防災、健康、福祉等、便利な情報を住民及び観光客などに提供している。このような自治体用のアプリについての認識を示せ。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成29年6月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 小野 広嗣	3 文化芸術の振興について	(1) 国の文化芸術振興基本法の成立以降、現在、第4次基本方針（2015～2020年度）に沿って施策が展開されている中、自治体の文化芸術施策の根拠となる条例づくりも各地に広まっている。施策の展開にはビジョンとなる柱が必要と考える。本市でも文化芸術振興条例の策定を検討してはどうか。	市 長 教育委員長
	4 読書環境の充実について	(1) 本市では、子供の読書活動を推進するためのキャッチフレーズとして「1日20分読書～いつも身近に1冊の本を～」と掲げているが、その現状と学校等において子供たちの読書意欲を高め、読書活動を積極的に進めるための方策について問う。	教育委員長
4 八代 誠	1 告知放送端末管理事業について	(1) 本市が平成22年度に導入した「地域情報通信基盤整備推進事業」について ① 導入の経緯について問う。 ② 導入時の財源内訳について問う。 ③ 導入完了から現在までの経費について問う。 (2) 行政告知放送端末と防災行政無線戸別受信機の違いについて問う。 (3) 今後の告知放送端末管理事業の個人負担の在り方について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 市内農業者の雇用について	(1) 今年度における一番茶の実績について問う。 (2) 立地企業に対して本市が取り組んでいる「企業立地促進補助金等交付事業」の内容について問う。 (3) 農業者への雇用促進に対する補助制度は検討できないか問う。	市 長 市 長 市 長
5 平野 栄作	1 環境行政について	(1) メリケントキンソウについては、平成26年6月に、この植物の生態と市内における繁殖状況について、平成27年9月に、駆除に向けた取り組みの現状と進捗状況についての質問があった。 ① その後、市当局としては駆除した実績をどの程度と見ているか。 ② 駆除に成功した場所、繁殖が拡大した場所があると思うが、その認識を問う。 ③ 関係団体との駆除に対する連携は構築されているのか。 ④ 2019年撲滅を早い段階で宣言したが、今後のタイムスケジュールについて問う。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成29年6月定例会（No. 3）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 平野 栄作	2 有害鳥獣対策について	(1) 有害鳥獣への対策は、自己防衛策に加えて公的側面の捕獲作業を組み合わせることが重要だと考える。 ① 市内における被害発生箇所等のマップを作成し、周知等に活用する考えはないか。 ② 捕獲等を推進するために、他組織との連携や、人材の育成を図る考えはないか。	市 長
	3 公民館活動について	(1) 校区公民館の運営については、自治会加入率等による構成員数や高齢化の進展状況等、地区により活動内容に大きく差が生じてきていると感じるが、全体的な活性化に向けての対応が必要であると考え。 ① 今後、どのような活性化策を検討しているのか。 ② 公民館長の充て職の改善は考えられないか。 ③ 校区公民館の構成員の減少は、コミュニティの欠如につながると思うが、市としてのバックアップ体制をどう考えているのか。	市 長 教育委員長
6 丸山 一	1 農道整備について	(1) 通山地区のコスモス祭りは、スタートから12年経って広域的に知られるようになり、来場者も2千人を超え、喜ばしい限りである。しかし、駐車場の不足や渋滞の対応など、周辺の整備が必要となっている。その対応策は考えられないか問う。	市 長
	2 道路行政について	(1) 県営ラフォーレ松原団地横の市道は、雨が降るたびに30cm程冠水している。安楽川方面への排水対策はできないか問う。	市 長
	3 鳥獣被害対策について	(1) 本市の鳥獣被害は増加傾向にあり、農家にとっては死活問題となっている。このことについて昨年9月議会で3人が一般質問したが、その後の対応と効果は上がったのか問う。	市 長
7 市ヶ谷 孝	1 婚活事業について	(1) 人口減少社会の中、婚姻率も減少傾向をたどっているが、婚活事業はその対策の一つとして年々重みを増している。行政に限らず、市内で行われている関連事業について、情報の集約と発信をより効率的・効果的に行い、事業効果を更に高めていく考えはないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成29年6月定例会（No. 4）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7市ヶ谷 孝	2 自殺予防対策について	(1) 若者の自殺率の増加傾向は近年大きな社会問題として取りざたされているが、本市における現状と対策はどのようになっているか。	市 長
		(2) 5月15日に「新たな自殺総合対策大綱の在り方に関する検討会」が取りまとめた報告書では、若者の自殺対策を重視するとともに、地域の実情に応じた細かな施策を実施していくことが挙げられている。厚生労働省が5月30日に公表した「平成29年度版自殺対策白書」の内容とあわせて、今後、市としてどのように対応していくのか問う。	市 長
8小園 義行	1 政治姿勢について	(1) 庁舎等在り方研究委員会の取り組み状況について問う。	市 長
		(2) 市長の退職手当は見直しをすべきと思うが考えを問う。	市 長
	2 嘱託職員等の待遇改善について	(1) 安心して働ける環境づくりをすべきと思うがどうか。	市 長 教育委員長
		(2) 市長部局以外の職場についての考え方を問う。	市 長 教育委員長
	3 保健行政について	(1) 在宅寝たきり老人等介護手当支給事業の見直しは考えられないか。	市 長
		(2) 介護保険で実施している家族介護用品支給事業について問う。	市 長
	4 福祉行政について	(1) 敬老祝金を75歳以上の全ての人に支給するように見直す考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 9 月 定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 教育行政について	<p>(1) 市内高等学校支援事業において、様々な支援を行っている中、バス運行事業者よりスクールバスの減便が通達されたと聞く。そこで、その経緯と影響等及び対応策について問う。</p> <p>(2) 学習指導要領の改訂に伴い、子供たちの学び方が大きく変わろうとしている。そこで、今後の本市の子供たちに必要とされる学び方について問う。</p> <p>(3) かごしま県民のための自転車の安全で適正な利用に関する条例の制定がなされ、10月1日に施行されるが、本市の現状と啓発の在り方について問う。</p> <p>(4) 子供たちを取り巻く環境の中で、家庭の日、青少年育成の日、育児の日等が設置されているが、本市においての取り組み方と考え方について問う。</p> <p>(5) 想定外の大規模災害が発生する可能性を考えた場合に、あらゆる観点からの防災教育の在り方については、充実を図る必要があると思う。そこで、役割を担うべき子供たちの人材育成を積極的に推進していく考えはないか問う。</p>	<p>市 長 教育委員長</p> <p>市 長 教育委員長</p> <p>教育委員長</p> <p>教育委員長</p> <p>市 長 教育委員長</p>
2 小野広嗣	1 防災対策について	<p>(1) 7月の九州北部豪雨により甚大な被害が発生したが、その後も、これまでの常識をはるかに超えるような集中豪雨によって災害が起きている。今後、同じような災害の発生が予測される中、想定外を排した従来の経験や発想にとらわれない、きめ細かな防災対策が急務ではないか。</p>	市 長
	2 ふるさと納税について	<p>(1) ふるさと納税の獲得競争で返礼品の豪華さを競う傾向が激化しており、総務省は返礼割合と内容の見直しを求めているが、これに対する本市の基本的な考え方と今後のふるさと納税制度への戦略について示せ。</p>	市 長
	3 マイナンバー制度について	<p>(1) マイナンバー制度を行政事務にフル活用することで、住民の利便性や行政事務の効率が高まると思うが、本市の取り組み状況について示せ。</p> <p>(2) マイナポータルは、子育ての分野から秋の本格運用を目指し、本年7月から試行運用がスタートしている。活用するには地方自治体での手続きが必要となるが、本市の対応状況と今後の取り組みについて示せ。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 9 月 定 例 会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 小野広嗣	4 教育行政について	(1) 施政方針には、「地域とともにある学校づくりを目指し、コミュニティ・スクールの導入に加えて、小中連携を更に発展させ、義務教育9年間を通して地域ぐるみで子供を育てていく小中一貫教育の推進に着手する」とあるが、その推進状況を示せ。	市 長 教育委員長
3 青山浩二	1 男女共同参画社会の実現について	(1) 男女共同参画社会の推進のためには、先進的に市役所内での女性管理職の登用を積極的にすべきだと思うが、市長の考え方を問う。 (2) 女性活躍推進法に基づき、どのような計画を策定し、女性の活躍をどう推進していく考えなのか問う。 (3) 男性職員の育児休業の取得状況について問う。 (4) 市内の小中学校における、女性管理職の現状について問う。 (5) 道徳の教科化が、小学校では平成30年4月から、中学校では平成31年4月から開始される。男女共同参画社会の観点からなる男女平等教育について、どのようなことを実践しているのか問う。 (6) 男女混合名簿について考え方を問う。	市 長 市 長 市 長 教育委員長 教育委員長
	2 県立志布志高等学校への支援について	(1) スクールバスの利用者減少に伴い、現在の便数維持が困難であるため、運行事業所による運行見直し(便数の減)が平成29年9月から実施された。見直し前の便数へ復帰するための支援はできないか問う。	市 長 教育委員長
4 長岡耕二	1 道路の維持管理について	(1) 平成29年度道路愛護に関する県知事表彰を受けられた自治会があるが、受賞に至る経緯などを市民へ周知して、市全体に取り組みを広げる考えはないか問う。	市 長
		(2) 県道及び市道の維持管理について ① 潤ヶ野小学校付近の歩道の管理状況について問う。 ② 県道今別府串間線の一部で4t以上の車両通行止めが1年以上続いているが、このように長期に渡る要因と現状、さらに今後の見通しについて問う。 (3) 今後の道路維持管理の在り方について問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 9 月 定 例 会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 小 辻 一 海	1 道 路 行 政 に つ い て	(1) 県道110号塗木大隅線改良工事の進捗状況と、今後の見通しについて問う。 (2) 国道220号線外岩戸ガソリンスタンド前への、歩道と信号機設置の進捗状況について問う。 (3) 県道3号日南志布志線、県道65号南之郷志布志線及び市道の維持管理状況について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 環 境 行 政 に つ い て	(1) 生物多様性基本法第13条で、「生物多様性地域戦略」を定めるよう規定され、2020年度までに策定するとされたが、現在の取り組み状況について問う。	市 長
	3 職 員 業 務 の 在 り 方 に つ い て	(1) 職員による自治会使送業務の改善について問う。	市 長
6 平 野 栄 作	1 防 災 対 策 に つ い て	(1) 熊本地震による被災状況及び民間レベルでの避難所運営等について、発生後の平成28年6月に会派での視察を行い、更に平成29年1月に復興状況等についても再度視察を行った。視察を通じて、今後発生が危惧される地震等に対する課題や、本市の取り組みを更に充実する必要性を感じたことから、以下の点について問う。 ① これまでも防災意識向上を図るべきといった質問があったが、具体的にどのような箇所が強化されてきたのか。また、市民の防災意識の高まりをどう認識しているか。 ② 避難看板及び階段等の設置が進められているが、目標に対しての達成率はどの程度か。また、今後どう推進していく考えか。 ③ 津波や山林崩壊等により、家屋の損傷に伴う災害ごみの処分及び仮設住宅建設用地の確保が必要となるが、その対応策は検討されているのか。 ④ 防災計画上、避難所はあらかじめ指定されているが、開設から運営までを任せられる人的な育成を図る必要はないのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 9 月 定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6 平野 栄作	2 ESCO事業の導入について	<p>(1) 議会で開催した「市民と語る会」でも要望があったが、街路灯（防犯灯）の新規設置及び維持管理について、合併後10年が経過しているが、旧町単位で管理体制が異なっている。また、教育委員会にも新規設置の要望が多数あると思うが、経費的に要望数を満たせる状況にはないと思う。環境対策に力を入れている志布志市としては、設置経費及び電気料の削減、維持管理に要する人的経費の削減を考慮したESCO事業への移行が必要と考えるが、以下の点について問う。</p> <p>① 現在の街路灯（防犯灯）の設置数と、管理状況を示せ。</p> <p>② 新規要望件数と、設置計画を示せ。</p> <p>③ 維持管理上の問題点及び電気料の推移状況を示せ。</p> <p>④ 本事業を導入する自治体が増加しているが、本市での導入についての見解を示せ。</p>	市 長 教育委員長
7 八代 誠	1 防災行政について	<p>(1) 「津波避難対策緊急事業計画」について</p> <p>① 計画策定に伴う各種調査の結果について問う。</p> <p>② 現時点での進捗及び今後の計画について問う。</p>	市 長
		<p>(2) 緊急時の避難場所について</p> <p>① 避難場所の種別及び箇所数について問う。</p> <p>② 避難施設自体の耐震性や飲料水及び非常用物資備蓄、マンホールトイレ等の整備について問う。</p>	市 長
		<p>(3) 緊急時の応急仮設住宅候補地の在り方について</p> <p>① 市内小・中学校の校庭が候補地になっているが、候補地として適正と考えるのか問う。</p> <p>② 開田の里公園内の桜山を造成し、公園一帯を候補地として考えられないか問う。</p>	市 長
8 丸山 一	1 コアジサシの保護対策について	<p>(1) 12年ぶりに志布志湾へコアジサシが飛来して抱卵していたが、一部の心無い人たちがコロニーに入ったことによりいなくなってしまった。保護対策を徹底する必要があると思うが、市の考えについて問う。</p>	市 長
	2 公営住宅の跡地について	<p>(1) 市内の公営住宅撤去後の跡地は、放置され草が多く繁茂している。整備して子供たちの遊び場にする考えはないか問う。</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 9 月 定 例 会 (No. 5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8 丸 山 一	3 農 業 を 取 り 巻 く 環 境 保 全 に つ い て	(1) 1990年代から、殺虫剤や農薬などに使用されているネオニコチノイド系農薬が全国的に普及しているが、欧州では2013年より3種類の農薬が使用禁止になっている。最近では、それらの農薬に代わる代替品を推奨する自治体もあるようだが、本市においても同様の対策は考えられないか問う。	市 長
9 市 ヶ 谷 孝	1 移 住 定 住 政 策 に つ い て	(1) 移住定住政策を効果的に推進するためには、本市における人口動態を世代ごとにしっかりと把握し、その分析結果をもって対応していくことが要諦になると思う。本市の取り組みは、現在どのように進捗しているのか問う。	市 長
		(2) 移住定住政策の一環として、様々な内容の奨学金制度を設けて、移住や将来の定住に繋げる自治体も出てきている。全国的に完全給付型や条件付き給付型の検討も行われる中、本市における奨学金制度の現状と、今後の在り方をどのように考えているか問う。	市 長 教 育 委 員 長
		(3) 本市における子育て世代の負担軽減施策は充実していると思われる。移住定住政策の一環として、今後の子育て環境の整備を図る場合、これまでの現行制度を深化させていく手法も当然継続しつつ、近隣自治体には無い独自性を内外へ発信していく考えはないか。	市 長
10 小 園 義 行	1 政 治 姿 勢 に つ い て	(1) 庁舎等在り方研究委員会の12月提言に向けた議論の進捗状況について問う。 (2) 研究委員会の今後について、どのように考えているか。	市 長 市 長
	2 国 民 健 康 保 険 に つ い て	(1) 運営が県に移行することによる、県の国保税の試算は示されたのか。 (2) 本市は、所得割、資産割、均等割、平等割の4方式で課税されているが、県の考えはどうか。	市 長 市 長
	3 介 護 保 険 に つ い て	(1) 保険料を払いきれない低所得の高齢者に対するペナルティについて問う。また、これに該当する方の本市の現状について問う。 (2) 低所得者に対する負担軽減をどう考えているか。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 12 月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 人口減少社会への向き合い方について	(1) 本市が取り組んでいる人口減少対策について、平成31年度までに掲げた目標値を達成できるのか、また、若年層の転出抑制とUターン促進戦略は効果的に機能しているのか問う。 (2) 現在、本市の子供たちが「高校生が残したくなる地域づくり」について主体的に話し合いを進めているが、そのような声を聞き、施策の参考にする考えはないか問う。	市 長 市 長 教育委員長
	2 農業振興について	(1) 本市が進めてきた農業政策が、どの程度効果的に機能し、農業者の所得に反映されてきたのか、効果と検証について問う。 (2) 農業生産工程管理 (GAP) 認証の取得について、本市の現状と今後の取り組み方について問う。	市 長 市 長
2 小野広嗣	1 2025年問題について	(1) 2025年には、これまで国を支えてきた団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になり、各種社会保障の給付を受ける側に回るため、医療、介護、福祉サービスへの需要が高まり、社会保障財政のバランスが崩れるとの指摘がある。本市ではこの問題についてどのように認識しているのか。 (2) 本市の「地域包括ケアシステム」の現状と今後の更なるシステム構築に向けて、どのように考えているのか。	市 長 市 長
	2 ヘルプカードの普及促進について	(1) 障がいや難病を抱えた人が必要な支援をあらかじめカードに記しておき、緊急時や災害時などの困った際に提示して周囲に伝える「ヘルプカード」を作成、配布する動きが全国の自治体で広がっているが、本市も取り組むべきではないか。	市 長
	3 教員の働き方改革について	(1) 文部科学省が発表した公立小中学校教員の勤務実態調査で、1か月の時間外勤務が月80時間を超える教諭が小学校で34%、中学校では58%もいるなど過酷な勤務実態が明らかになったが、本市の小中学校の教職員の勤務状況と負担軽減に向けた取り組みについて示せ。	市 長 教育委員長
3 八代 誠	1 政治姿勢について	(1) 今任期4年間の総括について問う。 (2) 6月定例議会において出馬表明されたが、次期市長選挙に向けての思いを問う。	市 長 市 長
	2 リサイクル・ごみ分別について	(1) 民間が経営・管理している戸建住宅や集合住宅における現状と、今後の対策について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 12 月 定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 持留忠義	1 園芸振興について	(1) 本市のいちご栽培面積は、10年前と比較すると約5割程度に減少している。そこで、今後の対策について見解を問う。 (2) いちごについて、ブランド産地としての指定は受けられないか問う。	市長 市長
	2 飼料稲 (WCS) の管理について	(1) 市内の飼料稲 (WCS) の作付面積について問う。 (2) ここ数年、飼料稲 (WCS) については病害虫が発生し、近隣のほ場にも病気の転移が見られる。病害虫防止策とその指導体制はどのようになっているか問う。	市長 市長
	3 鳥獣被害の軽減対策及び地域活性化について	(1) ここ3年間の市内の鳥獣別の被害状況について問う。 (2) 阿久根市では有害鳥獣捕獲事業補助金として、捕獲活動事業や活動犬見舞事業、イノシカ流通対策事業を実施しているが、本市でもこのような事業に取り組み、解体処理施設の設置を検討する考えはないか。	市長 市長
	4 茶業振興について	(1) お茶の価格については、依然として低迷が続いている。過去5年間の価格の推移について問う。 (2) 茶業における活動火山周辺地域防災営農対策事業、産地パワーアップ事業の実績とその効果について問う。 (3) 緑茶輸出のための残留農薬検査に係る支援や、国内外の販路拡大の現状について問う。 (4) 市内では、大麦若葉栽培が拡大してきているが、市場価格の変動に備えた保険制度の活用について問う。	市長 市長 市長 市長
5 平野栄作	1 住宅政策について	(1) 有明地区では、児童数の減少対策及び地域活性化を図るため、民間活力を導入し、地域活性化住宅の建設に取り組んできたが、15年の期間到来により、用地が住宅建設者の所有地になることから以下の点について問う。 ① 本事業については、居住者に対するアンケート等が実施されているが、今後の事業の流れについて問う。 ② 本事業進展後の本市における定住策の推進をどのように進めていくのか問う。	市長

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 12 月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 平野 栄作	2 消防災害支援隊の拡充について	(1) 市消防災害支援隊設置要綱は平成21年6月24日に施行されている。これまで八野地区において組織されているが、以下の点について問う。 ① これまでの出動実績について ② 他地区での組織化に向けた取り組み状況について ③ 隊員の枠が消防団員の退職者に限定されているが、消防職員や自衛隊OB等へも拡充する考えはないか。	市 長
6 丸山 一	1 松くい虫対策について	(1) 日南海岸国定公園内の飛砂防備保安林としての市有林や、隣接する民有地の松が大量に枯れ始めているが、現状の認識と対応策について問う。	市 長
	2 道路行政について	(1) 東九州自動車道の野井倉地区にーフインターが開設されるとのことだが、そこへ接続する飯山・通山1号線と一丁田・宇都鼻線の交通量増加が懸念される。これらの路線の利便性向上と市民の安全性確保のための整備が急務であると考えるが、今後の対応策について問う。	市 長
7 鶴迫 京子	1 公共施設の整備について	(1) 安楽、志布志、香月地区の公民館は条例公民館であるが、他の公民館との違いについて問う。 (2) 安楽地区公民館の年間行事と、生涯学習課が所管する講座等を含めた利活用の状況について問う。 (3) 26～28年度までの3年間の利用者実績数と、今後の利用見込みについて問う。 (4) 公民館を利用される方の、駐車場に対する認識の把握について問う。 (5) 駐車場として、安楽分団消防詰所跡地、隣接する民有地やJAそお鹿児島安楽事業所跡地などの利活用は考えられないか。 (6) 公共施設の設置の在り方として、公平性を保つためにも、公衆トイレと駐車場を完備した公園の設置が望ましいと思うが、その考え方について問う。	教育委員長 教育委員長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 12 月 定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7 鶴 迫 京 子	2 交 通 行 政 に つ い て	(1) 志布志小学校周辺地域の「ゾーン30」実施について、平成28年6月に一般質問したが、その後の進捗状況を問う。	市 長 教育委員長
		(2) 志布志高校に通う市内生徒に限り、バス代を補助しているが、定期代の負担の大きさが近隣市町からの通学のネックになっている。地域活性化とともに大隅半島の教育振興を図るといふ大きな視点での生徒確保策として、市外生徒への補助は考えられないか。	市 長 教育委員長
		(3) 香月地区公民館の利用者による駐車場内での事故が発生している。事故発生後の防止策はとられているのか問う。	市 長 教育委員長
8 小 園 義 行	1 政 治 姿 勢 に つ い て	(1) 庁舎等在り方研究委員会の議論と結果について問う。 (2) 検討委員会を30年度に設置する、また選挙には明確な意思を持って臨むと以前答弁されているが、考えを問う。	市 長 市 長
	2 教 育 行 政 に つ い て	(1) 市報10月号に、教育委員会に対する外部評価委員会の評価が公表されている。生徒指導推進事業の評価と意見で「いじめや不登校問題はすべての児童生徒に起こり、いつどこで発生するか予見することは大変難しい」と評価され、意見として「不登校は家庭の要因が大きいと思われる」と述べている。このことに対する市長、教育委員長の見解を問う。	市 長 教育委員長
	3 職 員 の 勤 務 の 在 り 方 に つ い て	(1) 本市のパワーハラスメントやセクシュアルハラスメント等に対する認識と現状を問う。	市 長
		(2) パワーハラスメントに関しては規程や規則が無いが、制定する考えはないか問う。	市 長
	4 農 業 政 策 に つ い て	(1) 米の直接支払交付金が来年度廃止になるが、その影響について問う。	市 長
(2) 来年度以降の対策について問う。		市 長	
5 商 業 振 興 に つ い て	(1) 店舗リフォーム助成制度について、来年度以降も継続するべきと思うが、今後の方針について問う。	市 長	

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 3 月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
1 野村広志	1 所信表明について	(1) 今回の市長選挙の経過と結果を踏まえ、今後の市政運営に対する考え方を問う。 ① 住みやすく、魅力ある「新しい志布志市」とは何か考えを問う。 ② 移住定住につながる子育て支援の在り方について考え方を問う。 ③ 医療体制の現状を踏まえ、今後の地域医療の在り方について考えを問う。 ④ 志布志港に期待される様々な背景を踏まえ、本市の基幹産業である農業発展のために、どのように寄与させていくのか考えを問う。 ⑤ 市役所の庁舎の在り方について考えを問う。 ⑥ 行財政改革における、財源の確保と事業の選択について考えを問う。 ⑦ 市内全域における地域の特性を生かした、公平・平等な新しいまちづくりについて考えを問う。	市 長
2 小野広嗣	1 所信表明について	(1) 政治姿勢について ① 今回の市長選挙の投票結果で示された市民の思いを、どのように受け止めているのか。 ② 市長のまちづくりの基本は、市民が主役のまちづくりを推進し、市民生活の利便性を図ることにあると理解するが、実現に向けた方策として、市長のリーダーシップや職員の意識付けについて考えを問う。 ③ 「もっと市民の声をしっかりと聞く」ことの必要性を述べているが、今後の市民とのコミュニケーションづくりの方向性について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 3 月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2 小野広嗣	1 所信表明について	<p>(2) 政策ビジョンについて</p> <p>① 住みやすい、魅力ある新しい志布志市 「若者に魅力あるまちづくりを進めるために、10年後を見据えた将来性のある事業を展開する」とあるが、現時点での展望を示せ。また、「志布志地区の資源を総合的に保存・整備するために歴史のまちづくり事業を推進する」とあるが、それは、本市がこれまで取り組んできた施策の延長線上にあるのか、視点を変えた新しい展開になるのか、その方向性について問う。</p> <p>② 安心して子育てができるまち 『子育てするなら志布志市』と言われるように、移住にもつながるような子育て支援策に取り組みないか、保育料の軽減等も含めて総合的に検討する」と述べ、「様々な支援策により、行ってみたいまち、住んでみたいまち、住んでよかったまちを目指す」とあり、それには市内横断的な視野と施策が必要と思うが、実現に向けた考えを問う。</p> <p>③ 身近で安心な医療体制の充実 緊急医療体制の充実が必要不可欠であるとの認識から、「産科医を含め緊急医療体制が整った病院を志布志市に持ってくることができないか、関係機関や大学等と連携して検討する」とあり、この問題はこれまでも様々な検討がなされてきたが、未だその方向性は見えていない。市長の現状認識と、問題解決に向けた意気込みを問う。</p> <p>④ 海外市場も視野に、基幹産業及び商工観光業等の振興 「旅行エージェントとの企画ツアーやスポーツ合宿等、今後志布志航路のさらなる利用促進など観光振興に努める」とあるが、将来的にクルーズ船の誘致などに取り組む考えはないか。</p> <p>(3) 新しいまちづくりについて 「松山地域、有明地域、志布志地域という言い方に変えていき、それぞれの地域の長所や特性を活かして『オール志布志市』でまちづくりを推進したい」とあるが、実現するための方策について問う。</p>	市 長
	2 教育行政について	(1) 教育大綱に掲げた目標の見直しを検討するのか。また、児童生徒の学習意欲の向上や、確かな学力の向上へ向けた今後の取り組みについて問う。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 3 月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
3 青山浩二	1 市内高等学校の支援について	<p>(1) 志布志高校スクールバスが平成29年9月から減便になって以来、高校・保護者から便数の復元に向けての要望を多く聞く。保護者等からの要望は届けられていないのか。また、以前のような体制に戻す取り組みは考えられないのか問う。</p> <p>(2) 志布志高校への支援事業として、志布志市内の生徒に限り、スクールバス代2分の1を支援しているが、生徒確保の観点からも、志布志市外のバス利用生徒にも支援することはできないか問う。</p> <p>(3) 各種検定受験支援補助金は、志布志高校と尚志館高校の特進科及び普通科の生徒を対象にしているが、尚志館高校の他の学科の生徒にも支援できないか問う。</p>	<p>市 長 教育長</p> <p>市 長 教育長</p> <p>市 長 教育長</p>
	2 住宅政策について	<p>(1) 有明地域で、人口減少、児童・生徒減少、地域活性化対策として取り組んでいる地域活性化住宅が、平成30年9月を皮切りに、順次15年の契約満了を迎える。現在、市と入居者、また所有者と入居者とで協議がなされているが、その内容と今後の方向性及び対策について問う。</p>	市 長
4 八代 誠	1 公共事業について	<p>(1) 東九州自動車道の整備関連工事において、市内に本社を置く建設会社の受注実績と、今後の発注見込みについて問う。</p> <p>(2) 総事業費約106億円という「国際バルク戦略港湾」としての志布志港港湾整備事業が開始される。市内に本社を置く事業者の参入を図れないか問う。</p> <p>(3) 東九州自動車道の曾於弥五郎インターと都城志布志道路の有明北インターを連結するアクセス道の整備を要望する考えはないか問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
	2 市内農家の農業従事者確保について	<p>(1) 市内の農家における農業従事者確保の現状について問う。</p> <p>(2) 農業従事者への雇用促進に対する補助制度は検討できないか問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 3 月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
5 平野栄作	1 地域活性化について	<p>(1) 志布志港周辺地では、道路網の拡充により、更なる進展が期待され、更に当該地域への人口集中も予想される。一方、その後背地である農村部においては、高齢化の進展に加え、新規住宅用地の確保等も見込めず、人口減少に歯止めがかからないのではと危惧されることから、以下の点について問う。</p> <p>① 公的な住宅政策をどのように展開していくのか。</p> <p>② 空き家調査等を実施しているが、その情報をどのように活用しているのか。</p> <p>③ ピーマン以外の作物での新規就農者対策も力を入れていく必要があると感じるが、他組織と連携した取り組みを行うことは考えていないのか。</p>	市 長
	2 公民館運営について	<p>(1) 各地区公民館では、これまで地域の特性に合わせた活動を展開し、地域内の交流促進等を図ってきている。また、自治会未加入、戸数減少、児童数減少、校区活性化に向けた取り組み等、課題が山積している現状がある。このような中、公民館助成金が一律カットされていく現状を踏まえ、以下の点について問う。</p> <p>① 公民館への支援の見直しはできないか。</p> <p>② 小規模の公民館においては、移住定住が進まない中、地域力による課題解決を図る取り組みが必要となる。これらの点を加味し、小規模公民館へ配慮した助成の在り方は検討できないか。</p>	市 長 教育長
6 市ヶ谷 孝	1 所信表明について	<p>(1) 「係制からグループ制への移行を検討」とあるが、導入の過渡期に住民サービスの質の低下を招かないように配慮する必要があると考える。今後の方針についての考えを問う。</p> <p>(2) 人口減少対策として「起業支援センター」や「移住定住支援コーディネーター」を設置し、各種支援を行っていくとあるが、具体的な展開について問う。</p>	市 長 市 長
	2 道路行政について	<p>(1) 市内には、地元住民が長年要望を上げながらも様々な要因で整備されていない未舗装道路が多く存在する。それらの整備について、どのような展望を持ち、取り組んでいく考えなのか問う。</p>	市 長
7 久井仁貴	1 人口減少について	<p>(1) 人口減少問題が世間で騒がれているが、人口減少がもたらす課題をどのように捉えているのか問う。</p>	市 長
		<p>(2) 人口減少対策として、本市はどのようなことに取り組んでいこうと考えているのか問う。</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 3 月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
7 久井仁貴	2 所信表明について	(1) 所信表明の中で、政策実施においては「市民目線」と「市民が主役のまちづくり」が基本となると述べているが、「市民目線で市民が主役のまちづくり」に基づく具体的な取り組みと、市役所職員の在り方について問う。	市 長
	3 資源ごみの回収について	(1) 資源ごみ回収の現状と今後について問う。 (2) 志布志市ポータルサイトのごみ収集日程表について問う。	市 長 市 長
8 鶴迫京子	1 所信表明について	(1) 政策ビジョンの「身近で安心な医療体制の充実」について ① 「大隅 4 市 5 町保健医療推進協議会では、特に不足している産科医療体制につきまして、広域で医師確保に取り組んでいる」とあるが、現状を問う。 ② 「今後、都城志布志道路や東九州自動車道など、インフラ整備がされ、交通アクセスが充実してくるが、産科医を含め緊急医療体制が整った病院を志布志市に持つてくることができないか、関係機関や大学等と連携して検討する」とあるが、どのように取り組んでいくのか問う。 ③ ひとり親家庭医療費助成事業の窓口申請の簡素化について、平成28年12月定例会で一般質問したが、その後の進捗状況を問う。また、重度心身障害者医療費助成金支給申請についても、重度心身障がい者にとって困難を強いられている一連の処理を、医療機関と行政の連携により簡素化するべきであると考えるがどうか。	市 長
9 岩根賢二	1 ワンストップ窓口の設置について	(1) 所信表明に「行政は最大のサービス業」とある。このことを具現化するために「ワンストップ窓口」を設置する考えはないか。	市 長
	2 庁舎の在り方について	(1) 所信表明によると、庁舎の在り方については移転ありきの論調であるが、もっと幅広く市民の意見を聴くべきではないか。	市 長
10 福重彰史	1 政治姿勢について	(1) 選挙を通して何を感じたか。 (2) 市民によっては、期待と不安が交錯していると思うが、そのような不安をどのように受け止めているか問う。	市 長 市 長
	2 公約について	(1) 市長退職金の返上について ① なぜ返上する考えなのか ② 今後の返上までの事務手続きについて問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 3 月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
10福重彰史	2 公約について	(2) 本庁舎の在り方について ① どのように考えているか、基本的な考え方について問う。 ② 志布志支所に移転する本庁機能とは、具体的にどういったことなのか問う。	市 長
	3 道路行政について	(1) 県道柿之木志布志線の弓場ヶ尾地区の改良計画の見直しについて問う。	市 長
		(2) 県道塗木大隅線の宮下地区についての改良計画はどのようなになっているか問う。	市 長
		(3) 市道上松段馬場線の松山支所前から松山小学校方向への改良計画はいまだ具体的に示されていないが、今後の取り組みについて問う。	市 長
4 農業振興について	(1) 水田基盤整備の進捗について問う。 (2) 整備後の不良農地の現状は。また、それに対する対応は万全であるか問う。	市 長 市 長	
11丸山 一	1 植物の保護について	(1) 貴重なフクロハイゴケ、バクチノキについて現状の認識と対応策を問う。	市 長 教育長
	2 農作物のブランド化について	(1) コシヒカリの作付けが主流であった早期米について、夏ほのかへの品種統一が図られたが、現状においては知名度が低いためネオニコチノイド系農薬の不使用を絡めたPRをすべきではないか。	市 長
	3 防災について	(1) 津波避難タワー設置について、現状と今後の進め方について問う。	市 長
12小園義行	1 政治姿勢について	(1) 所信表明で「志布志支所に本庁を置き、新たなまちづくりを推進すべきである」と述べられ、今後段階的に実行していくことを表明されているが、今後4年間の取り組みを問う。あわせて、これまで12年間の議会での議論をどう受け止めているのか問う。	市 長
	2 選挙の対応について	(1) 今回の選挙に関する問い合わせ等への対応について問う。	選挙管理委員会 委員長
		(2) 障がいを抱えている市民の投票の在り方について、投票しやすい環境を整えるべきではないか。	選挙管理委員会 委員長
	3 国保税について	(1) 本市の税の滞納による差し押さえの状況を問う。 (2) 国が示している国保税の滞納処分の基準をしっかりと守れているのか。	市 長 市 長
4 高齢者福祉について		(1) 敬老祝金は75歳以上の全ての人に支給するよう見直す考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 3 月定例会 (No.7)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
12小園義行	5 学校教育について	(1) 学びやすい環境を作り、安心して学習に取り組めるように、各学校にエアコン等の設置は考えられないか問う。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 6 月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2 小野 広嗣	3 学校図書館の充実について	(1) 文部科学省は、「学校図書館ガイドライン」を策定し、これからの時代にあった学校図書館の在り方を示し、学校図書館について、学習センターや情報センターとしての役割を求めている。今後、このガイドラインを参考に、学校図書館の整備充実をどのように図っていくのか問う。	教育長
3 小辻 一海	1 環境行政について	(1) 施政方針では平成32年度までとなっている生物多様性地域戦略策定の進捗状況と今後の取り組みについて問う。 (2) 生物多様性地域戦略策定に向けた市民参加の在り方について問う。	市長 市長
	2 道路行政について	(1) 県道塗木大隅線大野原地区改良工事の完了時期について問う。 (2) 国道220号線沿いの上天神ガソリンスタンド前の歩道整備と信号機設置に向けた進捗状況と今後の見通しについて問う。	市長 市長
	3 六次産業化について	(1) 六次産業化の推進が一次産業である農林水産業の振興策として重要になってくると思うが、六次産業化の推進に向けた今後の取り組みについて問う。	市長
	4 財源の裏付けについて	(1) 施政方針で「市民目線で市民が主役のまちづくり」を政治理念に掲げているが、「市民生活の利便性向上」の実現に向けた施策の財源の裏付けについて問う。	市長
4 八代 誠	1 防災行政について	(1) 「志布志市防災計画」について ① これまでの防災会議の開催状況について問う。 ② 防災会議の結果を踏まえた防災計画の見直しと、その周知の在り方について問う。 (2) 「志布志市津波避難対策緊急事業計画」について ① 策定に向けた進捗と今後のスケジュールについて問う。 ② 最新版の「防災計画」と「津波避難対策緊急事業計画」の関連について問う。	市長 市長
	2 庁舎の在り方について	(1) 施政方針で示された庁舎の在り方について ① 「本庁舎移転検討委員会」の活動内容等について問う。 ② 今後の「本庁舎機能移転」の具体的な手法について問う。 (2) 志布志支所への移転は防災上、課題やリスクが大きいと考える。対策はあるのか問う。	市長 市長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 6 月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 尖 信 一	1 法令遵守について	(1) 前市長の任期中であるが、ここ 1 年余り職員の不祥事が散見される。法令遵守についてどのような指導をしているのか問う。	市 長
	2 ふるさと納税制度について	(1) ふるさと納税制度については、かなり認知されているが、今後の推移をどのように予測しているか。また、新たな寄附者獲得へ向けた取り組みについて問う。	市 長
		(2) 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）への取り組みにより、人口減少の歯止めと若者の所得増が図られるのではないかと考えるが、本市の取り組み状況について問う。	市 長
	3 学力向上について	(1) 本県は巷では教育県と言われているが、本市ではこれまで学力向上に向け、どのような施策を実施してきたか。また、現在の問題点等をどのように把握し、その解決のため今後はどのような方針や手法で学力向上を目指すのか問う。	市 長 教育長
4 補助金の在り方について	(1) 平成30年度当初予算の市単独の補助金はなぜ一律 1 割カットだったのか問う。	市 長	
6 市ヶ谷 孝	1 介護保険について	(1) 平成30年度から介護事業については、「施設から在宅へ」「選択制介護へ」という国の方針が決まり、大きく変化していく。介護事業者はこれまで以上に地域に密着し、自立支援をサポートする事業所作りが求められる時代となってくる。財源も厳しさを増す中、各事業所との連携など、このことにどのように取り組んでいくのか問う。	市 長
	2 選挙について	(1) 平成28年の「公職選挙法等の一部を改正する法律」の施行により、選挙権年齢の引き下げが行われたが、本市においても投票率低迷は依然として課題であると考え。他自治体では、選挙管理委員会が選挙公報を発行するなど、投票率向上に取り組んでいるが、本市でもこのことに取り組む考えはないか。	選挙管理 委員会 委員長
7 平野 栄作	1 防犯組織の拡充について	(1) 霧島市では、自主防犯パトロール隊として99の団体が組織され、それぞれの地区で活動している。その構成は、安全モニター・学校・自治会・タクシー会社・郵便局・青年団・企業・第一工大生等、様々である。本市では防犯協会の安全モニター・退職校長会・市役所・民間団体がそれぞれ青パト活動を行っているが、市内全域をカバーするには至っていないと感じる。安心安全なまちづくりに向け、組織及び団体の拡充策に取り組んでいく考えはないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 6 月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
7 平野 栄作	2 地域活性化策について	(1) 新規事業として「地域コミュニティ形成促進モデル事業」が提案されているが、コミュニティの活性化にはあらゆる方向からのアプローチが必要になると感じることから、以下の点について問う。 ① 本事業の具体的な取り組み内容を示せ。 ② 1年かけて研究するとのことであるが、モデル事業の結果を他の校区にどのように波及させていくのか。 ③ 合併当初に取り組んだチャレンジデーへの参加も効果的と考えるが、活用すべきではないか。	市 長 教育長
8 南 利尋	1 地域活性化について	(1) 自治会の衰退は、校区公民館の運営にまで影響することが懸念される。今回の補正予算では、校区を単位とした地域コミュニティ形成促進モデル事業が新たに計上されているが、各自治会の活性化への対応はどのように実施していくのか問う。 (2) 各自治会の活性化には、自治会担当職員の役割を明確にすることが重要になると思うが、考えを問う。	市 長 市 長
	2 畜産振興について	(1) 平成34年の全国和牛能力共進会鹿児島大会に向けて、(仮称)志布志市全共対策協議会などの組織を立ち上げ、和牛の改良と日本一連覇に取り組んでいく考えはないか問う。 (2) (仮称)志布志黒毛和牛としてブランド化を目指す考えはないか問う。	市 長 市 長
	3 観光振興について	(1) 施政方針で述べられた、観光入込客数120万人に向けた本市の取り組みについて問う。 (2) ダグリ岬周辺整備については、陣岳国際の森を含め、一帯となった整備が必要であると考えるが、本市の現状と今後の計画について問う。	市 長 市 長
9 青山 浩二	1 環境行政について	(1) 平成8年に発行された、I S O 14001 (環境マネジメントシステム) について、本市も認証を受ける考えはないか問う。 (2) 学校における環境問題解決等の普及啓発について、児童・生徒と教職員が環境教育にどのように取り組み、実践しているか問う。 (3) 子供たちが自ら考え行動することで、環境に優しい心情を育むとともに、環境保全活動や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする姿勢や能力を育成することを目的とした、学校版環境 I S O について本市も認証を受けるべきと考えるが、見解を問う。	市 長 市 長 教育長 市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 6 月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
9 青山 浩二	2 市内高等学校の支援について	(1) 各種検定受検支援補助金は、志布志高校と尚志館高校の特進科及び普通科の生徒を対象にしているが、尚志館高校の他の学科の生徒にも支援できないか問う。	市 長 教育長
10 東 宏二	1 定住対策について	(1) 奨学金の返還支援による定住対策の実施について問う。	市 長 教育長
	2 観光行政について	(1) 観光入込客数120万人達成に向けた観光振興策として種子島・屋久島航路の開設に取り組む考えはないか問う。 (2) 枇榔島の栈橋については、破損した状態が長年続いている。関係機関等との協議を実施し、枇榔島を観光資源として生かせるよう枇榔島への接岸を可能とする栈橋の整備はできないか問う。	市 長 市 長
11 小園 義行	1 施政方針について	(1) 新制度下で開始初年度を迎えた国保運営については、あらゆる状況に対応できるように取り組んでいくと述べられているが、国保の現状をどのように認識しているか問う。	市 長
		(2) 保険者努力支援制度に積極的に取り組み、自主財源の確保に努めるとあるが、制度について問う。	市 長
		(3) 年収400万円の4人家族（本人が30歳代、妻が30歳代の専業主婦、子供2人）が国保に加入した場合と、同じ家族が協会けんぽに加入した場合の本人負担は、それぞれいくらになるか問う。	市 長
		(4) 年収180万円で生活する単身フリーターの、国保と協会けんぽの本人負担はそれぞれいくらになるか問う。	市 長
	2 子育て世代包括支援センターについて	(1) 本庁の福祉課と保健課の間に設置されているが、場所を含め見直す考えはないか問う。	市 長
	3 JR九州ダイヤ改正について	(1) JR志布志駅は志布志中心市街地と港周辺地域の拠点施設であると述べられているが、今回のJR九州のダイヤ改正について本市としての要望をしたのか問う。	市 長
	4 行財政改革について	(1) 各種団体等への補助金の在り方について、基本的な考え方を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 6 月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
11小園義行	5 福祉行政について	(1) 敬老祝金の見直しについては、庁内で調査・研究したいと述べられているが、予算の範囲内で75歳以上全員に支給することの方がより効果が大きいと考えるがどうか。	市 長
12鶴迫京子	1 一般質問後の経過について	(1) 平成29年12月定例会での一般質問について ① 安楽小学校区内への公園設置と、安楽公民館の駐車場整備についての見解と進捗状況は。 ② 志布志小学校周辺地域のゾーン30について、その後の取り組みは。また、安楽小学校周辺地域のゾーン30化はできないか。 (2) 平成28年12月定例会で、公共交通行政について質問した。施政方針に公共交通ネットワークの再構築とあるが、その実現に向けた具体的な手法について問う。 (3) 平成28年3月定例会で有明グラウンド横や有明地区公民館のトイレ整備について質問した。その後の進捗状況について問う。	市 長 教育長 市 長 市 長 教育長
	2 施政方針について	(1) 消防団員の資質向上を図り、車両・資機材・詰所の整備、啓発活動により地域防災力の強化を図るとあるが、女性消防団がより活動しやすい環境の整備についてはどのように取り組んでいくのか問う。 (2) 防犯対策として、防犯カメラの設置も視野に入れながら犯罪発生率の低いまちを目指すとするが、具体的な設置計画があるのか。また、鉄道記念公園に優先的に設置する考えはないか。 (3) 歴史のまちづくりを推進していくために、年次的に志布志城跡の整備事業などスピード化を図るとあるが、史跡巡りの観光客に対する視点が不足していると考え。周知するための看板設置や、周辺の環境整備にも力を入れるべきではないか。また、27年9月に子供の観光ガイド養成について質問したが、この制度を導入して観光の目玉にする考えはないか。 (4) 救急医療体制について、3月の所信表明よりトーンダウンしたように感じられる。今後、具体的にどのように体制を整備していくのか問う。	市 長 市 長 教育長 市 長 教育長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 9 月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
1 小野広嗣	1 防災・減災対策について	(1) 昨年の 9 月定例会において、九州北部豪雨災害を受け、我が地域での認識と対応について質問し、提案等も行ったが、その後の取り組みと今回の平成30年 7 月豪雨災害を受けての本市の今後の防災・減災対策の在り方について問う。 (2) 大阪北部を震源とする地震により女子児童が亡くなる事故が発生したことを受け、文部科学省は「学校施設におけるブロック塀等の安全点検等状況調査」を依頼している。本市での学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全確保について問う。	市 長 市 長 教育長
	2 バイオガスプラントの活用について	(1) 北海道の鹿追町では、国内最大の家畜ふん尿処理施設が稼動しており、そこから製造されるエネルギーの一日の発電量は、一般家庭450戸分の電気使用量に相当する。バイオガスを化石燃料の代替として使用することでCO ₂ をはじめとする温室効果ガスが削減され、処理過程で生産される消化液は環境にやさしい高品質の有機質肥料となり、還元されている。家畜ふん尿の悪臭対策や環境の改善も図られ、余剰熱は売電の他、新たな事業にも結び付いており、地域経済の活性化、新たな雇用を創出し、見事な循環型社会を形成している。本市でもこういった取り組みを参考にしながら、畜産基地としての本市特有のバイオガスプラントの活用に取り組む考えはないか問う。	市 長
	3 中心市街地の活性化について	(1) 中心市街地の活性化に向けた本市の今後の方向性について示せ。特に、活性化のための市内の人的体制と基本計画の作成、駅周辺の整備、空き家・空き地・空き店舗対策、商店街の無電柱化等について問う。	市 長
	4 食品ロス対策について	(1) 年間食料生産量の 3 分の 1 が捨てられる食品ロスへの取り組みが全国で広がっている中、一昨年の 6 月定例会で本市の食品ロス対策について質問した。本市のその後の食品ロス削減対策の現状と周知徹底を提案した「30・10 (さんまる・いちまる) 運動」の更なる推進について問う。	市 長 教育長
2 野村広志	1 国際物流拠点志布志港の高まる可能性について	(1) 市長自らが考える志布志港の将来ビジョンについて、「港湾機能の強化」、「まちづくり」、「市民目線」のそれぞれの観点から、思いを示せ。 (2) 志布志港からもたらされる経済波及効果について、どのような分析がなされているのか問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 9 月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2 野村広志	1 国際物流拠点志布志港の高まる可能性について	(3) 国際バルク戦略港湾としての整備が動き始めているが、国や県は、国内重要港湾として今後の志布志港をどのような役割や位置付けで見ているのか問う。	市 長
		(4) 鹿児島県における「農林水産物輸出促進ビジョン」～攻めの農林水産業の実現に向けて～の策定を受けて、志布志港を中心とした物流機能強化が、今後更に求められると思う。そこで、国や県の政策を踏まえた中で、港湾を抱える地元自治体としての考えを問う。	市 長
		(5) 今後、志布志港が農林水産物の輸出港として更に飛躍するために真に必要な、輸出に至るまでの手順や、インフラ等の整備のための施策や戦略について問う。	市 長
3 小辻一海	1 郷土芸能・祭りの保存、継承と振興について	(1) 高齢化や人口減少などにより、伝統的な郷土芸能や祭りが各地で無くなりつつある。市内の現状と次世代への継承、保存に向けた取り組みについて問う。	市 長 教育長
	2 観光行政について	(1) 本市の地域活性化やまちづくりに最重要となる観光行政について、今後どのように取り組む考えか、以下の点について問う。 ① 歴史のまちづくり事業について ② ダグリ岬周辺の整備について ③ J R 志布志駅舎等整備事業について	市 長 教育長
4 岩根賢二	1 インターチェンジの名称について	(1) 2020年に供用開始が予定されている東九州自動車道の本市内のインターチェンジについて、独自の名称を提案する考えはないか。	市 長
	2 運転免許証自主返納支援事業について	(1) 現在のタクシー利用券交付の他にも支援策は考えられないか。	市 長
	3 本庁舎移転について	(1) 「本庁舎移転検討委員会」では、今までにどのような項目について協議したか。 (2) 「移転」の時期をいつ頃と想定しているのか。 (3) 市民への説明の場を早い時期に設けるべきではないか。	市 長 市 長 市 長
5 尖 信一	1 観光特産品協会の在り方について	(1) 本市は特産品や観光の振興に向けて、協会をどのように位置付けているのか。また、今後どのように連携をしていくのか問う。 (2) ふるさと納税の一部委託業務を担っているが、現状を最適な委託方法と考えているのか問う。	市 長 市 長
	2 志布志城の再興について	(1) 志布志の山城について、部分的にでも短期間のうちに再興する考えはないか問う。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 9 月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
5 尖 信一	2 志布志城の再興について	(2) 滞在型観光を図るための山城を整備し、他の自治体と連携して本市の観光資源を最大限に利用して、観光入込客の獲得を図るべきと考えるが、見解を問う。	市 長
	3 防災対策について	(1) 現在の防災対策で万全なのか、想定外を排除した計画となっているのか問う。	市 長
		(2) 津波避難対策としての避難タワー建設の具体的な進捗状況について問う。	市 長
		(3) 避難訓練が行事化しており、より現実在即した避難訓練になるよう、昼夜を問わない避難訓練の実施を検討すべきと考えるが、見解を問う。	市 長
4 上町通りの活性化について	(1) 公約で本庁機能の一部を志布志支所へ移転することで、商店街の活性化を図るとしているが、志布志支所周辺の各自治会が管理する街灯をLED等に変更することで、負担軽減を図る考えはないか問う。	市 長	
6 丸山 一	1 外来生物の駆除について	(1) 近年、市内各地において外来生物のハリビユ（とげ草）、スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）、キオビエダシヤク、アカミミガメ（みどり亀）の大発生が見られる。駆除に取り組むべきと考えるが、見解を問う。	市 長
	2 ブロック塀等の安全対策について	(1) 大阪市内の小中学校敷地のブロック塀が地震により倒壊し、小学生が犠牲になる痛ましい事故が発生したが、市内の公的施設の調査とその対応は進んでいるのか問う。	市 長 教育長
(2) 市道等でブロック塀等が、緊急車両の通行の妨げになっている箇所や、倒壊の危険性がある箇所を把握しているか問う。		市 長	
7 南 利尋	1 環境の保全管理について	(1) 地域においては、自治会単位での草払い等の景観保全が困難になってきている。市は景観維持・保全に向け、どのように考えているか問う。	市 長
		(2) 港湾地区における環境整備について、市民の声や現状を関係機関で共有し、対応できる体制が必要ではないか。	市 長
2 安全対策について	(1) 先日、港湾地区において交通死亡事故が発生したが、関係機関と連携した安全対策が必要ではないか。	市 長	
	(2) アピア前の市駐輪駐車場において、月 2 回の資源ごみ収集が行われているが、頻繁に行き交う人や車に対する安全対策は万全か。	市 長	
	(3) 市内の防犯カメラの設置状況について問う。	市 長	

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 9 月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
7 南 利 尋	3 観光振興について	(1) ダグリ岬周辺は、観光振興計画において重点地域に位置付けられているが、危険箇所や景観の悪い箇所が散見している。早期に改善すべきではないか。 (2) 観光入込客120万人に向け、港を生かした観光地整備は考えられないか。 (3) 観光客のニーズは多種多様であり、思いも寄らないツアーが人気となることもある。本市でも既存施設を活用し、新たなツアーを検討すべきではないか。	市 長 市 長 市 長
	4 移住定住対策について	(1) 元気なまちづくりには、若者の移住定住が必要不可欠である。本市の現状に魅力を感じないという若者の声を多く聞くが、移住定住策の一環として、若者の意見を聞き、施策の参考にするような仕組みづくりに取り組む考えはないか問う。	市 長
8 久 井 仁 貴	1 志ふれあい交流館について	(1) 志ふれあい交流館はどのような目的で造られたのか問う。あわせて現在の活用状況を問う。	市 長
	2 市立図書館について	(1) 市立図書館の有効活用、利用者の利便性向上を図るため、パソコン等を持ち込んで使用できる環境、スペースの確保はできないか問う。	市 長 教育長
	3 有害鳥獣対策について	(1) 本市における有害鳥獣による被害状況を問う。あわせて有害鳥獣による被害を減少させるための対策について問う。	市 長
9 平 野 栄 作	1 環境行政について	(1) 本市では、「志布志市ポイ捨て防止条例」が制定されており、市の責務として「市民等及び事業者と一体となって、共生協働によるポイ捨てのない美しいまちづくりの推進に必要な施策を実施しなければならない」とあるが、以下の点について問う。 ① 不法投棄の現状と本条例違反の該当件数を示せ。 ② 事業者へも責務を課しているが、具体的にはどのようなものがあるのか。 ③ 取り組みから10年以上が経過したが、新たな施策の検討も必要ではないか。 (2) 小中学校における環境学習の現状と成果をどう認識しているか。	市 長 教育長
	2 指定管理施設の運営について	(1) 志布志市開田の村管理組合は、指定管理者として開田の里公園と農業歴史資料館等の管理運営を行っているが、他の指定管理者はNPOや公益財団、社団法人、社会福祉法人、有限会社、株式会社などである。今後安定的に継続性を持たせ、施設の持つ特性を生かした活動をこれまで以上に広く展開するには、NPO化も必要と考えるが見解を示せ。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 9 月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
9 平野 栄作	3 地域活性化への取り組みに対する支援策について	(1) 志布志港を中心に、港の周囲は今後相当規模の発展が期待されるが、その後背地においては自治会の少子高齢化をはじめとするあらゆる問題が山積している。各地区では地域活性化を目指し、地区毎の特性を生かした取り組みも重要になっていくと思う。これらの取り組みに対して、市はどのようにバックアップしていくのか。	市 長
10 八代 誠	1 雇用について	(1) 本市の雇用創出状況及び就業の実態について問う。 (2) 厚生労働省が示す「平成30年度地域別最低賃金改定状況」、総務省が示す市区町村「ラスパイレス指数及び平均年齢・平均給与月額等」の数値について、市長の見解を問う。 (3) 本市でも労働現場においては外国人技能実習制度により、外国人実習生を受け入れている農家が増加している。国に対して、外国人実習生を受け入れられる職種の拡大などの「特区」を提案する考えはないか問う。	市 長 市 長 市 長
11 持留 忠義	1 茶業振興について	(1) 緑茶の販売価格は消費の停滞により依然として厳しい状況にある。そこで、リーフ茶、ドリンク類・インスタントティー、てん茶、発酵系茶のそれぞれの現状認識とその対策について問う。	市 長
	2 畜産振興について	(1) ここ10年間の推移を見ても50%近く肉用牛の飼養戸数・飼養頭数共に減少しているが、減少対策と増頭施策について、市の見解を問う。 (2) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業の実績について問う。あわせて現在この事業は発動しているのか問う。	市 長 市 長
12 鶴迫 京子	1 観光行政について	(1) 平成20年6月定例会で陣岳の国際の森について質問しているが、国際の森をはじめとしたダグリ岬周辺を一体的に捉え、本市の観光の目玉として総合的に取り組む考えはないか問う。	市 長
	2 福祉行政について	(1) 団塊の世代の高齢化による多死社会を迎える前に、死亡後、自治体が納骨など人生の締めくくりを手助けする「終活」支援事業が広がっている。神奈川県大和市・横須賀市、千葉県千葉市など先進事例に倣い、本市でも納骨までの公的支援事業に取り組む考えはないか問う。	市 長
13 小園 義行	1 福祉行政について	(1) 本市及び市内民間事業所の障がい者雇用の現状を問う。 (2) 障がいのある子供たちが通う、放課後等デイサービスの現状を問う。	市 長 教育長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 9 月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
13小園 義行	1 福祉行政について	(3) 放課後等デイサービスについて、4月の報酬改定による影響を問う。 (4) 敬老祝金は75歳以上全員に予算の範囲内で支給した方が効果は大きいと考える。見直しは考えられないか問う。	市 長 市 長
	2 農業振興について	(1) ネオニコチノイド系農薬の普通作での使用状況について問う。 (2) 斑点米の割合による国の等級判定制度を見直すよう国に声をあげるべきと思うがどうか。	市 長 市 長
	3 青年就農給付金事業について	(1) 青年就農給付金事業による新規就農者の推移について問う。 (2) 国は、本事業について中間評価制度を導入しているが、その影響について問う。また、本市ではその評価の見直し基準を策定しているのか問う。	市 長 市 長
	4 男女共同参画について	(1) L G B Tに対する認識と、本市の啓発や対応について問う。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 12 月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
1 野村広志	1 農業施策について	<p>(1) 米国を除く環太平洋連携協定参加国による新協定「TPP11」の発効が間近に迫っている中、本市の基幹産業である農業にどのような影響が懸念されるのか。また、影響を抑える支援策について問う。</p> <p>(2) 「TPP11」の発効に備えて、儲かる農業の仕組みづくりに向けた本市の農業施策をどのように導いていく考えなのかを問う。</p> <p>(3) 国会において、出入国管理法改正案を巡り新たな在留資格を創設する議論が進められている中、本市の農業分野での外国人技能実習生の受け入れ状況と課題について問う。</p> <p>(4) 外国人技能実習生を受け入れている農業経営体の方々は、外国人が地域で円滑に暮らせるよう日常生活に細かく気を配っている。実習生を受け入れている農業経営体への支援の現状について問う。</p> <p>(5) 農業用廃プラスチックの処理費の高騰により、農家の負担が増している。本市の現状について問う。</p> <p>(6) 国においては、農業用廃プラスチックの処理施設新設に対する支援策を強化する動きがあるが、本市としても取り組む考えはないか問う。</p>	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長
2 小野広嗣	1 市民と行政の協働によるまちづくりの推進について	<p>(1) 少子・高齢化や価値観の多様化等による社会環境の変化により、地域の課題は増加し、画一的な行政サービスから、市民のニーズにあった課題解決の方法が強く求められているが、その全てを行政が解決することは困難な状況となってきた。今後は、市民と行政の協働によるまちづくりを推進する新しい仕組みづくりを構築する必要があるのではないかと問う。</p> <p>(2) 総務常任委員会の所管事務調査で訪れた岩手県一関市では、地域づくりの在り方について「行政主導型」から地域と行政が連携して進める「地域協働型」への転換を図るため、地域協働体の体制強化と活動支援を柱とした各種制度の構築から実施に至るまでの基本的な事項を定めた「一関市地域協働推進計画」を定めていた。地域協働体が地域で議論し、地域全体の将来像を描きながら、地域の特性を生かした事業や、地域の課題解決につながる事業を進めており、参考になった。本市においても、市民と行政との「協働推進計画」を策定すべきではないかと問う。</p>	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 12 月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2 小野広嗣	2 市民サービスの向上について	(1) 市役所は、志布志市における最大のサービス業であり、市民はお客である。いかに市民のために働き、喜んでもらえるかが重要である。接遇研修等も行われているが、職員の市民への対応について、市長は就任以降、どのように認識し、評価しているのか。	市 長
	3 公用車へのドライブレコーダーの設置と無事故対策について	(1) 公用車へのドライブレコーダーの設置は、公用車を運転する職員の安全運転の意識を向上させるとともに、事故が発生した際、責任の明確化と処理の迅速化を図るという効果もあり、既に多くの自治体で導入されている。本市も公用車の購入の際には、ドライブレコーダーを設置しているが、ドライブレコーダーは移動可能な防犯カメラとしても非常に有効であり、事故防止と犯罪防止のためにも、前倒しして設置台数を増やすべきではないか。	市 長
	4 幼児教育の無償化について	(1) 国は幼児教育の無償化について、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や、幼児教育の負担軽減を図る少子化対策の観点などから、消費税率引き上げ時の2019年10月1日からの実施を目指している。実施までの期間が短く、新たな財政負担も必要になるなど課題も多いと思うが、どのように認識し、対応しようとしているのか。	市 長 教育長
	3 尖 信一	1 教育行政について	(1) 本年度の本市の全国学力・学習状況調査の結果について、どのように捉えているか問う。また、その結果に対する具体的な対策について問う。 (2) 本市の小・中学校に在籍する教職員の勤務実態は、現在国が進めている働き方改革の主旨に沿っているか。また、教職員が効率的に校務を行えるような対策をとっているか問う。
3 尖 信一	2 防災対策について	(1) 11月に実施した防災訓練における問題点の把握と、その改善点について問う。 (2) 本市の消防団員の、防災に対する日々の活動及び研修会等への参加状況について問う。	市 長 市 長
	3 個人情報保護法の運用について	(1) 昨年の個人情報保護法の改正後に、様々な補助団体の地域活動に支障を来たしている。この改正を受け、どのように団体の活動を支援しているか問う。	市 長 教育長
	4 中心市街地の活性化について	(1) 中心市街地の空洞化に対し、どのようなまちの将来像を描いているのか、今後のまちづくりについて問う。	市 長
4 青山浩二	1 税外収入について	(1) 市の財源確保のため、公共施設の命名権売却（ネーミングライツ）を導入する考えはないか問う。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 12 月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
4 青山 浩二	2 体育施設の整備について	(1) 有明野球場周辺に屋内練習場を整備する考えはないか問う。 (2) 有明野球場のスコアボードを電光掲示板にする考えはないか問う。 (3) 有明野球場の内外野を囲むコンクリートフェンスを、選手の事故や負傷を防ぐ観点から、ラバーフェンスに改良する考えはないか問う。	市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長
	3 伊崎田地区定住促進住宅用地について	(1) 本年 6 月に分譲を開始し、7 区画が全て売却された伊崎田地区定住促進住宅用地のうち、2 区画が建築前の地質調査において、軟らかい層の不均一な分布により、建築物の安全性が確保できないとの判断がされている。分譲地購入者は地盤改良工事に係る費用負担を余儀なくされることになる。購入者の負担軽減をはじめ、分譲地の安全確保について、市としてどのように関わっていくのか問う。	市 長
5 八代 誠	1 有害鳥獣被害対策について	(1) ここ数年における本市の有害鳥獣被害への対応策と実績について問う。	市 長
		(2) 有害鳥獣被害対策については様々な課題があることを踏まえ、今後どのように対応していく考えか問う。	市 長
6 南 利尋	1 福祉行政について	(1) 福祉タクシーなど、福祉サービス利用者から接遇に対する意見や要望を聞く。どのように改善していく考えか問う。	市 長
	2 公共施設の活用について	(1) 利用手続きを簡素化するなど、既存の公共施設を活用し、健康増進や交流を図る考えはないか問う。	市 長
	3 農畜産業の振興について	(1) 志布志市産の農畜産物の販路確保の在り方について問う。	市 長
	4 観光振興について	(1) 近隣自治体では、観光振興計画が着実に進められているように見受けられる。本市の現状について問う。	市 長
		(2) 旧志布志町で取得した夏井、陣岳地区の市有地の利活用について問う。	市 長
	5 中心市街地の活性化について	(1) 中心市街地には、多くの空き店舗が見受けられる。行政としても空き店舗解消に向け様々な情報発信をしていくべきではないか。	市 長
6 公用車の広告について	(1) 公用車を市内企業の広告（ラッピング）に利用すれば、志布志市のアピールとともに、安全に心掛けた運転等コンプライアンスにもつながると考えるが、取り組む考えはないか問う。	市 長	

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 12 月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
7市ヶ谷 孝	1 防災行政について	(1) 本市では、毎年11月1日に地震・津波防災訓練を実施しているが、市長としてはじめて臨んだ今年度の防災訓練をどのように捉え、分析されたのか問う。	市 長
		(2) 想定外の規模の災害が多発する近年、本市における被災時の状況想定も思考を止めることなく、常に考え改善していかなければならない。「備えていたことしか役には立たなかった。備えていただけでは十分ではなかった」という言葉を耳にするが、緊急時に市民の生命を守るためには、平時の準備が大切である。そこで下記の項目について市長の考えを問う。 ① 避難タワーの設置箇所を含めた避難場所の在り方について ② 非常食の備蓄状況について ③ 異なる住環境にある各家庭の避難経路の確保につながる周知の在り方について	市 長
8鶴迫京子	1 子育て支援について	(1) 産前産後ママサポート事業について 文教厚生常任委員会の所管事務調査で訪れた長崎県島原市では、出産前後の育児や家事に係る負担を軽減し子育て家庭を支援するため、出産前2か月から子どもが1歳を経過する日までの期間にある妊産婦に対し、育児及び家事等の援助を行う「産前産後ママサポーター」を派遣する事業を実施している。本市においても先進事例に倣い、事業を導入する考えはないか。	市 長
		(2) すこやか赤ちゃん支援事業について 少子化対策の一環として、子育て家庭の経済的負担を軽減し安心して子どもを産み育てることのできる環境を目指し、紙おむつや粉ミルク等赤ちゃんの育児用品購入費用の一部を助成する事業も実施している。本市においても導入する考えはないか。	市 長
	2 学校給食費の無償化について	(1) 同じく佐賀県みやき町では、学校給食費の無償化について調査した。市長の公約で学校給食費の無償化を明言されているが、現在の進捗状況と今後の取り組みについて問う。	市 長 教育長
	3 高齢者福祉について	(1) 有明会場で開催した議会主催の「市民と語る会」において、ひとり金婚式の在り方について、意見・要望があった。このことについて市長の考えを問う。	市 長
4 交通行政について	(1) 本市の福祉タクシーや通学バスなども含めた総合公共交通システムの構築に向けた取り組みの進捗状況と今後の方向性を問う。	市 長 教育長	

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 12 月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
9 小園 義行	1 嘱託職員等の働き方について	(1) 会計年度任用職員制度に向けての対応について問う。 (2) 新制度下での嘱託職員等の働き方はどのように変わるのか問う。 (3) 新制度で自治体の役割はどうなるのか問う。 (4) 障がい者雇用についてどのように考えているのか問う。	市 長 市 長 市 長 市 長
	2 正規職員の働き方について	(1) 正規職員の病休等での欠員に対する対応は、現状を把握したうえで早急に十分な対応が必要と考えるが、どのように対応されているのか問う。 (2) 現在、本市の障がい者雇用については身体障がい者が主となっているが、知的障がい者や精神障がい者の雇用について、どのように考えているのか問う。	市 長 市 長
	3 福祉行政について	(1) 国において保育所保育指針が改定され4月から施行された。10項目からなる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が新設された。このことをどのように受けとめているか。また、それぞれの法人への対応について問う。	市 長 教育長
	4 水道事業について	(1) 国会において水道事業の民営化が議論されている。この法案に対する管理者の考えを問う。 (2) 修繕等に対応できる有資格者を市職員として採用し、安定的に運営できる体制を確保する考えはないか問う。	市 長 市 長
	5 漁業振興について	(1) 漁業法改定案が国会で審議されている。どのように受けとめているか問う。	市 長
	6 農林業振興について	(1) 有害鳥獣被害の状況と今後の対応策をどのように考えているか問う。	市 長
	7 教育振興について	(1) 学校へのエアコン設置に向けての今後の取り組みを問う。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

平成 31 年 3 月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村 広志	1 本庁舎移転について	<p>(1) 本庁舎を現在の志布志支所に移転する基本方針が示され、市民説明会が3地区で開催された。そこで、改めて市長の考えを問う。</p> <p>① 本庁舎移転の考え方について</p> <p>② 段階的移転計画について</p> <p>③ 新行政組織について</p> <p>④ 移転に向けたタイムスケジュールについて</p> <p>⑤ 移転に係る予算について</p>	市 長
	2 農業政策について	<p>(1) 豚コレラが1府4県に拡大している。本市の養豚農家からも心配する声が聞かれる。そこで、家畜伝染病に対する防疫マニュアルの整備状況について問う。</p>	市 長
2 小野 広嗣	1 施政方針について	<p>(1) 先手管理について</p> <p>行政サービスの効率化と現場第一主義の徹底を図るための4つの行政経営指針の4番目の、言われてからの後追い対策ではなく言われる前に対策を講じる「先手管理」については、会派で兵庫県小野市の取り組みを学び、大変参考になった。本市の取り組みの現状について問う。</p>	市 長
		<p>(2) 「関係人口」について</p> <p>地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」に着目し、都市住民が本市との継続的なつながりを持つ機会ときっかけづくりを提供することで、地域外の人材から知恵や力がもたらされるよう取り組むとあるが、今後の具体的な展望について問う。</p>	市 長
		<p>(3) 「食」のまちづくりとにぎわいのある商店街づくりについて</p> <p>ご当地グルメの市内外への情報発信やその活動の支援、新たなグルメ発掘を探りながら「食」のまちづくりとにぎわいのある商店街づくりに努めるとあるが、市長のイメージする「食」のまちづくりとにぎわいのある商店街づくりについて問う。</p>	市 長
		<p>(4) 幼児教育の無償化について</p> <p>本年10月から実施予定の幼児教育無償化の対象外となっている住民税課税世帯の0歳児から2歳児について、市独自の保育料軽減策の検討を進めるとあるが、少子化対策の観点からも市単独で無償化を図るべきではないか。</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 31 年 3 月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2 小野広嗣	2 歩くまちづくりについて	(1) 会派研修で訪れた兵庫県加西市は、高齢になっても地域で元気に暮らせる「健幸」都市を目指して、平成27年4月に「加西市歩くまちづくり条例」を制定し、平成28年3月には、「加西市歩くまちづくり推進計画」を策定し、住んでいるだけで歩いてしまうまちづくりに取り組んでいた。本市でも、「住んでいるまちを歩くこと」をまちづくりのビジョンの一つと捉え、「健幸」都市を目指すべきではないか。	市 長
	3 児童虐待防止対策について	(1) 近年、児童虐待事案が急増している。虐待から子供の命を守るためには、子供の異変に早期に気付き、虐待の芽を摘むことが何よりも重要であり、そのためには児童相談所のみならず関係機関・民間団体等が協同し、孤立している子育て家庭全体を支援することが必要である。児童虐待防止に関する本市の取り組みについて問う。	市 長 教育長
3 八代 誠	1 本庁舎移転について	(1) 「志布志市本庁舎移転基本方針」を示した、本庁舎移転検討委員会の設置手法について問う。	市 長
		(2) 現在の志布志支所における、防災上の課題やリスクについて、認識を問う。	市 長
		(3) 基本方針にある段階的移転計画（短期・中期・長期）の詳細（移転内容・時期・環境整備・その他）について問う。	市 長
4 岩根賢二	1 本庁舎移転について	(1) 先般、市内3か所で行われた本庁舎移転説明会での、市民の声をどのように受け止めたか。 (2) 本庁舎の移転について、市民が抱えている疑問に対して、より丁寧に応えて行くべきではないか。 (3) 市長の政治理念でもある「市民目線で市民が主役のまちづくり」の観点から、本庁舎移転については、今一度立ち止まって考えてみてはどうか。	市 長 市 長 市 長
	2 政治姿勢について	(1) 市長が掲げている公約の中で、本庁舎移転の次の事業展開をどのように考えているか。	市 長
5 南 利尋	1 施政方針について	(1) 「志布志市も今まさに形成期から発展、そして成熟期へ大きく移り変わろうとしております。」とあるが、どのような観点から成熟しつつあると考えるのか問う。	市 長
	2 観光振興について	(1) 平成30年12月定例会の一般質問において「観光振興計画の数値目標達成のため、スポーツ合宿を柱に努力していく」との答弁があった。「スポーツ合宿」だけではなく、「歴史のまちづくり」や「ダグリ岬周辺の観光振興」も含め、三本柱として取り組むべきではないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 31 年 3 月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
6 尖 信一	1 環境行政について	(1) 「志布志市環境基本計画」については、31年度に最終年度を迎えるが、次期計画に全国の各自治体で問題になっている高レベル放射性廃棄物の最終処分場や中間貯蔵施設の整備予定地選定に係る方針等を盛り込むことや、条例化を検討する考えはないか問う。	市 長
	2 医療行政について	(1) 医療機関体制や医師の確保が問題になっているが、本市のこれまでの取り組み状況について問う。併せて、近隣自治体との曾於地域医療確保対策協議会の取り組み状況について問う。	市 長
	3 行財政改革について	(1) 施政方針の中で、「施策や事業の選択と集中を図りながら効率的で質の高い行財政運営を推進する」とあるが、具体策を示せ。 (2) 本庁機能の移転に伴い、業務軽減のための改革を連動させて実施する考えはないか問う。	市 長 市 長
7 平野 栄作	1 鳥獣害対策について	(1) 全国的に有害鳥獣の被害が増加傾向にあり、その被害状況については、中山間地域での農作物被害に加え、鳥獣によっては人家近くへの出没により人的被害の発生が危惧されるような状況も散見される。これまで、本市議会でも複数の議員から一般質問があり、本市において喫緊の課題となっている。本課題の解決に向け、数箇所の自治体の取り組み状況を視察研修したが、本市の今後の取り組みについて以下の点を問う。 ① 農作物被害の状況についてどのように分析しているのか。 ② 市単独事業として、新たに考えている対策があるのか。 ③ 国の交付金の活用は考えていないのか。	市 長
	2 新庁舎建設等について	(1) 現在の本庁、各支所の3庁舎については、20年から30年後には耐用年数が到来し、建て替え、改修に関わらず短期的に莫大な経費が集中することが予想されることから、それらに備えた取り組みを実施していく必要性を感じる。今後、長期的な計画が策定されていくとは思いますが、現市長として将来の志布志市を想定したとき、市役所のあるべき姿（本庁の位置、支所の数等）をどのようにイメージしているのか。また、現時点から早急にこの課題に着手するべきだと思うが、どのようなスケジュールを考えているのか。	市 長
8 玉垣大二郎	1 防災対策について	(1) 「志布志市津波防災地域づくり推進計画」、「津波避難対策緊急事業計画」は、どのように市民に告知し、活用していくのか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 31 年 3 月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
8 玉垣大二郎	1 防災対策について	(2) 災害時において消防団の担う役割は大きいですが、消防団員とどのように連携しているのか問う。	市 長
	2 環境対策について	(1) 不法投棄の現状と対策について問う。 (2) 過剰包装の抑制、レジ袋有料化に再度取り組む考えはないか問う。	市 長 市 長
9 持留忠義	1 本庁舎移転に関する取り組みについて	(1) 市民説明会が 1 月下旬から 2 月上旬にかけて、志布志、松山、有明で開催されたが、市民からの質問や意見をどのように受け止めたのか問う。 (2) 本庁舎移転に関する民意を把握するための住民投票を行う考えはないか問う。 (3) 財政状況が厳しい中で、本庁舎移転に伴う予算の確保をどのように考えているのか問う。 (4) 志布志支所への移転に伴う津波対策をどのように進めるのか問う。	市 長 市 長 市 長 市 長
	2 有害鳥獣対策について	(1) 平成31年 1 月末時点での有害鳥獣の捕獲数と被害状況について問う。 (2) 有害鳥獣の捕獲については、銃器やわなが主であると思うが、手法ごとの従事者数と捕獲実績について問う。 (3) 捕獲した有害鳥獣の解体処理施設の設置について、隣接市町と連携した事業推進はできないのか問う。	市 長 市 長 市 長
10 丸 山 一	1 空き地対策について	(1) 市内には所有者不明の土地が数多く存在すると思われるが、どのように把握しているのか。また、安全上の対策を講じる考えはないか。 (2) 所有者不明の土地があることで、公共工事の実施に支障を来していると考えますが、対応策を急ぐ考えはないか。 (3) 空き地から道路への倒木により、通行の妨げになるなど市民からの伐採要望も多い。高所作業車を導入し迅速に対応する考えはないか。	市 長 市 長 市 長
	2 親水公園の整備について	(1) 志布志市臨海工業団地 5 工区の一部に、子どもたちが自然とふれあえる親水公園を整備する考えはないか。	市 長
11 青山浩二	1 本庁舎移転計画について	(1) 本庁舎移転基本方針の具体的内容について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 31 年 3 月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
11青山浩二	1 本庁舎移転計画について	(2) 平成30年12月に本庁舎移転に関する基本方針を示し、同21日に市まちづくり委員会で説明会を開催された。また、平成31年1月31日に志布志地域で、2月4日に松山地域、同5日には有明地域で市民説明会を開催されたが、賛成意見、反対意見ともに様々な意見が出た。市民目線の立場からどのように受け止め、どのように活かしていくのか問う。	市 長
12小 辻 一 海	1 高齢者福祉対策について	(1) 介護保険制度の改正内容について問う。 (2) 地域包括ケアシステム構築後の本市の取り組み状況について問う。	市 長 市 長
	2 交通弱者対策について	(1) 高齢者の運転免許証返納について問う。 ① 高齢者の交通事故状況について ② 運転免許証の返納状況について ③ 返納後の高齢者への支援策について (2) 地域公共交通網の形成について問う。 ① 公共交通（路線バス・リムジンバス・さんふらわあライナー・福祉タクシー）の利用状況について ② 地域公共交通網形成計画の目的と考え方について	市 長 市 長
	3 本庁舎移転の基本方針について	(1) 説明会を終えての課題・問題の認識と市民からの質問、意見、要望への対応について問う。 (2) 志布志支所が市民が求める安心・安全な防災拠点としての機能や役割を果たせるのか問う。	市 長 市 長
13鶴迫京子	1 施政方針について	(1) 平成31年10月から実施予定の幼児教育無償化における対象外の住民税課税世帯の0歳児から2歳児について市独自の保育料軽減策の検討を進めるとあるが、具体的内容について示せ。 (2) ひとり親家庭医療費助成事業及び重度心身障害者医療費助成事業の申請方法について、平成31年10月から簡素化を図るとあるが、これまでの経過と簡素化後の申請方法を具体的に示せ。 (3) 若者の定住促進について、結婚希望者への支援体制を構築するとあるが、兵庫県加西市では「出逢いサポートセンター」を開設し取り組んでいた。本市でも取り組む考えはないか。 (4) 65歳を対象とした新たなライフスタイル創造の契機づくりとして、兵庫県小野市では第2の成人式「エイジ・ルネサンス」事業に取り組んでいた。関係人口創出のため、本市においても取り組む考えはないか。	市 長 市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 31 年 3 月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
13鶴迫京子	2 人権擁護について	(1) いじめ・虐待・DV・男女共同参画・人権啓発等の情報の一元化による迅速な対応を行うため、兵庫県小野市にならって「いじめ等防止条例」を制定する考えはないか。	市 長 教育長
14小園義行	1 国保について	(1) 国保運営の現状をどのように受け止めているのか。 (2) 均等割を見直して負担の軽減を図る考えはないか。	市 長 市 長
	2 個人情報の保護について	(1) 国から要請のある自衛官募集について、どのように対応しているのか。	市 長
	3 公共事業について	(1) 入札中止が数多く発生している原因をどのように受け止めているか。	市 長
		(2) 地域循環型経済を活性化するため、公契約条例を制定する考えはないか。	市 長
	4 商業振興について	(1) 小規模企業振興基本法に基づき、小規模企業の振興に関する条例を制定し、本市の諸条件に応じた施策を展開し、小規模事業者の振興を図る考えはないか。	市 長
5 学校教育について	(1) 重たいランドセル問題について、国の通知はどう具体化されているのか。また、そうした状況になっていることの大きな要因をどのように考えているか。	教育長	

一 般 質 問 通 告 書

令和元年6月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
1 野村広志	1 行財政運営の健全化について	(1) 厳しさを増しつつある行財政運営の中で、歳入歳出予算の考え方と健全化に向けた具体的な取り組みについて問う。 (2) ICTの利活用による業務の効率化と歳出削減策について問う。 (3) 電力自由化に伴う再生可能エネルギーの推進について、調査・研究を進め情報収集すると以前答弁しているが、その後の進捗状況について問う。 (4) 本年10月より消費税が10%に引き上げられる予定の中、市財政への影響と対応について問う。	市 長 市 長 教育長 市 長 教育長 市 長
	2 働き方改革について	(1) 本年4月から、働き方改革関連法が順次施行されている。本市における推進状況について問う。	市 長 教育長
2 小野広嗣	1 コンパクトシティ構想によるまちづくりについて	(1) コンパクトシティ構想は、徒歩や自転車、公共交通による移動性を重視し、さまざまな機能を各地域に集約させた都市形態をいい、持続可能なまちづくりや都市機能の効率化、さらには地域の活性化という考え方を背景にしているが、本市も今後のまちづくりを推進する上で、コンパクトシティ構想を導入する考えはないか問う。	市 長
	2 歴史のまちづくりの推進について	(1) 文化庁は5月20日、地域の有形・無形の文化財をテーマでまとめ、魅力を発信する「日本遺産」に、鹿児島県の「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群『麓』を歩く」などを新たに認定し、志布志麓も認定された。本市の今後の歴史のまちづくりの推進の在り方について問う。 (2) 歴史的価値の高い建物を活用しつつ保存する事例が各地で増えており、そうした動きを公的に後押しする内容を盛り込んだ「改正文化財保護法」が、昨年6月に成立し、本年4月に施行されたが、文化財保存活用地域計画策定や日本遺産との連携性について、今後の本市の考え方を問う。	市 長 市 長
	3 SDGsについて	(1) 先進国を含む国際社会全体が2030年までに達成すべきとして、2015年国連で採択された貧困の撲滅や気候変動対策など17項目からなる国際目標、すなわち持続可能な開発目標であるSDGsは、日本でも2016年に推進本部を設け各自治体に取り組みを促しているが、本市はどのように認識しているのか問う。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年6月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2 小野広嗣	4 教育行政について	(1) 新しい学習指導要領として文部科学省が示している、アクティブラーニングの視点からの授業改善をどのように捉えて対応しようとしているのか。併せて全面実施に向けた課題をどのように考えているのか問う。	教育長
3 尖 信一	1 人材確保と育成について	(1) 市長は常々ヒト・モノ・カネ・情報が交流することで、雇用の創出などまちの持続的な発展につながる大きな効果が発生すると述べている。人口減少や労働者不足が懸念される中で、本市職員の適正人員数をどのように計画しているか。また、採用後の人材育成研修について問う。	市 長
	2 環境行政について	(1) 「使用済み紙おむつ」の再資源化事業については、多くの初期投資のほか継続的な費用が見込まれるが、今後の事業展開について問う。	市 長
	3 教育行政について	(1) 来年度から始まる小学校高学年での英語教育及びプログラミング教育の準備段階である現状において、すでに都市部と地方で格差が生じていると指摘されている。本市での取り組み状況について問う。	教育長
4 平野栄作	1 水道事業における漏水対策及び関連業者との連携について	(1) 水道法が改正されたことを受け、様々な点で議論が高まってきている。本市の水道事業については、公営で維持していくという市長の見解も示されている。円滑な運営を継続するためには、水道工事業者との連携が今後も必要であると考えるが、以下の点について問う。 ① 各地区で設定される水道当番店の負担感が増しているのではないか。 ② 漏水が発生した場合の連絡の在り方はどのようになっているのか。 ③ 水道工事業者が抱える課題等をどのように認識しているのか。	市 長
	2 山重幼稚園の運営について	(1) 近年共働き世帯が増える中、早い段階で保育所等に子供を預ける家庭が増えてきているように感じる。民間の施設ではこのようなニーズに応えるべく、幼保連携型認定こども園等へ移行するケースが増えているが、以下の点について問う。 ① 近年の園児数の推移を示せ。 ② 認定こども園等への移行は考えていないのか。 ③ 今後も公営で運営していくのか。	市 長 教育長
5 南 利尋	1 本庁舎移転計画について	(1) 日本国憲法、地方自治法、志布志市議会基本条例に鑑みると、移転は妥当であると考ええる。法的な観点から、改めて市民への説明も必要ではないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年6月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
5 南 利 尋	1 本庁舎移転計画について	(2) 市長はまちづくりに対するグラウンドビジョン（基本構想）をどのように考えているか。	市 長
	2 インバウンド対策について	(1) グローバル社会の中で、交流人口や関係人口を増やすには、本市でも日本語学校など各種学校の設立も検討すべきではないか。	市 長
	3 ごみ処理対策について	(1) 資源ごみの収集日を増やす考えはないか。 (2) 資源ごみの収集場所となっている市駐輪駐車場の管理状況について。 (3) 新たなごみ処理システムを構築する考えはないか。	市 長 市 長 市 長
	4 観光振興について	(1) 志布志港旅客船埠頭（観光船バース）の景観の維持管理については、これまでも質問し、管理者である県と密に連携を図るとのことであったが、依然として管理が行き届いていないように感じる。現状をどのように考えているか。 (2) 本市の観光拠点でもあるダグリ岬周辺の景観維持について、旧夏井荘は解体されたがその他の老朽化した施設等の現状と対策についてどのように考えているか。	市 長 市 長
6 青山浩二	1 本庁舎移転計画について	(1) 令和元年5月15日の全員協議会で志布志支所の庁舎内視察を行い、21日の全員協議会で本庁舎移転計画の変更案が示された。 前回の定例会終了後、様々な視点からの協議を踏まえた変更案だと思うが、この本庁舎移転計画の具体的内容について問う。	市 長
7 市ヶ谷孝	1 本庁舎移転基本方針について	(1) 本年5月に改訂された「志布志市本庁舎移転基本方針」について、市長の考えと創出されるまちのイメージを問う。	市 長
8 鶴迫京子	1 いじめ等防止条例について	(1) 本年3月定例会の一般質問において、いじめ等防止条例の制定については、しっかり策定するとの答弁であったが、その後の進捗状況はどのようになっているか。	市 長 教育長
	2 安全確保について	(1) 池袋暴走事故、大津園児死傷事故など、弱者と呼ばれる幼い子供たちを含む尊い命が奪われている。このことについての見解を問う。 (2) 通学・通園路での危険回避や交差点での注意喚起など、子供たちの命を守るための安全対策について問う。 (3) 平成30年6月定例会において、ゾーン30の推進について質問したが現状はどうか。	市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年6月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の 相手方
8 鶴迫京子	3 公園について	(1) 平成30年6月定例会において、安楽地区に公園を整備して欲しいと一般質問したが、その後の検討状況について問う。	市 長
9 小園義行	1 国保について	(1) 均等割を見直して負担の軽減を図る考えはないか。	市 長
	2 福祉行政について	(1) 放課後児童クラブと放課後等デイサービスについて基本的な考えを問う。	市 長 教育長
	3 敬老祝金について	(1) 現在の節目支給を見直して、75歳以上全員に支給する考えはないか。	市 長
	4 職員の勤務の在り方について	(1) 本市のパワーハラスメントやセクシュアルハラスメント等に対する認識と現状を問う。 (2) 平成29年12月定例会で質問をしたが、その後の対応を問う。	市 長 教育長 市 長 教育長
	5 政治姿勢について	(1) 本庁移転に関する条例改正が提案されているが支所の在り方等を含めた議論が十分にされての提案と受け止めてよいか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年9月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2野村広志	1 防災行政全般について	⑥ 子供たちの安全確保について問う。 ⑦ 緊急時における職員の人員体制について問う。 ⑧ 消防団員の活動範囲について問う。 ⑨ 防災マニュアルの検証について問う。 ⑩ 想定を超える災害での教訓について問う。	市 長 教育長
3長岡耕二	1 地域医療の現状について	(1) 地域医療の確保については、曾於地域及び大隅地域4市5町の枠で協議会が設置されているが、それぞれの協議の進捗状況について問う。 (2) 曾於地域における2次医療圏域別の疾患完結率については、高度急性期、急性期、回復期、慢性期のいずれにおいても県内の他地域に比較し、低い状況である。現状をどのように認識しているのか問う。 (3) 医師不足はもとより、看護職員の不足も課題となっているが、看護職員確保に向けた具体的な対応は考えていないのか問う。	市 長 市 長 市 長
4尖 信一	1 港湾振興について	(1) 志布志港は国際バルク戦略港湾に指定され、岸壁拡張や高速道路等の供用開始に伴いますます発展が見込まれるが、更なる発展のための課題や、行政としての新たな取り組みをどのように考えているか問う。	市 長
	2 河川の問題について	(1) 本市のごみリサイクルは市民の協力の下、全国から高い評価を得ている。しかし、市内河川の汚染はますます悪化してきているように感じる。その原因とこれまでの対策をどのように認識しているか。また、今後取るべき改善策をどのように計画しているか問う。	市 長
	3 都市計画について	(1) 本庁移転や各種道路の供用開始が進む中、新たなまちづくり計画が必要であると考え。本市の都市計画の根幹をなす用途地域の区割りや、基準等を抜本的に見直す時期に来ていると考えがどうか。併せて、賑わいあるまちづくりに必要な規制緩和等はないかを問う。	市 長
	4 学力向上について	(1) 本年度実施された全国学力・学習状況調査の結果から、本市中学校全体の学力をどのように評価しているか。また、これまで学力向上のために取り組んできた施策による効果をどのように捉えているか。併せて、今後、学力向上に向けた新たな取り組み等があるのか問う。	教育長
5小辻一海	1 有害鳥獣被害対策について	(1) 昨今、過疎・高齢化に伴う耕作放棄地の増加などにより生息域が拡大している有害鳥獣被害の過去3年間の被害状況・金額と捕獲実績について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年9月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
5小辻一海	1 有害鳥獣被害対策について	(2) 平成29年度に「志布志市鳥獣被害防止計画」が策定されているが、本市の鳥獣被害対策の基本的な考えと鳥獣別捕獲計画数の具体的な目標数値について問う。 (3) 報奨金の市単独負担分を引き上げる考えはないか問う。	市 長 市 長
	2 インバウンド戦略について	(1) 鹿児島県を訪れる外国人旅行者の実態と本市の現状について問う。 (2) 近年、増加が続く訪日外国人旅行者受け入れに向けた取り組みについて問う。	市 長 市 長
6南 利 尋	1 財政改革について	(1) 施政方針において示された「入るを量りて出ざるを制す」の下、取り組んでいる財政改革の進捗状況について問う。 (2) 新たな自主財源確保の現状と今後の取り組みについて問う。	市 長 市 長
	2 観光振興について	(1) ダグリ岬周辺への観光客誘致に向け、スピード感ある新たな事業への取り組みが必要ではないか問う。	市 長
7八代 誠	1 防災・減災対策について	(1) 本年6月末から7月初旬にかけての豪雨被害への本市の対応について問う。 ① 避難勧告・避難指示の手法及び避難所の在り方と運営等について。 ② 法面崩壊に伴う道路の通行に支障のある崩落土等の処理の現状と、今後予想される南海トラフ地震発生時の廃棄物処理について。	市 長
		(2) 現在策定中である本市の「国土強靱化地域計画」の進捗状況と在り方について問う。	市 長
		(3) 「地域防災マネージャー制度を活用した退職自衛官の雇用」について問う。	市 長
8福重彰史	1 道路行政について	(1) 県道柿ノ木・志布志線、弓場ケ尾地区の拡幅改良計画の現状と見通しについて示せ。 (2) 県道塗木・大隅線、宮下地区の改良計画の進捗状況はどのようになっているか示せ。	市 長 市 長
	2 定住促進対策について	(1) 少子高齢化が進む中、人口減少に歯止めがかからないが現状をどのように捉えているか示せ。 (2) 定住促進へ向けて、新たに分譲地を造成すべきと考えるがどうか。	市 長 市 長
	3 敬老祝金について	(1) 現在の支給の在り方をどのように考えているか示せ。 (2) 節目支給を見直す考えはないか。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年9月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
8 福重彰史	4 森林行政について	(1) ここ数年、木材需要の高まりを背景に人工林の伐採面積が猛烈に伸びている一方で、防災上の懸念が高まっている。本市の人工林の総面積と2018年度に提出された伐採届、伐採及び再生林の面積について実績を示せ。	市 長
		(2) 林地荒廃や防災等に対応するため伐採届の厳格化が必要だと思われるが、考え方を示せ。	市 長
9 小園義行	1 保健行政について	(1) 国保運営の2018年度決算の状況を問う。	市 長
		(2) 子育て世帯の負担軽減として均等割の見直しは考えられないか。	市 長
		(3) 施政方針でフッ化物洗口の事業を実施したいとの方針が示され、現在、保育所、幼稚園で始まっている。その現状と今後の対応を問う。	市 長
	2 福祉行政について	(1) 本年10月から実施される3才から5歳児の幼児教育・保育の無償化に伴う給食費の実費徴収化に向けての対応を問う。	市 長
		(2) 本市として給食費の無償化に向けて減免等助成の考え方を問う。	市 長
	3 情報管理の在り方について	(1) 国がマイナンバーカードの取得を推進する方針を決め、地方公務員に関し、本年6月5日と28日付で通知を出している。本市の対応と現状を問う。	市 長 教育長
10 鶴迫京子	1 国際の森について	(1) 平成20年6月、平成30年9月の定例会において、陣岳の国際の森について質問しているが、その後の対応の進捗状況について示せ。	市 長
		(2) 国際の森を拠点とした人と人とのつながりを創出するため、「地域おこし協力隊」や「関係人口の創出」などの関係事業を絡めて、その先進地である高知市の土佐山アカデミーから学ぶ考えはないか。	市 長
11 東 宏二	1 定住対策について	(1) 奨学金の返還支援による定住対策の実施について。	市 長 教育長
		(2) 地元就業が想定される学生を対象に奨学金を創設し、地元就業を条件に返還を免除することで地元雇用を促進していく考えはないか。	市 長 教育長
	2 観光行政について	(1) 夏井・陣岳地域に所在する市有林の観光資源としての活用について。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年 12 月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
1 小野 広 嗣	1 高齢ドライバーの事故防止対策について	(1) 本年 4 月、東京都の池袋で 87 歳の高齢者が運転する車が暴走し、母子 2 人が亡くなり、10 人が負傷した事故以降も高齢ドライバーによる事故が続いており、高齢ドライバーの安全対策及び安全運転支援の取り組みは待ったなしの課題である。本市の高齢ドライバー事故防止対策の取り組み状況について問う。	市 長
	2 地域公共交通政策について	(1) 地域公共交通網の充実と活性化を図り、運転免許を返納した後も、自分で買い物や通院、駅に行くなど、それまでの生活と変わらない、移動手段の確保を図るべきではないか。	市 長
		(2) 本年 3 月、志布志市地域公共交通網形成計画が示され、本市の地域公共交通の基本理念として、市民・交通事業者・行政が連携し、公共交通機関の連携が向上し、誰もがスムーズに市内を移動できる「移動網」を目指すとする。目標達成のために実施する事業を具体的に 20 件掲げているが、その進捗状況について問う。	市 長
	3 自転車の安全対策について	(1) 鹿児島県は、自転車保険に関する条例「かごしま県民のための自転車の安全で適正な利用に関する条例」を制定し、自転車保険への加入を義務付けている。本市の自転車保険加入促進の状況と自転車の安全対策について問う。	市 長 教育長
4 子供の貧困対策について	(1) 子供たちの将来がその生まれ育った家庭の事情等に左右されてしまう場合が少なくない状況の中、子供たちの養育環境を整備するとともに、教育を受ける機会の均等を図り、生活の支援、保護者への就労支援などと合わせて総合的に推進する必要があるが、本市の貧困対策への取り組み状況について問う。	市 長 教育長	
2 野 村 広 志	1 港湾行政について	(1) 港湾が所在する自治体として国際バルク戦略港湾の整備完了後の、志布志港の展望をどのように考えているのか問う。	市 長
		(2) 志布志港における輸出入の促進について市、民間事業者、港湾管理者間でどのような取り組みが進められているのか問う。	市 長
	2 商工業振興策について	(1) 国において小規模企業振興基本法が制定されている中、鹿児島県においても「中小企業の振興に関するかごしま県民条例」が改正され、施行されている。本市の商工業振興策について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年 12 月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
3 尖 信 一	1 教育行政について	(1) 宮城県石巻市の大川小学校の津波被害をめぐる訴訟では、最高裁が市と県の上告を退け、遺族らの勝訴が確定した。子供を預かる教育行政に対し、高いレベルの災害対応が求められた司法判断となった。本市においては、沿岸部に位置する小学校や保育園等に通う児童・園児の安全確保に対し、今後どのような対策を取るのか問う。 (2) 従来の「暗記型学習」から、自ら課題を見だし解決していく「思考型学習」に大きく変わろうとしている。学校行事の一環としての修学旅行の在り方も見直す時期と考えるが、修学旅行を今後どのように「考える学習」に生かしていくのか問う。 (3) 軽微ないじめも積極的に認知されるようになり、全国のいじめ問題の件数は54万件と過去最高になった。本市におけるいじめ問題の件数や内容を把握しているのか問う。	教育長 教育長 教育長
	2 水産業の育成について	(1) 大分県佐伯市では、イワガキの養殖が大きな産業に成長している。本市における水産業の現状と、イワガキの養殖事業を今後どのように成長させていく考えか問う。	市 長
	3 公金の運用について	(1) 市長の公約の柱である「入るを量りて出ざるを制す」の下、国の様々な補助金・交付金を利活用している。また、各種補助金はゼロベースでの見直しがなされている。一方、新たな財源確保に向けて、基金などの安全で有利な管理・運用は積極的になされていない。超低金利時代の中で、少しでも「入るを量る」ためにも、安全で確実な運用を行う考えはないか問う。	市 長
4 小園 義行	1 保健行政（国保）について	(1) 子育て世帯の負担軽減策として、第3子以降の均等割の見直しを図る考えはないか。	市 長
	2 福祉行政について	(1) 幼児教育・保育の無償化に伴い副食費の助成を実施する考えはないかとの質問に「全庁的な取り組みについて協議・検討したい」と答弁された。新年度に向けた取り組みについて問う。	市 長
		(2) 敬老祝金を75歳以上の全対象者に支給するように見直す考えはないか。	市 長
	3 教育行政について	(1) 「志布志市いじめの防止等に関する条例」を提案されているが、内容について問う。	市 長 教育長
4 会計年度任用職員について	(1) 新年度に向けての対応等を具体的に問う。	市 長	

一 般 質 問 通 告 書

令和元年 12 月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
4 小園 義行	5 政治姿勢について	(1) 市長の退職金を受け取らないと公約されているが、具体的な取り組みについて問う。	市 長
5 青 山 浩 二	1 保健行政について	(1) 乳幼児期の虫歯予防のために、本年度よりフッ化物洗口を保育所・認定こども園で取り組んでいる。これまでの経過と現在の状況及び今後の対策を問う。 (2) 本年 9 月議会において、市長は「乳歯から永久歯が完全に生えそろう 14 歳頃までの継続した取り組みが重要と考えており、来年度、小学校でのフッ化物洗口の実施に向け取り組んでいく」と答弁している。現段階における準備状況、また、どのような形で実施していくのか問う。	市 長 市 長 教育長
	2 市役所本庁舎移転計画について	(1) 本年 6 月議会において、本庁舎移転計画のうち、短期計画（管理部門及び議会の移転）が可決された。一方、「本庁舎移転検討委員会」及び「本庁舎調査検討委員会」等で協議されるとした中長期計画の今後の進め方と情報提供の在り方について問う。	市 長
6 南 利 尋	1 農業振興について	(1) 本市でも、大きな被害をもたらしている「かんしょ茎・根腐敗症」に対して、どのような対応を行う考えかを問う。 (2) 農産物の志布志ブランド化へ向け、今こそ 6 次産業への取り組み、販路開拓が重要だと思うが、考えを問う。	市 長 市 長
	2 地域医療について	(1) 本市の地域医療の現状をどう捉えているのか問う。 (2) 予防医療の観点からも、官・民一体となった取り組みが必要ではないか問う。	市 長 市 長
	3 観光振興について	(1) 本市の観光振興に対してのグラウンドビジョンについて問う。 (2) ダグリ岬周辺整備事業の進捗状況について問う。	市 長 市 長
	4 交流・関係人口について	(1) 交流・関係人口増加への取り組みについて問う。	市 長
7 岩 根 賢 二	1 窓口業務の改善策について	(1) 宮崎県都城市では、この 11 月 11 日から「おくやみ窓口」を設置し、死亡に伴う各種手続きについて遺族をサポートしている。本市でも同様の窓口を設置する考えはないか。また、転入・転出手続きについても同様の窓口を設置する考えはないか。 (2) 最近、窓口での対応についての苦情を耳にした。市民に優しい窓口で改善すべきではないか。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年 12 月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
7 岩根賢二	2 ボランティア活動に対する支援策について	(1) 道路伐採等で、行政側で対処できない部分について、市民が自主的に作業を実施されるケースがある。そのような活動に対して、相応の支援をするための仕組みを考えられないか。	市 長
	3 危機管理対策について	(1) 11月5日に実施された地震・津波防災訓練の成果について問う。	市 長
		(2) 避難場所は現在のままでよいと考えているか。	市 長
		(3) 押切・通山地域の高台に避難するための施設を造る考えはないか。	市 長
4 来年度予算について	(4) 津波浸水深分布図や津波シミュレーション図の色彩を、色覚障がい者にも分かりやすい配色にする考えはないか。また、これらをジオラマ風に立体的に作成する考えはないか。	市 長	
	(5) 市民グラウンドは、ドクターヘリの離着陸場所からは除外されている。代替地を早急に設定すべきではないか。	市 長 教育長	
8 丸山 一	1 市内の河川環境について	(1) 市内の河川は30年程前よりかなり汚染度が上がっているため、大人や子供が河川で楽しめるよう浄化対策を急ぐべきではないか。	市 長 教育長
		(2) 近年集中豪雨により堤防が決壊し、広範囲に冠水する事例が増えている。市内河川堤防の嵩上げを急ぐべきではないか。	市 長
	2 普現堂池について	(1) 普現堂池に設置された水車が回り始めた。部品の欠損が見られるが、補修する考えはないか。	市 長
		(2) 下池には外来植物と思われる水草が広範囲にわたり繁茂している。除去する考えはないか。	市 長
9 持留忠義	1 県道の改良事業について	(1) 県道東原大崎線、志布志有明線、宮ヶ原大崎線の改良の現状と今後の見通しについて問う。	市 長
	2 山重幼稚園の今後について	(1) 来年度については、山重幼稚園の一時休園が示されたが、地域の声を踏まえ、再度検討する考えはないか。	市 長 教育長
	3 教育振興について	(1) 市内中学校の部活動の指導者の現状と、今後の方向性について問う。	教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年 12 月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
9 持留 忠義	4 茶業振興について	(1) 11月20日に行われた「鹿児島県茶業振興大会in志布志市」に市長も参加されたが、本市の茶業振興の現状をどのように捉えているか。 (2) 荒茶価格の低迷が続いているが、本年度の価格推移と、今後の支援対策について問う。	市 長 市 長
	5 鳥獣被害対策について	(1) 国内で感染が報告されている豚コレラについては、野生イノシシが媒介しているとの報道がされている。イノシシの頭数が年々増えている本市においても同様の被害が懸念されることから、捕獲対策の充実を図るべきではないか。 (2) わなの導入に対する助成はできないか。	市 長 市 長
10 鶴迫 京子	1 津波対策について	(1) 施政方針にもある強靱な地域づくりを推進する「志布志市国土強靱化地域計画」策定の進捗状況について問う。 (2) 同様に、津波避難タワーの設置に向けた地元との調整、検討の進捗状況について問う。 (3) 香月小学校前の交差点改良事業に伴い、国道220号線の北側の歩道部分は新設される交差点内の横断歩道となり、避難に支障をきたすことが想定される。円滑な避難を確保するために、既存歩道橋に連結する形で新たに歩道橋を設置する考えはないか問う。	市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年3月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
1 小野広嗣	1 施政方針について	<p>(1) 「顧客満足度志向」について 行政運営の効率化と市民サービスの更なる向上を目指し、4つの行政経営指針が示されているが、その中の「顧客満足度志向」については、今後、具体的にどのように取り組むのか。</p> <p>(2) 災害発生時等の情報共有について 防災・減災対策については、大規模自然災害に備え、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する総合的な取り組みを進めるため、「志布志市国土強靱化地域計画」に基づき、強靱なまちづくりを目指すとするが、一方でソフト面の対策も重要である。地域住民の生命を守るための災害発生時等の情報共有について問う。</p> <p>(3) 学校ICT環境の整備について 児童生徒1人1台の学習端末の配備や高速大容量の通信ネットワークの一体的な整備等を目指し、計画的なICT環境の整備に取り組むとある。国も「GIGAスクール構想」を打ち出し予算を計上している。国の財政支援を最大限に活用しながら、ICT環境の整備を加速していくべきではないか。</p>	市 長 市 長 教育長 市 長 教育長
	2 職員の働き方改革について	<p>(1) 昨年4月より働き方改革推進関連法が一部施行され、長時間労働の是正、労働安全衛生法に定められた「健康管理」の基準により、働きやすく働きがいのある職場づくりが期待されている。本市も職員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現と多様な働き方を可能とする職場づくりを進め、将来にわたり、より良い市民サービスを安定的に提供していくことを目指すべきではないか。</p> <p>(2) 施政方針には教員の長時間勤務を解消し、教育の質の維持向上を図るための具体的解決策の一つとして、統合型校務支援システムを全ての学校に導入し、業務の効率化を図るとあるが、教員の働き方改革に向けた、本市の現在の取り組み状況について問う。</p>	市 長 教育長
2 野村広志	1 政治姿勢について	<p>(1) 市長就任から2年余りが経ち、任期も折り返し地点である。これまで主張されてきた政策が、どの程度達成されたのか。また、残りの任期における軌道修正も含めた成果目標を問う。</p> <p>(2) 新たなまちづくりを推進するための柱として本庁舎が2021年1月に志布志支所へ移転される。それと並行して、有明地域・松山地域の特性をどのように生かして、発展を導く考えなのか問う。</p>	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年3月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2野村広志	1 政治姿勢について	(3) 本年度も、東九州自動車道及び都城志布志道路の一部開通が予定されている。また、かごしま国体等の開催により、更なる交流人口の増加が期待されている。「志布志市」をPRできる絶好の機会であるが、この千載一遇のチャンスをどのように生かしていく考えなのか問う。	市 長 教育長
3小辻一海	1 地域公共交通政策について	(1) 市長が本市に最もふさわしいと考える公共交通体系の具体的なイメージはどのようなものか。 (2) 地域公共交通網形成計画の策定から、現在までの取り組み状況について問う。 (3) 実証実験のエリアと実証実験を具体的にどのように進めるか問う。	市 長 市 長 市 長
	2 環境行政について	(1) 撲滅目標年度を迎えたメリケントキンソウについて ① 6年間の取り組みとその成果を問う。 ② これまでの取り組みに対する検証・評価と今後の取り組みについて。 (2) 令和2年度に策定を予定されている生物多様性地域戦略の進捗状況と今後の取り組みについて問う。	市 長 教育長 市 長
4尖 信 一	1 情報セキュリティについて	(1) 情報通信環境を活用した業務が一般的になっている中、本市のふるさと納税業務においても、その環境を活用した個人情報等の取り扱いがあると思われるが、セキュリティ対策は十分になされているか問う。	市 長
	2 志布志港の防疫対策について	(1) 現在、新型コロナウイルス感染症やASF（アフリカ豚熱）、CSF（豚熱）の感染拡大が懸念される中、外国籍の船舶が出入りする志布志港において、市民の健康管理や飼料供給基地としての機能維持を図るために、検疫機能の充実を要請する考えはないか。また、今後の防疫対策について問う。	市 長
	3 本庁舎移転に伴う業務改善について	(1) 新年度において本庁舎移転が行われるが、業務改善を含む働き方改革を視野に入れた移転計画が必要と考える。本市は昨年、リコージャパンと包括的連携協定を締結しているが、この協定を本庁舎移転や業務改善策にどのように生かしているか問う。	市 長
	4 森林環境保護について	(1) 本市においても森林伐採が進む中、伐採後の新植が行われないことで、近隣住民は山崩れ等を大変危惧している。適切な森林保護へ向けた対策について問う。	市 長
	5 企業版ふるさと納税の活用について	(1) 企業版ふるさと納税の制度改正により、地方自治体では様々な活用方策が考えられるが、今後どのように事業を展開していく考えか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年3月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
5 南 利 尋	1 環境保全・管理について	(1) 市道伐採等の現状と今後の対応について問う。 (2) 港湾地区の道路を含めた環境保全・管理について問う。	市 長 市 長
	2 観光振興について	(1) 観光入込客数120万人実現に向けた具体的なグラウンドビジョンについて問う。 (2) JR志布志駅周辺に大型モニターを設置し、本市のあらゆる情報発信を行うことで、観光入込客の増加につなげる考えはないか問う。 (3) 「かごしま国体」を生かした観光振興につながる具体的な取り組みについて問う。 (4) ダグリ岬周辺整備の進捗状況と今後の取り組みについて問う。 (5) 本市のインバウンド対策の現状と今後の取り組みについて問う。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長
6 平 野 栄 作	1 公共施設の維持管理の在り方について	(1) 公共施設等の管理については、市による管理運営を基本に用途に応じた所管課ごとの管理に分類されている。 近年、指定管理者制度の下で指定管理者により管理運営される公共施設と所管課管理による公共施設が混在する中で、施設管理の在り方について一貫性を欠いていると思われる事例が見受けられる。 行政経営指針の「顧客満足度志向」「オンリーワン」「成果主義」「先手管理」を踏まえた管理の一貫性が担保される改善が必要ではないか問う。	市 長 教育長
	2 自主防災リーダー育成への取り組みについて	(1) 昨年、本市においても記録的な豪雨災害が広域的に発生したが、全国的にも災害多発傾向にある。また、南海トラフ地震の発生が危惧される中、市民一人ひとりの防災意識の醸成が喫緊の課題であることを踏まえると、各地域での自主防災リーダーの育成も急務であるとする。市単独事業での地域防災推進員及び防災士の育成を推進すべきではないか問う。	市 長
7 岩 根 賢 二	1 施政方針について	(1) 施政方針に『本庁舎全体の移転』及び『新庁舎建設等』について調査研究を行うための外部委員による『庁舎の在り方検討委員会』を設置する」とあるが「市民目線で市民が主役のまちづくり」の観点から、「市民の声」をどのように取り入れ、反映させていく考えか。 (2) 施政方針に「郷土芸能等の実態調査及び伝承が難しい民俗芸能等の記録保存に引き続き努める」とあるが、保存だけでなく伝承策が必要ではないか。	市 長 市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年3月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
8 八代 誠	1 防災・減災（危機管理）対策について	(1) 避難所に関する取り組みについて問う。 ① 昨年の豪雨や台風接近の際に設置した避難所運営の在り方について。 ② 「志布志市避難所運営マニュアル」について。 ③ 危機管理室の現状と対応範囲について。	市 長
		(2) 「志布志市国土強靱化地域計画」について問う。 ① 本計画の施策推進に向けた今後の取り組みについて。 ② 事前防災・減災の一手法として、沖堤防の増設、沿岸部の防潮堤建設や再開発を前提とした市街地のかさ上げを検討できないか。	市 長
9 市ヶ谷 孝	1 学校給食費の無料化について	(1) 市長が公約に掲げている学校給食費の無料化について、現在の進捗状況と今後の取り組みについて問う。	市 長 教育長
10 小園 義行	1 政治姿勢について	(1) 選挙公約の実現に向けての取り組みを問う（学校給食費無料化など）。	市 長
	2 保健行政（国保）について	(1) 運営が県に移行して2年になるが、保険料等の今後の見通しをどのように考えているか。 (2) 子育て世帯の負担軽減策として第3子以降の均等割の見直しを図る考えはないか。	市 長 市 長
	3 福祉行政について（生活保護）	(1) 生活保護における自動車利用をどのように考えているか。 (2) 地域の実情を考えると、原則禁止となっている自動車利用の緩和を国に要望する必要があると考えるがどうか。	市 長 市 長
	4 教育行政について	(1) 特認校制度による指定を受けている学校の新年度に向けての現状と支援の在り方はどうか。 (2) 学校や市立図書館で働く司書の専門性をどのように認識しているか。	市 長 教育長 市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年6月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
1 小野 広 嗣	1 コロナ禍を踏まえた防災・減災対策について	(1) 新型コロナウイルス感染症拡大の第2波、第3波が懸念される中、日本列島はこれから本格的な台風シーズンを迎えるとともに、最近も地震が頻発しており、災害発生に備えた対策は喫緊の課題である。コロナ禍を踏まえた避難体制や避難所の点検・確認等をはじめとした取り組み状況について問う。	市 長
	2 子どもたちの学ぶ機会の確保について	(1) 緊急事態宣言が解除され学校が再開された。本市は、市立小・中学校の臨時休業を2回実施しているが、休業により子どもたちの学びへの影響が懸念される。義務教育として一人も取りこぼさないような下支えをする支援が必要と考えるが、臨時休業に伴って生じた課題や、学校再開後の児童・生徒の学びについてどのように対応しているのか問う。	市 長 教育長
		(2) 新型コロナウイルス感染症拡大の第2波、第3波、インフルエンザ等の複合の感染症の流行や自然災害等が懸念される中、再度、臨時休業を余儀なくされる可能性がある。休業期間が長引くと、学習の遅れが心配という保護者の方、特に受験生の保護者の方からの強い御意見を伺っている。また、市長・教育長に対して、多くの市民の署名を添えた「新型コロナウイルス感染対策のための休校時における小中学生のオンライン授業実施及び環境整備に関する請願書」が提出され、休業時の対応やきめ細かい学習指導のためのオンライン授業導入の必要性や期待が高まっている。 2020年度補正予算には小・中学生に一人一台の端末を整備する「GIGAスクール構想」の前倒し実施をはじめとした予算が盛り込まれ、数多くの支援策が含まれている。今回のコロナ禍を契機に、オンライン授業の環境整備を大きく進め、子どもたちの学びを保障すべきではないか。	市 長 教育長
2 野 村 広 志	1 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による現状と対応について	(3) 動画やオンライン会話などのデジタル技術（テクノロジー）を教育（エデュケーション）に活用する「EdTech（エドテック）」が学校現場に広がりつつある。新型コロナウイルス感染症拡大が収束しない中、パソコンを使って、より質の高い学習環境を創り出せると言われている。エドテック、ICTを活用し、子どもの能動的な学びを支援する考えはないか、本市のエドテック活用に対する認識を問う。	市 長 教育長
		(1) 新型コロナウイルス感染症拡大で、本市基幹産業である第一次産業を含め甚大な影響が出ているが、その現状と対応策について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年6月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2野村広志	1 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による現状と対応について	<p>(2) 各種支援窓口について、市民に寄り添った対応ができてきているか問う。</p> <p>(3) 緊急経済対策に伴う地方税において、特例措置にはどのようなものがあるか。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が創設されたが、その内容について問う。</p> <p>(4) 年々寄附額が増加していた本市のふるさと納税推進事業であるが、返礼品提供事業者への影響も含めた現状について問う。</p> <p>(5) 市民の楽しみであり、地域を活気付けるのに欠かせない地域の伝統行事やイベント、スポーツ大会など、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止や延期が相次いでいる。消費拡大や景気刺激策として、今後を見据えた新たな形での催事等の在り方について問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長 教育長</p>
3尖 信一	1 コロナ禍後について	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症拡大による様々な影響が経営、雇用、就学などに広がっている。また、今後行政上の運営にもその影響があると思われる。そこで以下の点について問う。</p> <p>① 緊急事態宣言終了後も全面的な回復は見られない。長期にわたる影響が予想されるが、本市の税収への影響と具体的対策について問う。</p> <p>② 休業協力要請による経営難から事業再開も見通せず、廃業を視野に入れた経営とならざるを得ない法人や個人事業者が見受けられる。本市のあらゆる産業が衰退するおそれがあるが、どのような支援や対策を取るかについて問う。</p> <p>③ コロナ禍で社会全体が大きく変わろうとしている。本市の産業構造自体も、時代の変化に対応したものに創り替える必要がある。コロナ禍後の本市のまちづくりの基本的な考え方を問う。</p>	市 長
	2 医療体制について	<p>(1) 今回の新型コロナウイルス感染症拡大を受け、本市の医療の在り方を見直す好機でもある。全国ではPFIを活用した医療施設整備の事例もあるが、本市も同様の医療体制の確立に取り組むべきではないか。また、本市単独でも、医師の育成に取り組むべきであると考えがどうか。</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年6月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
3 尖 信一	3 いじめについて	(1) 今回配付された「いじめ防止「学校・家庭・地域連携シート」により、いじめにも様々な形態があると周知されているが、掲載内容のほか、教員による児童に対するいじめ問題もあると聞いている。市として、状況の正確な把握と、いじめを受けた側に寄り添った十分な対応を行っているか問う。	市 長 教育長
4 八 代 誠	1 新型コロナウイルス感染症が本市に及ぼす影響と対策について	(1) 新型コロナウイルス感染症について相談者からの対応や相談先の周知の在り方について問う。 (2) 非接触式体温計の市の保有状況等について問う。 (3) 本市の新型コロナウイルス感染症関連支援策について問う。 ① 現時点における支援策の支出件数等の実績を示せ。また、その実績のうち、市単独予算の支出総額はいくらか。 ② 本市独自の支援状況について、市長の見解を示せ。 (4) 公共事業について問う。 ① 都市部においては感染を避けるため、公共事業に着手できないことによる工期の遅れが生じている事例も耳にするが、本市において同様の事例が発生していないか問う。 ② 新型コロナウイルス感染症関連支援策に多額の予算を配分したことで、今年度を含め次年度以降に計画されている公共事業への影響が懸念されるがどうか。 (5) 学校現場における対策について問う。 ① 年度をまたぎ2回にわたる休業措置をとったことによる学校教育の遅れは、どのように取り戻していく考えか。 ② 文部科学省により「学校の新しい生活様式」が示された。本市が現在取り組んでいる感染防止対策と今後の方向性について問う。 ③ 感染リスクを低減させるため、児童及び生徒数の多い学校での分散登校を検討したことがあるのか問う。 ④ 部活動及びスポーツ少年団活動の現状について問う。 ⑤ 曾於地区内の中学校において、これまでの成果が発揮できる大会を開催するための工夫ができないか問う。 ⑥ 学校行事の実施について問う。	市 長 市 長 市 長 市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年6月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
5 南 利 尋	1 新型コロナウイルス感染症対策について	(1) 新型コロナウイルス感染症対策に伴う、市内事業者への経済支援策の実施状況について問う。	市 長
		(2) 緊急事態宣言により、県外への移動が制限され、市内における消費の見直しにつながったと考える。これを機会に、より一層市内での消費につながる店舗の誘致を図るべきではないか。	市 長
		(3) 新型コロナウイルス感染症拡大により、自宅からの外出も制限され、身体を動かす場の確保が重要であると認識された。本市の豊かな自然を生かした市民の憩いの場を早急に整備すべきではないか。	市 長 教育長
6 小 園 義 行	1 新型コロナウイルス感染症について	(1) 新型コロナウイルス感染症が全国で拡大し終息の見通しが無い。感染拡大の影響は、本市でも経済活動を含め学校等、すべての分野に大きく及んでいる。今回の新型コロナウイルス感染症拡大をどのように受けとめているか。また、今後の行政の在り方についても問う。	市 長 教育長
	2 保健行政について	(1) フッ化物洗口の導入を市内小学校に広げる考えで取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の視点から見直す考えはないか。	市 長 教育長
		(2) 改正健康増進法の全面施行を受けて、本市の取り組みはどうか。	市 長 教育長
	3 学校教育について	(1) 学級編制の県の基準では小学校3年生から6年生は40人と設定されている。特別支援学級に入級する児童がいる場合、40人を越えて編制することができるのか。	教育長
	(2) 兄弟のどちらかが特別支援学級に入級している場合の担任の果たす役割はとて大切である。しっかりと対応がなされているか。	教育長	
	4 商業振興について	(1) 議案第55号で株式会社志布志まちづくり公社の土地取得が提案されている。土地取得後の公社への土地賃借料についてどのような協議がなされているか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年9月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
1 小辻一海	1 豪雨災害への対策について	<p>(1) 本市を襲った令和2年7月豪雨による災害は、同じ場所で積乱雲が次々と発生し集中して大雨が発生する線状降水帯が多発して、土砂崩れや道路陥没など被害が多数発生している。このことは、異常災害がもはや身近に起こり得る日常になりつつあるということを示す裏付けになったものだと思うが、このような異常気象の時代に、どのようにしてわがまちの人命と財産を守っていくのか、その対策について問う。</p> <p>① 土砂災害警戒区域や危険区域の実態把握と周知について問う。</p> <p>② 土砂災害ハザードマップの取り組みと活用について問う。</p> <p>③ 避難勧告・避難指示の告知及び避難所の運営と防災備蓄用品の常設について問う。</p>	市 長
2 小野広嗣	1 土地基本法等の改正について	<p>(1) 所有者不明土地の増加や自然災害の頻発等により、適正な土地の管理の重要性が増大していることに鑑み、適正な土地の管理を企図して土地基本法等の改正が行われ、本年3月31日に公布された。土地基本法で規定された新たな理念・所有者等の責務や基本的施策で定める内容に基づいた今後の施策を具体的に示す「土地基本方針」を新設し、その策定・更新を通じて、防災・減災の観点からも重要な所有者不明土地対策、管理不全土地対策等の個別施策を着実に展開していくとしている。今回の改正に対する本市の認識と、新設された「土地基本方針」に示されている、以下5点について問う。</p> <p>① 低未利用地の適切な利用・管理を促進する施策の展開について</p> <p>② ランドバンクについての認識と活用等の推進について</p> <p>③ 管理不全の空き地・空き家対策の現状と今後の取り組みについて</p> <p>④ 土地の境界及び所有者情報の明確化を図る地籍調査の円滑化・迅速化について</p> <p>⑤ オンライン化の取り組みも含めた各種台帳連携等による土地・不動産に関する情報基盤の整備に関する認識について</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年9月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2 小野広嗣	2 統合型地理情報システム（統合型GIS）の活用について	(1) ICTの活用による情報化施策が推進される中、自治体が保有するデータのオープン化など、その利活用に関する市民の意識や期待も高まっている。本市の統合型地理情報システム（統合型GIS）の活用状況について問う。	市 長
	3 地域共生社会に向けた取り組みについて	(1) 地域共生社会とは、子ども・高齢者・障がい者など全ての人が地域で住民が互いに助け合って暮らし、生きがい等を共に創り、高めあうことのできる地域を共に創っていく社会の構築を目指すものである。多様化・複雑化する福祉ニーズに対応するためには、行政の縦割りから分野横断へ転換が必要である。本市における地域共生社会の実現に向けた課題を含めた基本的な考えを問う。併せて、学校教育における共生社会の形成に向けた取り組みについて問う。	市 長 教育長
3 野村広志	1 コロナ禍後について	(1) 新型コロナウイルス感染症の終息後、本市が進めるべき施策について考え方を問う。	市 長
	2 防災行政全般について	(1) 台風や大雨等による風水災害は、特に河川域で甚大な被害をもたらした。今後、新たな指針に基づく治水の在り方について検証すべきではないか。 (2) 自主防災組織による避難所運営について考え方を問う。	市 長 市 長
4 尖 信一	1 教育行政について	(1) 新型コロナウイルス感染症が終息しない中、本市の学校教育の運営について以下を問う。 ① プログラミング的思考の授業や英語授業がスタートし、さらにはコロナ禍の対応で教員の負担が一層増加している。新型コロナウイルス感染症予防の消毒作業や授業サポートなどにおいて、学校運営協議会や地域住民との連携した取り組みは考えられないか。 ② 本市での学力向上における目標設定がされているが、この状況の下、現在の進捗状況はどうか。また、学力向上のためにどのような対策を講じているか問う。 ③ 教科書の選定について、その選定基準や委員の選定方法を問う。 ④ 大学入試制度の変更に伴い、受験者の思考力や判断力も求められるようになる中、人材育成のための小中学校での授業の在り方をどのように考えているか問う。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年9月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
4 尖 信一	2 コロナ禍の対応について	<p>(1) 現在、第2波と思われる感染が拡大する中、様々な支援策が実施されている。今後も終息が見えない状況で、経済的支援の在り方と、本市の長期的な取り組みについて以下を問う。</p> <p>① 感染が発生するたびに行う支援は、一時的な対処である。市民が安心して経済活動に参加できるように、様々なウイルスを不活性化できる機器の導入に対して補助金を交付することで、経済の活性化を図る考えはないか問う。</p> <p>② コロナ禍の中、初めて東京都の人口が2,200人ほど減少している要因として、感染を恐れての地方移住が起きているとの一部報道もある。今回、志布志市観光特産品協会の志布志駅舎への移転に伴い、隣接するサンポートしぶしアピア内への企業誘致を図る考えはないか問う。</p>	市 長
5 青山浩二	1 本庁舎移転計画について	<p>(1) 移転にかかる費用は総額いくらになるのか問う。</p> <p>(2) 専門知識を持つ学識経験者、市内各種団体の代表者及び市民代表者で構成される志布志市庁舎等の在り方検討委員会の進捗状況について問う。</p> <p>(3) 中長期計画の考え方について問う。</p>	市 長 市 長 市 長
6 西江園 明	1 不登校児童・生徒の実態と行政支援について	<p>(1) 不登校児童・生徒の実態と不登校の定義を問う。</p> <p>(2) 現在行っている不登校児童・生徒への行政支援を問う。</p> <p>(3) 家庭教育学級の取り組み状況について問う。</p> <p>(4) 本市のSC（スクールカウンセラー）、SSW（スクールソーシャルワーカー）の配置状況と勤務体制を問う。</p> <p>(5) 不登校問題について、SSWをもっと活用すべきと思うが見解を問う。</p> <p>(6) 不登校問題に、今後どのように取り組む考えか問う。</p>	市 長 教育長 教育長 教育長 教育長 市 長 教育長
	2 ひきこもりの実態と行政支援について	<p>(1) ひきこもりの実態と定義を問う。</p> <p>(2) 社会投資として支援に取り組み、解決に導くべきと考えるが見解を問う。</p> <p>(3) ひきこもり問題に、今後どのように取り組む考えか問う。</p>	市 長 市 長 市 長
	3 公共施設について	<p>(1) 公共施設の長寿命化計画について、内容と進捗状況を問う。</p>	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年9月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
6 西江園 明	3 公共施設について	(2) 公共施設において、単独処理浄化槽方式から合併処理浄化槽方式への転換が進まないのはなぜか。 (3) 転換へ向けた今後の計画を問う。	市 長 教育長 市 長 教育長
7 平野栄作	1 蓬原・野井倉開田の導水路の改修等について	(1) 本市においては、昨年及び本年と大雨による大規模災害が続けて発生した。この大雨により両開田の導水路も被災し、最も必要な時期に水が供給されないという状況に見舞われた。両開田はそれぞれ 500ha の水田を抱えており、水稻等の耕作者からそれぞれ所管する土地改良区に苦情の電話が相次いだと聞いている。今後も、台風や大雨による災害が懸念されるが、導水路の改修及び改良についての認識を問う。	市 長
	2 土地改良区との連携について	(1) 農地の貸し借りには、農業委員会が行う利用権設定と農政畜産課内にある農地中間管理機構によるものに分別されると認識している。また、土地の賃借料については農業委員会がその目安としての金額を提示しており、これを基に賃借料を決めている状況にある。さらに、農地についてはそれぞれの地区毎に土地改良区が組織されているが、土地持ち非農家の増加等により、水利費等賦課金の徴収に支障が出ている状況もあると聞いている。今後も担い手への集約化が一段と加速する中、土地改良区との連携も強化すべきと思うが認識を問う。	市 長
8 八代 誠	1 防災・減災（豪雨及び台風等）対策について	(1) 前川・安楽川・菱田川の二級河川河口に位置する有明町通山地区を含む志布志市街地の河川氾濫時における避難判断の現状について問う。	市 長
		(2) 豪雨及び台風襲来による災害発生時の庁舎内連携及び市内建設業者等との連携について問う。 ① 道路啓開（救援ルートの確保）のための方策について。 ② 現時点において、庁舎内での情報共有が十分ではないと感じるが、どのように認識しているか。 ③ 災害発生時の早い段階で市内建設業者等との連携が必要と考えるが、現状では、どの時点で業者等との連携を図っているのか。 ④ 松山・志布志・有明地域、それぞれの専門的知識を有する建設業者等を庁舎内に集め、より効率的で効果的な作業を進めるなどの手法は考えられないか。	市 長
9 丸山 一	1 保護条例について	(1) 志布志湾に飛来する絶滅危惧種であるコアジサシ類の保護条例を策定すべきではないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年9月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
9丸山 一	2 防災対策について	(1) 市道一丁田・宇都鼻線の肆部合地区信号付近の排水対策について問う。 (2) 防災上の観点から、菱田川河口をストレートに開削はできないか問う。 (3) 7月豪雨により、市内の橋りょうに木材等の漂着物が堆積している。今後発生する台風等にも備え、早急に撤去すべきではないか。	市 長 市 長 市 長
	3 保護対策について	(1) 本市に群生する貴重なフクロハイゴケの保護対策を急ぐべきではないか。	教育長
	4 坪枯れ対策について	(1) 本年度の本市における早期水稻栽培では、ウンカによる坪枯れの被害が多くみられた。今後、被害の拡大を防止する対策が急務と考えるが、見解を問う。	市 長
	10南 利 尋	1 災害対策について	(1) 7月に発生した豪雨災害について、本市における復旧作業の進捗状況について問う。 (2) 先手管理の観点から、自然災害に対して新たな防災対策に取り組むべきではないか問う。
10南 利 尋	2 経済対策について	(1) コロナ禍の今、市内全体に過度な不安感が漂っているように感じる。しっかりとした感染対策を講じながら、日常の経済活動をもっと促すべきではないか問う。 (2) マイクロツーリズムの取り組みについて問う。	市 長 市 長
	3 観光振興について	(1) 市内観光スポット整備事業の進捗状況について問う。 (2) 夏井、陣岳、ダグリ岬周辺の大自然を生かした観光事業に取り組むべきではないか問う。 (3) 新たなまちづくりに対して商業施設の誘致に取り組むべきではないか問う。 (4) 志布志駅周辺に観光案内や行政情報、各種イベントなどの情報発信できる大型モニターの設置に取り組むべきではないか問う。	市 長 市 長 市 長 市 長
	11小園 義行	1 国保について	(1) 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、3割以上の収入減少が見込まれる世帯は、国保税が減免される旨の国の事務連絡や通知が出ている。その内容や周知の在り方と現在の状況を問う。 (2) 子育て支援策として18歳以下の子どもの均等割額の見直しは考えられないか。
11小園 義行	2 災害対応について	(1) 7月豪雨は、本市に大きな被害をもたらした。災害発生後の状況把握の在り方は、どのような体制で取り組まれているか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年9月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
11小園義行	2 災害対応について	(2) 被害状況が確認できた後の処理対応について、本庁、各支所の体制はどのようになされているか。 (3) 今日の災害を受けて、技術職員の増員は考えられないか。	市 長 市 長
	3 福祉行政について	(1) 9月は知的障害福祉月間である。啓発活動の取り組み状況はどうか。 (2) 相談活動の在り方として窓口の在り方等、関係機関とどのように連携しているのか。 (3) 敬老祝金の支給を予算の範囲内で75歳以上全員に支給する考えはないか。	市 長 市 長 市 長
12鶴迫京子	1 スポーツ振興について	(1) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け延期となった、燃ゆる感動かごしま国体における県等との協議状況について問う。 (2) 今後、延期された国体開催に向けた本市のスポーツ振興の在り方について問う。 (3) 第2次志布志市スポーツ振興計画の策定に向け開催された市スポーツ推進審議会において、抽出された現状や課題とはどのような内容だったのか。また、同計画策定までのスケジュールはどのようになっているか。	市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長
	2 保健行政について	(1) 歯と口の健康が脳疾患や心臓疾患等に大きく影響するとも言われていることから、本市においても歯科衛生士の採用は考えられないか。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年12月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野広嗣	1 行政のデジタル化の推進について	<p>(1) 本年9月に発足した菅内閣の目玉政策の一つである行政のデジタル化を推し進める「デジタル庁」の創設を伴う本格的なDX（デジタルトランスフォーメーション）は情報技術が浸透することによって人々の生活が今までよりも便利になるという社会への転換であると考えている。本市においても、国に歩調を合わせて、行政手続きのオンライン化の推進と、今後DXに取り組むべきと考えるが、本市ではこの政策についてどのように受け止めているのか問う。</p> <p>(2) 行政業務の効率化を進める上で、ペーパーレス化やタブレットの導入、行政手続きのオンライン化、AI・RPAなどデジタル技術の活用を、今後どのように進めていくのか問う。</p> <p>(3) 行政のデジタル化のカギを握るのが、マイナンバーカードの普及、交付率とされている。本市のマイナンバーカードの普及状況とマイナポータル・ぴったりサービス活用の取り組みについて問う。</p> <p>(4) 国において行政改革担当大臣が強力に推進している「行政手続きの押印廃止」の動きを、本市ではどのように受け止めているのか問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
	2 コロナ禍における市内イベント開催の考え方について	<p>(1) 本市ではこれまでコロナ禍における感染拡大防止のため、大きなイベントをはじめとする各種行事の中止等の対策を行ってきたが、今後どのような情勢になった時に開催をするのか考え方を問う。</p>	<p>市 長 教育長</p>
	3 EdTech(エドテック)の活用による教育の充実について	<p>(1) 教育とテクノロジーを融合させ、テクノロジーの力で教育の環境を変えていくEdTechの活用については、6月定例会において質問した際、市長・教育長ともに「本市の子どもたちに質の高い教育を提供し、学びを保障するためにも、EdTechなどの最新技術を活用する必要性がある」と答弁している。そこで再度、今後のEdTechの活用による教育の充実に向けた本市の方向性について問う。</p>	<p>市 長 教育長</p>
2 野村広志	1 港湾行政について	<p>(1) 国は農林水産業の成長産業化の確立に向けて、2030年までに農林水産物・食品の輸出目標額を5兆円に掲げ輸出促進に取り組むプロジェクトを立ち上げている。そこで、志布志港港湾計画の見直しも含め、志布志港を農林水産物・食品の輸出入拠点港として積極的に整備するよう国・県に要望していく考えはないか問う。</p>	<p>市 長</p>

一 般 質 問 通 告 書

令和2年12月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2野村広志	2 コミュニティ協議会について	(1) 本市では、各地域で抱えている様々な課題等を解決するため、従来の校区公民館組織体からコミュニティ協議会へと移行する準備が進められている。現在、3地区をモデル地域として取り組んでいるが、その他の地域では、十分な情報もなく周知や準備期間の確保等も含め、不安視する声が聞かれる。そこで現段階の進捗状況と目指すべき協議会の在り方等について考えを問う。	市 長 教育長
3尖 信一	1 学校給食について	(1) 本市の合併に伴い、学校給食事業が統合・運営されているが、児童・生徒への安心安全な給食の提供や食育に関し、本市の取り組み状況について問う。また、円滑な事業運営に向け、調理業務に携わる職員の待遇や、給食費徴収事務等について、どのように取り組んでいるか問う。	市 長 教育長
	2 図書館運営について	(1) コロナ禍の下、図書館の運営についても、職員による定期的な備品や本の消毒作業が発生するなど大変な状況にあると聞く。非接触型の図書館利用として、図書の電子化に向けた取り組みは考えられないか問う。	教育長
	3 環境問題について	(1) 菅新政権が誕生し、その政策の柱として「2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする」と発表した。本市もリサイクル率では全国トップクラスだが、いまだ河川の汚染は改善されていない。これまでの取り組みと今後の本市の環境行政に対する考え方を問う。	市 長
	4 人材交流について	(1) 市役所では、次年度に向けた職員の新規採用試験が行われているが、コロナ禍の下、全く違う業種への派遣が実施されている企業もある。民間で培った新たな発想等を活用する観点から、人材交流を行う考えはないか問う。	市 長
	5 ふるさと納税について	(1) コロナ禍の下、本市のふるさと納税における寄附額等の現状はどのようになっているか。また、今後、事業を実施するにあたり、一般社団法人志布志市観光特産品協会とは、どのように連携していく考えか問う。	市 長
4小園義行	1 公共事業について	(1) 土木・建築及び水道事業者の現状をどのように認識しているか。 (2) 公の施設の維持・改修や災害発生時の対応等で事業者の果たす役割は大きなものがある。行政としても、支援の在り方を含め真剣に取り組む必要があると考える。市としての対応について問う。	市 長 市 長
	2 農業振興について	(1) RCEP協定に15か国が署名をした。本市の農業に及ぼす影響をどのように受け止めているか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年12月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方	
4 小園 義行	2 農業振興について	(2) 2018年度の食料自給率は過去最低を記録した。カロリーベース総合食料自給率は37%である食料を海外産に依存している国の農業政策をどのように考えるか。 (3) 高収益作物次期作支援交付金について、本市の申請件数を問う。 (4) 事業の見直しにより、申請した農家で対象外となる件数はどれくらいあるのか。 (5) 当初の基準・要件で交付すべきと国に声を上げるべきではないか。 (6) 種苗法改定案が国会で審議されている。市としてどのように受け止めているか。	市 長 市 長 市 長 市 長	
	3 福祉行政について	(1) 本年度の敬老祝金支給の現状を問う。	市 長	
	4 行政のデジタル化について	(1) 国がデジタル庁の設置を表明しデジタル化を進めようとしているが、市としてどのように受け止めているか。	市 長	
	5 玉垣大二郎	1 交通行政について	(1) 秋の全国交通安全運動期間における1000人街頭立哨運動を中止した理由と今後の交通安全対策事業について問う。	市 長 教育長
5 玉垣大二郎	2 環境行政について	(1) 菅新政権において「2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロ」を宣言された。本市においても削減目標があるが、これまでどのような取り組みをしているのか問う。 (2) 令和元年度に地方公共団体が食品ロス削減施策の策定や、実施の責務を有することが定められたが、本市ではどのように取り組む考えか問う。 (3) 市道、県道における除草作業の現状と対策について問う。 (4) 住宅地における振動対策について問う。	市 長 市 長 教育長 市 長 市 長	
	6 南 利 尋	1 農業振興について	(1) 昨年度より甚大な被害をもたらしている甘しょ基腐病の発生状況と今後の対応・対策について問う。 (2) 国による高収益作物次期作支援交付金の見直しが行われた。生産者の多くは申請を終え、本交付金を見込んで事業計画を立て、先行投資などを行っている。本市としては、どのような対応を考えているか問う。	市 長 市 長
		2 経済対策について	(1) コロナ禍において、本市では様々なコロナ感染情報が交錯している。情報の錯乱は経済活動の妨げになるのではないかと危惧するが、市としての見解を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年12月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
6 南 利 尋	2 経済対策について	(2) 新型コロナウイルス感染症対策に係る本市単独事業に対して、いくつかの減額補正予算が計上されている。この結果をどう捉えているか問う。 (3) 新規事業として計上されている「コロナに負けるな！SHIBUSHIプレミアム商品券発行事業」の在り方について問う。	市 長 市 長
	3 観光振興について	(1) 観光事業こそ、地方創生の重要な成長戦略であると考え。本市の魅力ある観光資源を最大限に利活用するためにも、観光に特化した新たな部署を設ける考えはないか問う。 (2) コロナ禍の下、人との接触が少ない自然を楽しむ人が増えている。ダグリ岬周辺や夏井地区において、オートキャンプ場などの整備を行う考えはないか問う。	市 長 市 長
7 岩 根 賢 二	1 業務改善策について	(1) 過去に「ワンストップ窓口」について質問したが、「市民の立場で考えると、職員が動いて対応する職員派遣型がいいと思う。全庁的な組織の見直しをする段階で調査・研究をしていきたい」とのことであった。その後の調査・研究の進捗状況について問う。 (2) 政府は、デジタル化や押印廃止を推進しているが、本市での取り組み状況はどうか。 (3) 市の単独事業で、補助金申請時に「滞納のないことの証明」が求められる場合、申請者の了解を得た上で、税務課と関係課が連携して確認する方法に改められないか。	市 長 市 長 市 長
	2 本庁舎周辺の施設及び環境の整備について	(1) 戦没者を慰霊するための慰霊塔は、長年の風化により黒ずんでしまっている。また、塔に通ずる通路や階段は傾斜も厳しく利用しにくくなっている。塔を白く塗り直し、通路や周辺の環境整備を行ってはどうか。 (2) 開田の里公園は保育園や家族連れの利用者が多く、広く市民から愛されているが、遊具等が故障したり破損したりして使えなくなっている箇所がある。早急に修繕すべきではないか。 (3) いこいの森は桜の名所であるが、花見のシーズン以外は荒れ放題となっている。年間を通して伐採等を実施すべきではないか。	市 長 市 長 教育長 市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年12月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
7岩根賢二	2 本庁舎周辺の施設及び環境の整備について	(4) 本年3月定例会の中で、東京新聞の記者が岳野山を見て「これは日本全国でも素晴らしい」と話されたとの答弁があったが、その眺望を生かし観光地として周辺の整備を進める考えはないか。併せて、合併前の「百年の森構想」を再構築する考えはないか。また、岳野山を定期的に整備している団体に対して何らかの支援をする考えはないか。	市 長
	3 交通安全対策について	(1) 「高齢者の交通安全の日」の取り組みについて、本市ではどのように実施されているか。	市 長
		(2) アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故を防ぐための装置を取り付けた車や、急発進を防ぐ機能を備えた車の購入、または後付けする場合に、本市でも補助する考えはないか。	市 長
		(3) ドライブレコーダー購入に対して補助している自治体がある。本市でも補助する考えはないか。	市 長
4 環境政策について	(1) 菅首相は「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロの実現を目指す」と表明した。国内ではすでに多くの自治体が二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「脱炭素宣言」をしている。本市でも同様の「脱炭素宣言」をする考えはないか。	市 長	
	(2) 脱炭素に向けた取り組みの一環としてクリーンエネルギー自動車購入に対して補助する考えはないか。	市 長	
8持留忠義	1 水路の改修等について	(1) 近年、本市においても大雨による大規模災害が発生し、上荒土地改良区ではトンネルの陥没により、必要な水が必要な時期に供給されない事態も発生したが、復旧に向けた工事の進捗状況について問う。	市 長
		(2) 今後も予想される災害に対し、水路の改修や改良についての本市の考えを問う。	市 長
	2 土砂災害による土砂の撤去について	(1) 被災者の負担軽減を目的とした農地災害復旧事業補助金が適用されるが、受益者による2割負担が伴う。被災者を支援するという観点から、受益者負担割合の見直しは検討できないか。	市 長
3 高収益作物次期作支援交付金について	(1) コロナ禍の影響から、市場価格に影響を受けた野菜、茶等の高収益作物については、国によって高収益作物次期作支援交付金の創設がなされ、新たな需要促進につなげるとしているが、運用見直しは本市の生産者にどのような影響を及ぼすのか、市としての見解を問う。	市 長	

一 般 質 問 通 告 書

令和2年12月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
8 持留忠義	4 甘しょ基腐病の対策について	(1) 加工用さつまいもを栽培されている生産者の報告によると、基腐病の影響によって収穫量が4割から5割減少しているとのことだが、本市における現状と今後の対策を問う。	市 長
	5 鳥獣被害対策について	(1) 依然として続くイノシシ等による農作物の被害に対し、本市は電柵設置に補助金を交付しているが、全ての申請者に対応できるよう予算の増額はできないか。	市 長
	6 消防団員の確保について	(1) 現在の消防団員の充足率はどれくらいか。 (2) 消防団員の確保に向け、福利厚生の見直し等は検討できないか。	市 長 市 長
9 鶴迫京子	1 観光行政について	(1) 歴史遺産を活用した魅力ある観光まちづくり計画について問う。 ① 志布志城内城において優先的に展望台・園路・広場などを整備し、ICTを活用した観光コンテンツバーチャル名護屋城の先進事例に倣い、バーチャル志布志城として観光振興を図る考えはないか。 ② コロナ禍におけるこれからの新しい観光スタイルとして、人との接触が少ない「まちあるき」が有効であるとする。市として早急に取り組むべきと考えるがどうか。 ③ 計画にはないが、本市に旅の途中で立ち寄った俳人「種田山頭火」氏の句碑巡りや、地元の現代俳句の巨匠「藤後左右」氏の句碑がある国際の森等を「俳人ロード」とし、ご当地グルメやスタンプラリー等と関連付けてイベントを開催するなど、歴史文化のまち「しぶし」を県内外にPRすべきではないか。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年3月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野 広 嗣	1 施政方針について	(1) 市長は、行政運営の効率化と市民サービスの更なる向上を目指して「顧客満足度志向」、「オンリーワン」、「成果主義」、「先手管理」の4つの行政経営指針を掲げている。その中の「オンリーワン」、「成果主義」について、改めてその真意と成果について問う。	市 長
	2 新型コロナウイルスワクチン接種について	(1) 本市は2月1日に「新型コロナウイルスワクチン接種推進室」を設置し、医療従事者に続き高齢者の方から順次接種できるように準備を進めるとしている。市民の生命を守るため、堅実な状況判断と迅速な実施体制の整備が求められるが、今後のワクチン接種のスケジュールと円滑な接種体制の構築について問う。	市 長
	3 生活困窮者支援について	(1) 令和2年度第3次補正予算の成立を踏まえた今後の生活困窮者自立支援の強化について問う。	市 長
		(2) コロナ禍で生じる生活困窮者への支援につなげるために生活保護制度の活用も必要であると考えますが、本市の申請実態について問う。	市 長
4 教育行政について	(1) 市長の教育行政に対する現状の認識と新教育長の選任理由、そして新教育長と教育委員会に何を期待しているのか問う。 (2) 教育行政の要となる新教育長は、今後の志布志市の教育行政をどのように推進していくのか、所信を問う。	市 長 教 育 長	
2 野 村 広 志	1 教育行政について	(1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の趣旨に則り、市長が招集して総合教育会議が開催され「大綱」が定められている。また、第2次教育振興基本計画（前期）についても昨年3月に策定された。そこで、多様化していく教育現状の中、子どもたちをどのようにして導いていく考えなのか問う。	市 長 教 育 長
		(2) 新学習指導要領では小学校から高校まで情報活用能力の育成がうたわれている。本市でもGIGAスクール構想の実現に向けて推進するとしているが、現状と目指すべき目標について問う。	教 育 長
		(3) 小・中学校の在り方について、小中連携や学校再編・特認校制度等における、総合的な事業展開の検討が求められるが考え方を問う。	市 長 教 育 長
		(4) 学力向上対策プロジェクトにおける「志布志の授業モデル」の浸透など、具体的な推進計画について問う。	教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年3月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 尖 信一	4 ふるさと納税について	(1) 本市のふるさと納税は、寄附額、寄附件数とも順調な伸びを示している。しかし、ふるさと納税の寄附額の増に伴う必要経費の詳細が理解しにくい面がみられる。必要経費の一つと推測される出展サイトへの費用を比較・見直しすることにより、市長の目指す「入るを量りて出づるを制す」を実現することになるのではないか。	市 長
5 青山 浩二	1 本庁舎移転計画について	(1) 志布志市庁舎等の在り方検討委員会の会議の進捗状況及び内容について問う。	市 長
	2 スポーツ振興について	(1) 市民がいつでも、どこでも、気軽に、いつまでもスポーツに親しめる環境を整備するために、本年2月に総合型地域スポーツクラブが設立されたが、設立に至った背景と意義、また、設立までの経緯について問う。 (2) 総合型地域スポーツクラブが担うべき役割と目指すべき目標について具体的に問う。	市 長 教 育 長
	3 教育行政について	(1) 教育長就任にあたって、所信と決意について問う。	教 育 長
6 八代 誠	1 防災・減災対策について	(1) 2級河川の前川・安楽川・菱田川における避難判断について問う。 ① 水位計増設に関する県との協議はできないか。 ② 河川流域の避難判断基準は、依然として河川水位及び気象情報等から判断するのか。 (2) 豪雨及び台風や南海トラフ地震などによる災害発生時の対応について問う。 ① 庁舎内連携の構築について。 ② 法面崩壊等に伴う崩落土及び災害廃棄物等の処理について。 ③ 宅地災害復旧作業支援事業について。 ④ コロナ禍における避難所開設の課題解決について。 ⑤ 自主防災組織運営の在り方を「地域コミュニティ協議会」で協議・検討できないか。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年3月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7 平野 栄作	1 環境行政 について	<p>(1) SDGs (持続可能な開発目標) が近年注目を集めている中、行政機関・民間企業等における様々な取り組みが行われつつあり、評価すべきことと思う。</p> <p>しかし、環境分野においては、私たちの身の回りでは日常的にポイ捨てされた物が後を絶たない状況が散見され、一向に改善には至っていない現状がある。</p> <p>これまでも市及び衛生自治会が主体となり、環境行政を推進してきているが、ポイ捨て等の改善がみられない傾向が続く中、これまでの取り組みを検証し、新たな取り組みを推進すべきと考えるが、以下の点について認識を問う。</p> <p>① ポイ捨て防止条例の効果について。</p> <p>② コミュニティ組織 (自治会単位の衛生自治会) の在り方について。</p> <p>③ 環境教育について。</p> <p>④ 市内事業所との連携について。</p> <p>⑤ 市衛生自治会の組織について。</p>	市 長 教 育 長
8 鶴 迫 京子	1 子育て支 援について	<p>(1) 志布志地域の三角公園にある遊具移転のお知らせが記載された看板について問う。</p> <p>① 遊具施設の集約とはどういうことか。</p> <p>② 看板設置の経緯と近隣住民や利用者からの聞き取り状況について。</p> <p>③ 集約するメリットとデメリットは何か。</p> <p>④ 公園や遊具を活用した子育て支援についての根本的な考え方について。</p>	市 長 教 育 長
9 南 利 尋	1 本庁・志 布志支所周 辺の環境整 備について	<p>(1) 令和3年1月1日より、本庁機能が志布志庁舎に移転した。市民や本市を訪れる方々が、気持ち良く安全安心に利用していただくためにも、滑りやすい床や分かりにくい庁舎内組織案内図等の改善など、市民の声を反映した庁舎整備を行うべきではないか。</p> <p>(2) 志布志庁舎の特性を生かすためにも、志布志市街地が一望できる庁舎6階に位置する屋上部分に、市民や職員などが利活用できるテラスなどを整備する考えはないか。</p>	市 長 市 長
	2 経済対策 について	<p>(1) 新しい生活様式の中で、飲食店や宿泊施設の利用が激減している。本市の飲食店や宿泊施設からの感染事例はないことを市内外に周知し、利用者への安全安心をPRすべきではないか。</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年3月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9南 利 尋	2 経済対策について	(2) 新型コロナウイルス感染症による様々な影響を受け始め1年以上が経過した。本市でも経済が疲弊していることを実感する。全市民に商品券を配布して、オール志布志で経済活動の底上げを図るべきではないか。	市 長
	3 観光振興について	(1) 第2次志布志市総合振興計画が策定され5年目を迎える。計画内の事業の進捗状況をどのように捉えているか。 (2) グラウンドビジョンがなければ、プランを迅速に遂行することは難しいのではないかと考える。本市においても早急に策定すべきではないか。 (3) 市民の意見をしっかりと把握して、市民のニーズに沿った観光事業に取り組むべきではないか。	市 長 市 長 市 長
10市ヶ谷孝	1 給食費無償化について	(1) 令和3年度当初予算では学校給食費補助事業として、学校給食費の半額助成が提案されている。施政方針には「引き続き、完全無償化を目指し、全庁的に取り組み、更なる子育て世帯への支援の充実に努めてまいります」とあるが、半額助成提案に至る経緯と今後の見通しについて問う。	市 長 教 育 長
	2 選挙について	(1) 新型コロナウイルス感染症は市民生活に大きな影響を及ぼし、それは全国各地で実施されている各種選挙の在り方にも現れていると聞く。本市でも令和4年2月11日の任期満了に伴う市長・市議会議員選挙を見据え、新型コロナウイルス感染症の影響と対応をどのように考えているのか問う。 (2) 新たな取り組みとして選挙公報の発行が計画されていると聞く。市政の参画意識向上や若年層の投票率向上等を念頭に、どのように活用していくのか問う。	選管委員長 選管委員長
11小園義行	1 国保について	(1) 国が2022年度4月から未就学児の均等割額を5割軽減することを発表した。本市として、更に軽減措置を上乗せして子育て世帯の負担軽減を図る考えはないか。 (2) 傷病手当金を事業主も対象として拡充する考えはないか。	市 長 市 長
	2 自治体デジタル化について	(1) 国が示しているデジタル庁の設置や内容について市長の認識を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年3月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
11小園義行	2 自治体デジタル化について	(2) 推進するにあたって、問題点をどのように考えているか。	市 長
	3 ケア労働者への支援について	(1) 保育・介護・医療の分野で働く人たちに本市が独自の支援として給付金を支給する考えはないか。	市 長
	4 福祉行政について	(1) 特別障害者・児手当について広報の在り方や現状を問う。	市 長
	5 学校教育について	(1) 人口の半数にとって当たり前の生活の一部が原因で教育の機会を逃すことがあってはいけないと考えるが、学校における生理用品の提供の現状はどうか。 (2) GIGAスクール構想を進める上で、電磁波が子どもたちに与える影響をどのように認識しているか。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年6月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野広嗣	1 政治姿勢について	(1) 下平市政が誕生して、既に1期目の最終年度を迎えている。これまでの市政運営の総括（公約等の達成状況）と、2期目となる次期市長選挙への出馬について考えを問う。	市 長
	2 避難行動要支援者の支援強化について	(1) 災害時の迅速な避難支援を強化するための改正災害対策基本法が5月20日に施行された。災害時に支援が必要な高齢者や障がい者等、避難行動要支援者ごとの個別避難計画の作成を市町村の努力義務にすることなどが柱である。本市の避難行動要支援者への支援強化対策について問う。	市 長
	3 デジタル弱者対策について	(1) 総務省は5月18日、高齢者等がデジタル化から取り残されないようにスマートフォンやマイナンバーカードの使い方を教える「デジタル活用支援員」について、2025年度までの5年間の事業構想を公表した。デジタル庁の9月発足を控え、デジタル化から取り残される住民がいないようにするのがねらいである。本市のデジタル弱者対策について問う。	市 長 教 育 長
	4 メディアリテラシーについて	(1) テレビやインターネットを通じて手軽に大量の情報が入りやすくなった現代、身の回りにあふれる情報を正しく理解し活用する能力（メディアリテラシー）が問われている。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、国内外はもとより、本市でも多くのデマや不正確な情報が拡散された。本市のメディアリテラシーに関する取組について問う。 (2) インターネット上でのフェイクニュース横行などもあり、メディアリテラシー教育の必要性は一段と高まっている。SNS（会員制交流サイト）などで手軽に情報発信できる環境が広がる中、情報を発信する責任も求められている。本市のメディアリテラシー教育の取組について問う。	市 長 教 育 長
2 野村広志	1 農業政策について	(1) 新型コロナウイルスの感染拡大は、本市の基幹産業である農業分野においても多くの影響を及ぼしている。現在の状況や、支援等の対応策について示せ。	市 長
		(2) 持続的な発展と継承において不可欠な要素として「儲かる農業の構築」が挙げられる。そこで、今後本市が描くべき農業施策の将来像について考え方を示せ。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年6月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 野村広志	1 農業政策 について	(3) 国は農林水産物・食品の輸出拡大に向けた実行戦略において、農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律に基づく基本方針を新たに改定し、輸出産地の育成や、生産から輸出に取り組む事業者らを束ねた「品目団体」の組織化等を盛り込んだ。それに伴い、本市において企業や品目が選定されたとの報道もあったが、今後の本市の具体的な動きについて問う。	市 長
		(4) 本市でも有害鳥獣の駆除に取り組んでいるが、食害は一向に減っていない現状にある。現場からは、農業者の減少や高齢化によって農地の管理が行き届かなくなっているとの声を聞くが、今後の具体的な対応策について示せ。	市 長
3 小辻一海	1 津波対策 について	(1) 市民の参加が減少傾向にある地震・津波防災訓練の在り方について問う。 (2) 高台に避難するための場所や、施設の整備に向けた取組について問う。 (3) 新たな高台への避難経路を確保する考えはないか問う。 (4) 志布志港に集積されている輸出木材について、津波による市街地への流入を防ぐための対策を問う。	市 長 教 育 長 市 長 市 長
	2 教育行政 について	(1) 年々、児童・生徒が減少している小規模校について、学校教育の在り方や、今後の具体的な取組について問う。 (2) 自宅から小・中学校まで、遠距離通学となっている児童・生徒の移動網について問う。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
4 西江園 明	1 教育行政 について	(1) 所管している施設の管理について見解を問う。 (2) 数年前の年度途中から、施設の使用料の納付方法が変更された。突然のことに利用者は戸惑い、そして不便を感じているようだが、見解を問う。 (3) 使用料の納付は前納制である。都合により利用できなかった場合は使用料が還付されないが、適正と考えるのか問う。 (4) 施設等に配属されている会計年度任用職員に対して、現場の状況に配慮した人事異動がなされているか問う。 (5) 小・中学校内におけるトイレの洋式化について、進捗状況を問う。	教 育 長 市 長 教 育 長 市 長 教 育 長 市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年6月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 岩 根 賢 二	1 野良猫対策について	(1) 野良猫についての苦情が増えていると聞くが、その内容はどのようなものか。また、それらに対する市の考え方を問う。 (2) 猫の適正飼養についての啓発をどのように行っているか。 (3) 野良猫を増やさないために、地域猫の不妊・去勢手術の費用を助成する考えはないか。 (4) 行き場のない猫と地域住民の共生を目指す観点から、「里親探しの会」を開催するための場所を単発的に提供できないか。	市 長 市 長 市 長 市 長
	2 行政運営の在り方について	(1) 「行政事務連絡員」と「自治会長」の役割は違うとしているが、実際には兼務している例が多い。また、「行政事務連絡員」は、市長が委嘱しているながら報酬は支払われないことになっている。このような分かりにくい制度を改める考えはないか。 (2) 補助金申請時における納税状況の確認方法について、申請者の「同意書」を添付することにより、市長が確認する方法に改めることはできないか。 (3) 「おくやみ窓口」設置についての調査・研究の進捗状況を問う。	市 長 市 長 市 長
6 南 利 尋	1 経済対策について	(1) 現在、市が取り組んでいる「志布志市中小事業者管理コスト支援事業給付金」の申請状況はどのようなになっているか。また、その現状について市はどのように捉えているか。 (2) 本市における新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいる中、接種後の本市の経済活性化に向け、どのように取り組む考えか。 (3) 官民一体となったスピード感ある経済の底上げを図るため、全市民へ商品券を配布するなどの取組は考えられないか。	市 長 市 長 市 長
	2 観光振興について	(1) これまでも、夏井地区の国道沿いにある廃墟について撤去を要望してきたが、その後の進捗状況はどのようなになっているか。 (2) インフラ整備が進みつつある中、今こそ観光客誘致を進めるべきだと考えるが、夏井地区の廃墟を道の駅のように整備するなど、本市の経済が潤う取組をすべきではないか。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年6月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6南 利 尋	3 環境行政 について	(1) 増えつつあるごみの不法投棄に対し、本市ではどのように取り組んでいるか。また、今後、不法投棄を減らすための新たな取組はあるか。	市 長
		(2) 本市のごみの出し方については、これまでも賛否両論、様々な意見を聞いている。「志布志モデル」の意義を再認識してもらうとともに、全市民が共通理解の下、リサイクルを推進できる環境を整えるべきではないか。	市 長
7小園 義行	1 共生・協働・自立のまちづくりについて	(1) 校区公民館活動と地域コミュニティ協議会活動のそれぞれの役割と今後の市としての方向性を問う。	市 長 教 育 長
	2 会計年度任用職員制度について	(1) 昨年度から始まった会計年度任用職員の具体的な雇用条件について、フルタイム及びパートタイム職員の業務や任期、手当支給、社会保険などの内容について問う。	市 長
	3 福祉行政について	(1) 敬老祝金を節目支給ではなく、予算の範囲内で75歳以上全員に支給するように見直す考えはないか。	市 長
	4 保健衛生について	(1) 小学校でも始まったフッ化物洗口の実施状況を問う。	市 長 教 育 長
	5 学校教育について	(1) 山重幼稚園の廃園が提案されているが、経過を問う。 (2) 学校における生理用品の提供の現状と、女子トイレに生理用品を置いて児童・生徒が安心して学校生活を送れるようにする考えはないか。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
8鶴迫 京子	1 一般質問の経過について	(1) 令和元年12月定例会で、津波対策について質問したが、その後の検討結果について問う。	市 長
		(2) 令和2年9月定例会で、歯科衛生士の採用について質問したが、その後必要な専門職の採用が検討されたか。 (3) 令和2年12月定例会で、ICTを活用した観光コンテンツの先進事例に倣い、バーチャル志布志城としてサービス展開を図る考えはないかと質問したが、その後の検討状況を問う。	市 長 市 長 市 長 教 育 長
	2 少子化対策について	(1) 本市の産後ケア事業の実施内容や利用状況等について問う。また、課題をどう捉えているか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年6月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8 鶴迫京子	2 少子化対策について	(2) 安心して産み、子育てする環境整備のために、出産前後1年間、日常生活に支障が生じた場合に、食事の世話、洗濯、清掃などの家事や、助言相談等を行うホームヘルパーを派遣する制度の創設は考えられないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年9月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 尖 信 一	1 行財政改革について	(1) 窓口業務について、利用する市民に対して十分な対応ができてきているか問う。 (2) 本市における監査の指摘事項等に対して、改善が適切に行われているか問う。 (3) 予算額が年々増加傾向にあるが、歳出の精査をはじめとして抜本的な見直しが必要ではないか。 (4) 市長の公約である「入るを量りて出ざるを制す」について、具体的な実績を問う。	市 長 市 長 教 育 長 市 長 市 長
	2 環境行政について	(1) 世界をはじめ国内でも官民間わず、脱炭素社会に向け様々な取組が行われているが、本市ではどのように考えているか問う。 (2) 必要な電源構成が今後大きく変化していく中で、これまでとは違い水素やアンモニアなどの利用が新たな注目を集めている。このような背景から、本市の臨海工業団地を活用した新たな産業の育成は考えられないか問う。	市 長 市 長
	3 まちづくりについて	(1) コロナ禍における新しい働き方として、地方ではワーケーションへの取組がみられる。本市の夏井・陣岳地区で宅地造成を行い、ワーケーションに適した分譲地とすることで、人口増加及び経済活性化につながるのではと考えるが、市長の見解を問う。	市 長
	4 新型コロナウイルス感染症対策について	(1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大から、早くも一年半が経過し、業種によっては大きな影響を及ぼしている。特に、本市の銀座街は閉店や休業で疲弊している。これまでの一時的な支援とは違う、業界全体の回復のための抜本的な対策を講じる必要があると考えるが、取組の状況について問う。 (2) 市内の全世帯に、一世帯当たり5万円の支援金支給は考えられないか問う。	市 長 市 長
	5 教育行政について	(1) 新たに教育長が任命され半年が経過したが、現在の本市の小・中学生の学力について、どのように考えているか。また、学力向上のための具体的な対策について問う。 (2) 教員の不足が懸念される中、新学期に向けた教員の確保ができてきているか問う。また、10年ごとの教員資格更新制の廃止が決定したが、教員の質の維持・向上を今後どのように考えているか問う。	教 育 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年9月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 小野広嗣	1 無電柱化の推進について	(1) 市役所や商店街に通じる新町・上町通りは、道幅が狭く、近年の車両の大型化により、朝夕の通勤時やお昼時などで通行に支障を来している時間帯もあることは、従前より指摘されているが、本庁機能の移転により車両の往来がさらに増え、車両が電柱・歩行者と接触する危険性が高まっているのが現状である。通行空間の安全性や道路の防災機能の向上へ向けた無電柱化の推進状況について問う。	市 長
	2 交通安全対策について	(1) 市民の皆さんから、危険箇所に対する信号機の設置の必要性や、横断歩道・停止線などをはじめ、道路の白線が消えている箇所が市内に多く見受けられ、危険であるとの相談が寄せられているが、当局の現状認識と対応について問う。	市 長
	3 企業版ふるさと納税のさらなる活用について	(1) 昨春から税の軽減割合が引き上げられ、手続きも大幅に簡素化された結果、「企業版ふるさと納税制度」を活用する自治体が増えている。本市も取組を開始以降、徐々に成果が出ているが、まだ制度を縦横に活用しているとは言えない。施政方針にも、企業にとって魅力的な地方創生プロジェクトの情報発信を行い、積極的に「企業版ふるさと納税」を活用するとあるが、本市の現状と今後の展望について問う。	市 長
	4 学校教育におけるDXの推進について	(1) 現在、教育の現場では「GIGAスクール構想」により、様々な施策が推進されようとしているが、今後はさらに学校教育におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進が重要になってくる。本市では、教育現場におけるDXの推進に向けて、今後どのように取り組んでいくのか問う。	教 育 長
3 野村広志	1 通学路の安全対策について	(1) 千葉県八街市で下校途中の小学生5人が、大型トラックにはねられ死傷した痛ましい事故を受け、全国で通学路の総点検が進められている。本市における、点検状況と安全対策について問う。	市 長 教 育 長
	2 サツマイモ基腐病対策について	(1) 昨年に続きサツマイモ基腐病の発生・拡大が懸念されている。鹿児島県は多発するおそれがあるとして注意報を発令したが、本市の現状や対策・対応の在り方について考えを問う。	市 長
4 青山浩二	1 新型コロナウイルス感染症の予防対策について	(1) 新型コロナウイルス感染症の発症を予防する効果と重症化を予防する効果が期待されているワクチンについて、本市における現在までの接種率について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年9月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 青山浩二	1 新型コロナウイルス感染症の予防対策について	<p>(2) ワクチン接種後の副反応についてどのような症状があるのか、また、本市において副反応の報告がなされているのか問う。</p> <p>(3) 市民の不安解消と無症状の陽性者の早期発見を目的として、PCR検査等の費用を助成している自治体が増えてきている。本市においてもこの助成事業に取り組む考えはないか問う。</p> <p>(4) 全国的に感染拡大が止まらないまま学校においては二学期が始まったが、保護者・教職員からは児童・生徒を感染から安全に守れるか不安を抱く声が上がっている。そこで、学校での感染予防対策を強化する必要があると思うが考え方を問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長 教 育 長</p>
	2 一般質問の答弁に対するその後の進捗状況について	<p>(1) 平成30年12月定例会において、「災害時の避難場所等の機能を持つ屋内練習場の整備を」の質問に対し、「市内体育館の見直しの一つとして有明体育館を屋内練習場の機能を持つ運動施設として改修していく」と答弁したが、その後の進捗状況を問う。</p> <p>(2) 平成30年12月定例会において、「老朽化が進む有明野球場の改修を」の質問に対し、「補助事業を調査し有明野球場に係る整備計画を策定し整備を進めていく」と答弁したが、その後の進捗状況を問う。</p>	<p>市 長 教 育 長</p> <p>市 長 教 育 長</p>
5 岩根賢二	1 選挙公営の制度導入について	<p>(1) 公職選挙法では、立候補者の選挙運動に係る経費の負担をできるだけ少なくし、立候補の機会均等を図る手段として、「選挙公営」の制度を設けている。</p> <p>① 選挙公営制度の具体的な種類と公費負担の限度額を示されたい。</p> <p>② 鹿児島県内での実施状況はどうか。</p> <p>③ 本市でこの制度を導入した場合、どれくらいの経費がかかるか。</p> <p>④ 本市でも、若者をはじめ、新人が立候補しやすい環境を整備するために、選挙公営の制度を導入してはどうか。</p>	<p>選管委員長</p>

一 般 質 問 通 告 書

令和3年9月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 岩根賢二	2 市長の退職金見直しについて	(1) 今定例会に市長の退職金を0円にする条例改正案が提出された。 ① そもそもなぜ退職金の見直しをするのか。 ② 本市の「特別職の職員の給与に関する条例」では第4条に「退職手当の額及びその支給方法は別に定める」とだけある。他市の条例には、その根拠条例名を明示している例がある。本市でも市民に分かりやすいように改めるべきではないか。 ③ 任期中に納める市の負担金はいくらか。 ④ 本年3月の施政方針にある「関係機関と審議会」では、退職金を0円にする方法として、この「条例の一部改正」の内容で了解を得られたのか。 ⑤ 退職金を0円にすることにより、市の財政にどのような影響があるか。 ⑥ 他の方法で市の財政に貢献する方策は考えていないか。	市 長
6 八代 誠	1 本市単独の助成事業及び補助事業について	(1) 防犯街灯設置に関する補助金について問う。 ① 制度内容、今年度の申請状況及び実績について。	市 長
		(2) 危険廃屋解体撤去事業について問う。 ① 申請状況及び実績について。 ② 補正予算額の積算根拠について。	市 長
		(3) 住宅リフォーム助成事業について問う。 ① 申請状況及び実績について。 ② 補正予算額の積算根拠について。	市 長
	2 災害復旧等の問合せ対応について	(1) 国や県が主体となる災害復旧等に関しては、本市にそれぞれ担当部署が配置されている。しかし、問合せに対する国や県からの回答が極端に曖昧であるとする。問い合わせた市民が納得できる回答を文書で求めることができないか。	市 長
7 丸山 一	1 交通対策について	(1) 志布志有明インターチェンジの開通による問題点（信号機の設置、速度制限の表示、市道の四車線化と水路の整備、「通学路有り」の予告板の設置、出入口照明灯の設置、路面カラー舗装の整備、出入口のワイド化、出口からの主要方面案内板の設置、側道出口の一時停止と歩道ラインの整備、調整地のコンクリート舗装化、側道と調整地間の蓋板設置、通学路の舗装化と中学校までの防犯街灯の設置、防音壁の増設、鳥類のふん対策）と、安全対策について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年9月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7丸山 一	2 災害対策 について	(1) 近年豪雨災害が続いているが「道路パトロール隊」を創設して災害の軽減を図れないか。	市 長
	3 絶滅危惧 種等の保護 対策につい て	(1) 本市における、現在の絶滅危惧種等に関する保護対策は十分と考えるか。	市 長
	4 サツマイ モ基腐病に ついて	(1) サツマイモ基腐病のまん延を防止するための具体的な対策や解決手法について、検討や議論は進んでいるか。	市 長
8南 利尋	1 経済対策 について	(1) 長期化しているコロナ禍により、飲食、宿泊業などが深刻なダメージを受けている。どのような支援事業に取り組んでいくのか問う。 (2) 固定費などの支援だけでは、経済の底上げは図れないと考える。人流を増やし、スピードある経済の底上げを図るためにも、全市民に対して、飲食、宿泊業などで使用できる商品券配布を行うべきではないか問う。	市 長 市 長
	2 漁業振興 について	(1) 本市では、漁業の衰退が懸念されている。新たな部署を設け、漁業振興に取り組むべきではないか問う。 (2) 漁業後継者や、Iターン、Uターンの新規就業者に対して新たな支援事業を行う考えはないか問う。	市 長 市 長
	3 観光振興 について	(1) 昨今、マイクロツーリズムの普及により市内観光スポットの利用者が増えている。保全・管理を行うべきではないか問う。 (2) 新しい生活様式の中で、需要の多い観光事業にスピード感をもって取り組むべきではないか問う。	市 長 市 長
	4 環境行政 について	(1) 昨今、多くの場所でたばこのポイ捨てが目につく。対策を講じるべきではないか問う。 (2) ごみ処理に対して多くの意見を聞く。市民の意見も取り入れて、環境に優しい廃棄物処理設備等の検討も行っていくべきではないか問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年9月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9平野栄作	1 学校運営協議会制度（コミュニティスクール）導入による成果及び課題について	<p>(1) 本市においては、平成28年度に導入され、現在では全ての市内の小・中学校が導入済みであり各校独自性のある活動が展開されている。これまでも学校・家庭・地域の連携による子供たちの健全育成を推進してきたが、さらに一步踏み込んだ取組を展開するために導入されたと認識している。教育行政要覧にも、冒頭に「各学校に設置している学校運営協議会制度をさらに活性化し、これまで以上に充実した教育活動に取り組んでまいります」と記載されている。導入後の成果及び課題について以下を問う。</p> <p>① CSが設置されたことによりどのような変化があったと感じているか。</p> <p>② 地域や家庭への浸透がまだまだ進んでいないと感じるが、どのように受け止めているか。</p> <p>③ CSの普及・啓発や活動等に対する予算措置はできないのか。</p> <p>④ 地域との連携に学校側としてどのように参画していくのか。</p> <p>⑤ 委員への情報提供の在り方は適切か。</p> <p>⑥ 活性化に向けてどのような政策を講じる考えか。</p>	市長 教育長
10小園義行	1 消費税について	<p>(1) 現在の帳簿方式が2023年10月からインボイス（適格請求書）方式に変わることの影響をどのように受け止めているか。</p> <p>(2) 現在、免税事業者への周知はどのようにされているか。</p> <p>(3) 農業をはじめ中小事業者への影響が大きいと考える。国に対して導入中止の声を上げるべきと考えるがどうか。</p>	市長 市長 市長
	2 国保について（特例措置）	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響による保険料を減免する特例措置が出されている。内容を問う。</p> <p>(2) 前年所得が0円だと対象になるのか。</p>	市長 市長
	3 国保について（子供の均等割額）	<p>(1) 18歳までの均等割額を国の政策と併せ、市の独自支援として見直す考えはないか。</p>	市長
	4 国保について（傷病手当）	<p>(1) 事業主やフリーランスにも被用者と同じように対応する考えはないか。</p>	市長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年9月定例会 (No.7)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10小園義行	5 介護保険 について	(1) 特別養護老人ホームなどに入所する低所得の高齢者への補足給付制度が8月から改正された。内容を問う。 (2) 改正に伴う基準でどのような影響が出ているか。	市 長 市 長
	6 学校教育 について	(1) GIGAスクール構想で子供1人に1台のタブレットやパソコンが渡されたが、このことによる国が求めているものは何か。 (2) 先生や子供たちの受け止めはどうか。 (3) 学校のトイレに生理用品の配置をお願いし、前向きに取り組むとの答弁であったが、新年度に向けての対応を問う。	教 育 長 教 育 長 市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年12月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 長岡耕二	1 サツマイモ基腐病対策について	(1) サツマイモ基腐病への対策・支援について、市長の考えを問う。 (2) 借地料や種イモ購入経費の助成を新たに考えられないか問う。 (3) 防除の重要課題である排水対策について、支援・対応できる国や県の事業はないか問う。	市 長 市 長 市 長
	2 耕作放棄地対策について	(1) 耕作放棄地解消のための支援事業は考えられないか問う。	市 長
2 野村広志	1 所信表明の総括について	(1) 10年後を見据えた将来性のある事業展開を進め、魅力ある新しいまちづくりに取り組むとしたが、その成果と今後の方向性について問う。	市 長
		(2) 移住にもつながるような子育て支援策への取組と、安心して子育てができるまちづくりの成果について問う。	市 長
		(3) 医療体制の充実は、産科を含めた医療過疎の問題等として喫緊の課題である。緊急医療体制の構築に向けた取組について成果を問う。	市 長
		(4) 海外市場も視野に入れた基幹産業及び商工業の振興策について、具体的な取組と、その成果について問う。	市 長
		(5) 本庁舎移転による経済的効果と、タイムリーな情報発信やスピード感ある施策の推進について、その成果を問う。	市 長
		(6) 行政は最大のサービス業として、行財政改革にも積極的に取り組むとしたが、その成果について問う。	市 長
3 小野広嗣	1 重層的支援体制の整備について	(1) 本年4月より改正社会福祉法が施行となり、断らない相談支援を具体化するための重層的支援体制整備事業がスタートした。本市では、高齢者、障がい者、生活困窮者等複数の課にまたがる重層的な相談を支援する「まるごと相談室」を設置しているが、その運用状況について問う。	市 長
	2 居住支援の強化について	(1) 住まいは、安定した生活に欠かせない基盤である。新型コロナウイルス感染症拡大による影響が長期化する中で、家賃の支払等に悩んでいる方も増えており、住まいと暮らしの安心を確保するための居住支援の強化は、喫緊の課題である。本市の現状と取組について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年12月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 小野広嗣	3 高齢者の健康維持・増進について	(1) コロナ禍において、感染リスクを避けるために外出を控える高齢者の間で、閉じ籠もりがちな日々が続き、人との交流の場が減るなどした結果、全国的に高齢者の方々の心身機能の低下や介護認定の変化、認知症の悪化などが懸念されている。コロナ禍における高齢者の方々の健康維持の現状を、市としてどのように把握しているのか問う。	市 長
	4 教育行政について	(1) 昨年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言した。未来の世代も安心して暮らせる、持続可能な社会をつくるためにも、なぜカーボンニュートラルを目指すのかを、しっかり学ぶ必要があると考えるが、本市の環境教育の現状について問う。	教 育 長
4 小辻一海	1 道路行政について	(1) 県道3号日南・志布志線、石踊橋付近の急カーブから中大性院地区までの拡幅改良計画の現状と見通しについて問う。	市 長
	2 防災対策について	(1) 防災行政無線の地域別設置数と管理状況について問う。 (2) 津波への対策として、高台に避難するための場所や、新たな避難経路の確保及び施設の整備に向けた取組について進捗状況を問う。	市 長 市 長 教 育 長
5 八代 誠	1 労働力の確保について	(1) 人口減少と少子高齢化が加速する中、労働力不足が深刻化していると考え。今後の市内での労働力及び農業従事者の確保の在り方について見解を問う。	市 長
	2 東九州自動車道及び都城志布志道路について	(1) 振動及び騒音の現況について問う。 (2) 自動車専用道路敷地と民有地との境界に設置されているフェンスの周囲には、雑草・雑木・竹等が繁茂し民有地や農道等に影響を与えている。定期的な除草や伐採が可能となるよう、道路管理者である国や県に対して予算の確保を強く要望すべきであると考え、市長の見解を問う。	市 長 市 長
6 持留忠義	1 茶業振興について	(1) 現在も荒茶価格の低迷が続いているが、支援・対策についての進捗状況を問う。	市 長
		(2) 販路拡大を目指す中で、令和元年度からの輸出先及び輸出量の現状と今後への取組について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年12月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6 持留 忠義	2 多面的機能支払交付金事業について	(1) 多面的機能支払交付金事業による支援や整備が必要と思われる地区はまだ多いと考えるが、推進の取組状況を問う。	市 長
	3 畜産振興について	(1) 子牛の価格低迷が続き、生産農家は甚大な影響を受けている。経営の安定化を図るために、補填等の支援ができないか問う。	市 長
	4 サツマイモ基腐病について	(1) 被害が深刻なサツマイモ基腐病について、現状と今後の対応の在り方について問う。	市 長
	5 道路行政について	(1) 宮ヶ原大崎線の改良について、現在の進捗状況を問う。 (2) 市道田渕・平野1号線について、車両の転落が危惧される箇所にガードレールの設置ができないか問う。	市 長 市 長
7 南 利 尋	1 農業振興について	(1) 本市におけるサツマイモ基腐病の発生状況と、今後の対策について問う。 (2) 離農を検討している生産者に対する対応を問う。	市 長 市 長
	2 行政改革について	(1) 時代のニーズに対応した体制革新を図るべきではないか問う。	市 長
	3 新しいまちづくりについて	(1) 3次産業の活性化が重要な課題であると考え、早急に具体的なビジョンを策定すべきではないか問う。 (2) 大原地区付近に公営の物産館を造り、地場産の消費を促すべきではないか問う。 (3) 各種学校を創設すれば、人口増加とにぎわいの創出につながると考えるが、検討できないか問う。	市 長 市 長 市 長
	4 観光振興について	(1) ダグリ岬海水浴場にあるトイレを整備して、本市を訪れる方や市民に「おもてなしの心」が伝わるスポットにすべきではないか問う。	市 長
8 小園 義行	1 政治姿勢について	(1) 選挙で約束した公約や行政運営など、この4年間をどのように総括しているか問う。 (2) 本庁が志布志庁舎に移転し1年が過ぎようとしている。今後のまちづくりの考え方を問う。	市 長 市 長
	2 会計年度任用職員について	(1) 現在フルタイムの職員は0人である。今後の対応を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和3年12月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8小園義行	2 会計年度 任用職員に ついて	(2) 2017年4月、国会での地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律案に対する付帯決議、2019年12月20日の会計年度任用職員制度の施行に向けた留意事項について（通知）をどのように受け止め、議論したのかを問う。	市 長
	3 福祉行政 について	(1) 敬老祝金の節目支給見直しについて、今後、支給年齢の在り方を含め全庁的に議論すると答弁されているが対応を問う。	市 長
	4 国保につ いて	(1) 今議会に未就学児の均等割額2分の1軽減の条例改正案が提案されている。市独自で全額軽減する、そうした考えはないか。	市 長
	5 学校教育 について	(1) 給食費の全額補助に向けての考え方を問う。 (2) 学校のトイレに生理用品を配備することについて新年度に向けての対応を問う。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年3月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村 広志	1 政治姿勢 について	<p>(1) 市長選を通して「誰ひとり取り残さないまちづくり」を掲げ、8つの基本的な考え方に基づく政治姿勢が示された。そこで、市民の声をどのように受け止め、市長自身が掲げた施策の実現に向け、4年間のかじ取りをどのように行う考えであるか、以下について問う。</p> <p>① 「新型コロナ感染症対策にしっかり取り組む」としているが、基本的な感染症対策に加え、疲弊した地域経済の活性化策について具体的な考えを示せ。</p> <p>② 「稼ぐ志布志をつくり、安心して働けるまちを目指す」として、いくつかの取組を掲げているが、より具体的な戦略についての考えはあるか。</p> <p>③ 「まちの活性化と人口増を図る」としているが、人口を増やしていく展望は描けているか。</p> <p>④ 「安心して子育ての出来るまちを目指す」と示された中に、具体的項目として「小中学校の在り方検討」を掲げているが、どのような考えを持っているのか。</p> <p>⑤ 「魅力的で安心して暮らせる持続可能なまちを目指す」として、ゼロカーボンシティ宣言がうたわれ、LGBTQへの理解度浸透などジェンダー平等にも取り組む覚悟がうかがえたが、その考えを示せ。</p> <p>⑥ 「身近で安心な医療体制の充実を図る」ことについて、具体的に「市内近辺に総合病院の誘致を目指す」と示されているが、具体的な展望はあるのか。</p> <p>⑦ 「グループ制導入とデジタル化で行政サービスを円滑にする」としているが、行政のデジタル化について、どの程度まで踏み込んで改革を進めるつもりなのか。</p> <p>⑧ 「SDGs達成のための参加を促進する」としているが、本市として具体的にどのような関わり方を考えているのか。また、そのことによって市民生活にどのような影響を及ぼす可能性があるかと考えているか。</p>	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年3月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 小野広嗣	1 所信表明について	<p>④ 「グループ制導入とデジタル化で行政サービスを円滑にする」について</p> <p>ア 「グループ制を導入することにより、機能的かつ能率的な事務の執行や緊急時における業務継続が可能となる行政組織を構築する」とあるが、1期目において、このことが進まなかった理由と今後の課題について問う。</p> <p>イ 「DX (デジタルトランスフォーメーション) の取組を推進し、業務の効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげる」とあるが、現時点の課題と今後の展望について問う。</p>	市 長 教 育 長
3 稲付洋平	1 農業の振興について	<p>(1) 農業の現場は、労働力の慢性的な不足、経営的な負担の増大に伴う農業従事者の減少が懸念されている。現状の打開には若い農業の担い手の確保が急務と考えるが、市としての取り組みについて以下を問う。</p> <p>① 新規就農者に対する補助制度にはどのようなものがあるか。</p> <p>② 新規就農者数に伸びがみられない原因の検証がなされているか。</p> <p>(2) 現在、農林水産省ではスマート農業の実証、分析、普及を推進しており、既に本市でも導入している生産者もいるが、本市における今後の展開や取組について問う。</p> <p>(3) 所信表明において「志布志港を活用した農林水産物等の輸出促進に向けて取り組む」とあるが、具体的な方針並びに輸出品目、輸出量、取組を開始する時期など今後の計画について問う。</p>	市 長 市 長 市 長
	2 カーボンニュートラルについて	(1) 政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言したが、脱炭素の基盤となる重点対策について、今後、市として取り組む内容について問う。	市 長
	3 食料自給率の向上について	(1) 食料自給率向上の取組として、地産地消の拠点となる直売所等を設置し、高齢者・小規模農家が活躍できるモデル的な生産・流通体制づくりを行う計画はないか問う。	市 長
	4 本市の自然を生かした地域活性化について	(1) 合併前、有明地域の岳野山に、山全体を活用した「ワイルドパーク」という巨大なアスレチック施設があったが、人と自然のポテンシャルを引き出すために、同様の施設整備を市内に計画できないか問う。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年3月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 稲付洋平	5 ふるさと納税について	(1) ふるさと納税の寄附額の推移、現状について問う。 (2) さらなる寄附額の増を図るために、具体的には今後どのように取り組んでいくのか問う。	市 長 市 長
4 南 利 尋	1 経済対策について	(1) 長期にわたるコロナ禍において、市内事業者に対しては今後どのような支援事業に取り組んでいく考えか問う。 (2) スピード感ある地域経済の底上げを図るためにも、全市民に対して、市内で利用可能な商品券の配布を行うべきではないか問う。	市 長 市 長
	2 観光振興について	(1) 夏井地区の国道沿いにある廃墟の所有者との協議について、進捗状況を問う。 (2) ダグリ岬周辺整備事業の進捗状況について問う。	市 長 市 長
	3 地域振興について	(1) 地域住民の声をしっかりと聞き、旧出水中学校校舎の解体も視野に入れた跡地の利活用を図るべきではないか問う。	市 長
	4 環境行政について	(1) 令和3年第3回定例会でも、市内で散見されるたばこのポイ捨てについて質問したが、対策を講じるべきではないか問う。 (2) 火災や自然災害で罹災した場合に排出されるごみについて、処理方法の在り方を問う。 (3) 市民の声をしっかりと聞き、持続可能なごみの分別と搬出の在り方を検討すべきではないか問う。	市 長 市 長 市 長
5 八代 誠	1 農業施策について	(1) 本市農家は、新型コロナウイルス感染症の拡大及びサツマイモ基腐病などにより多大な影響を受けている。現在、国・県や本市で取り組んでいる支援事業について問う。 (2) 不安定な世界情勢の中、原油価格の高騰が懸念される。市内農家の経営継続に関する市長の考え方を問う。 (3) 有害鳥獣対策については、本市議会の一般質問でも多く取り上げられており、懸命な対応が継続されていると思うが、現状について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 押切海岸の浸食とその対策について	(1) 押切海岸における堤防浸食の現状と今後の堤防復旧（築堤）について問う。 (2) 鹿児島県が策定している「大隅沿岸保全基本計画（平成30年3月変更）」が示す、人工リーフ周辺の改修及び砂浜の復元について問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年3月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6市ヶ谷孝	1 所信表明 について	<p>(1) 「庁舎等の在り方検討委員会からの提言を踏まえた上で、更なる本庁舎機能の充実に取り組む」とあるが、市長の考えと今後の展開について問う。</p> <p>(2) 「効果的な支援策を総合的に検討し、更なる子育て支援の充実を図る」とあるが、給食費無償化に向けた今後の見通しについて問う。</p> <p>(3) 「テレワークやワーケーションといった多様な形で地域と関わる人や企業を増やす」とあるが、市長が思い描くビジョンについて問う。</p> <p>(4) 「多様な主体との連携や民間事業者等との包括的な連携を積極的に活用し、SDGsの達成に向けて取り組む」とあるが、本市における現状と今後の取組について問う。</p>	市 長 市 長 市 長 市 長
	2 共同墓地 について	(1) 各自治会や地域団体が管理する共同墓地について、地域住民が安心して利用できるよう、その整備や復旧に関して行政の支援が必要になってきていると考えるが、市長の考えを問う。	市 長
7福重彰史	1 道路行政 について	<p>(1) 県道柿ノ木・志布志線、弓場ヶ尾地区の拡幅改良について、その計画はどのようになっているのか、また、今後の見通しを示せ。</p> <p>(2) この路線に対する市の考え方や位置付けを問う。</p> <p>(3) 今後の事業計画及び事業実施に向けどのように取り組んでいく考えかを問う。</p>	市 長 市 長 市 長
	2 所信表明 について	<p>(1) 敬老祝金について</p> <p>① 節目支給から一律支給へ見直しを表明されているが、その判断に至った心情について問う。</p> <p>② 実施については、いつからの予定で考えているか。また、対象年齢についての考えを示せ。</p> <p>③ 支給方法について、どのように考えているか示せ。</p> <p>(2) サツマイモ基腐病対策について</p> <p>① 基幹作物であるさつまいもは、基腐病のまん延によって大変深刻な問題となっている。これまでの被害状況を示せ。</p> <p>② 国・県の防除対策等が示されているが、市としての防除対策や支援策をどのように考えているか示せ。</p> <p>③ さつまいもに代わる作物の選定や、農地の賃貸借契約の解除に伴う対応策をどのように考えているか示せ。</p>	市 長 市 長 農業委員会会長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年3月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8 鶴迫京子	1 所信表明 について	<p>(1) 安心して子育ての出来るまちづくりについて</p> <p>① 「特別支援学校の誘致について取り組んでまいります」とあるが、所信表明に至った背景と意義、また、これまでの経緯について問う。</p> <p>② 「県立牧之原養護学校へ通学する児童生徒の肉体的・精神的な負担や緊急時の対応を含めた保護者の不安などの要因を解消するため、関係機関と連携する」とあるが、どのように進めていくのか具体的に問う。</p> <p>ア 保護者との連携について</p> <p>イ 県との連携について</p> <p>ウ 市民との連携について</p> <p>③ 特別支援学校の誘致、推進にあたり、問題点をどのように考えているか。また、今後の見通しについて問う。</p>	市 長 教 育 長
9 小園義行	1 所信表明 について	(1) 「市立小中学校21校で国が示す適正規模校はなく過小規模校が増加することが見込まれる。保護者や地域とともに小中学校の在り方を検討していく」と述べている。その本意を問う。	市 長
		(2) 「特別支援学校の誘致に取り組んでいく」と述べている。どのように進めていく考えか。	市 長
		(3) 「誰もが安心して暮らせるまちを目指します」として防災対策等が述べられている。避難困難者対策等について問う。	市 長
		(4) 敬老祝金について、「全ての高齢者を敬い、長寿を祝うため、支給方法を一律支給とする」と述べている。節目支給を見直す考えか。	市 長
	2 介護保険 について	<p>(1) 第9期に向けて制度の見直しの検討が今春から始まる（利用料2割負担・3割負担の対象拡大。要介護1・2の生活援助等の見直し、ケアプランの有料化、多床室で室料負担を求める対象施設の拡大、被保険者・受給者の範囲の見直し等）。こうした状況をどのように受け止めているか。</p> <p>(2) 今回提案されている介護職の給与引き上げが2月から9月までは交付金（令和3年度補正予算）で実施し、10月以降は介護報酬上での対応になる。国に負担が過重にならないように声を上げるべきではないか。</p>	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年3月定例会 (No.7)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9小園義行	3 農政について	(1) 水田活用の直接支払交付金について、令和4年度からの5年間で一度も水稲の作付が行われない水田は、令和9年度以降交付対象としない方針が示された。本市への影響はどうか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村 広志	1 教育行政について	(1) 家庭での学習時間を確保し、学習習慣の確立を図ることで、学びの深まりや学力向上に取り組むとしているが、本市の現状と今後の取組について問う。 (2) 学校現場では、子供たちにタブレット端末や書画カメラ等によるICT機器を活用した授業が推進されているが、その現状と効果について問う。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	2 農業振興策について	(1) 昨今の社会情勢は、全ての農産物にあらゆる影響を及ぼしている。特に資材価格等の高騰によって農家の生産意欲が減退し、離農者が増えることも心配される。また、新規就農者において設備投資等が厳しい現状のようである。今後、何らかの手立てを考える必要があるのではないかと問う。	市 長
	3 道の駅松山「やっちくふるさと村」の活性化について	(1) 道の駅松山「やっちくふるさと村」の活性化は、指定管理者のみならず地域の願いでもある。包括的な見地を鑑み、対策を講じる必要があると感じるが見解を問う。	市 長
2 西江園 明	1 教育行政について	(1) 小学校における児童の問題行動に対する学校、本市教育委員会の対応の在り方について問う。 ① 複数の児童が転校に至るような場合について、どのように認識しているか。 ② 解決のために外部機関等へ相談するなどの対応を行っているか。 ③ 志布志市いじめ防止等に関する条例に基づいた取組が行われているか。	市 長 教 育 長
	2 定住促進(人口増)対策について	(1) 本市への定住を促進するためにこれまで取り組んできた各種対策の現状と、実際に本市への定住につながったケースについて問う。 (2) 農業公社が取り組んでいる研修事業は、定住の促進と人口増に大きく寄与していると考えますが、その周知・広報にもっと力を入れるべきではないかと問う。 (3) 市職員が定住促進の対策を自由に提案できる雰囲気醸成や環境の整備がされているか問う。	市 長 市 長 市 長
	3 乗り合い送迎サービス事業について	(1) 乗り合い送迎サービスとして運用している「チョイソコしぶし」について、市民の利便性向上と利活用促進のために、運行時間の見直しができないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 西江園 明	3 乗り合い送迎サービス事業について	(2) 視覚や聴覚に障がいがあり、電話での予約が難しい市民もいる中で、現在の予約手続きの在り方を見直す考えはないか。	市 長
3 小辻一海	1 職員の勤務の在り方と健康管理について	(1) 事務事業マネジメントシートを活用しながら事務の適正化を図るとともに、過重な業務が原因で市民サービスの低下を招かないよう、職員数の十分な配置がされているか。 (2) 職員が働き方・生き方を選べるワーク・ライフ・バランス社会の実現に向けた取組と課題について問う。 (3) 令和元年4月から、労働基準法等の改正によって長時間労働が是正されたことに伴い、職員が健康で働き、活躍できる環境整備を図ることが市民サービスにつながるものとするが、働き方の現状と取組の内容について問う。 (4) ストレスチェック検査の取組状況と、メンタルヘルス不調者を減らす職場改善対策をどのように考えているか。 (5) パワーハラスメントやセクシュアルハラスメント防止対策の重要性の認識と対策について問う。	市 長 教 育 長 市 長 市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
4 青山浩二	1 新型コロナウイルス感染症の予防対策及び感染者への対応について	(1) 新型コロナウイルス感染症の発症を予防する効果と重症化を予防する効果が期待されているワクチンについて、本市における現在までの接種率について問う。 (2) 小児接種はどれくらい進んでいるのか。また、小児接種における副反応の報告はなされているのか問う。 (3) 本年7月から本市においても4回目のワクチン接種が始まる予定であるが、その内容について問う。 (4) 市民の不安解消と無症状陽性者の早期発見を目的として、本市ではPCR検査費用の一部を助成しているが、これを無料化する考えはないか問う。 (5) 感染者への療養期間中の支援体制はどうなっているのか。また、感染者へ傷病見舞金を給付する考えはないか問う。 (6) 令和3年9月定例会において、小・中学校における感染対策について質問したが、その後の進捗状況について問う。	市 長 市 長 教 育 長 市 長 市 長 市 長 市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 青山浩二	2 教育行政について	(1) 小規模校入学特別認可制度（特認校制度）について、その概要と内容について問う。 (2) 特認校へ転入学を認められた児童への通学補助について問う。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	3 本庁舎移転計画について	(1) 令和3年11月の庁舎等の在り方検討委員会からの提言をどう受け止めたか。また、今後においては、さらなる本庁舎機能の充実に取り組むと所信表明で述べているが、具体的な計画について問う。	市 長
5 永田 梓	1 資源ごみ収集について	(1) 各自治会やアピア前市営駐車場で実施されている資源ごみ収集について、現状と違反ごみに対する対応について問う。 (2) アピア前市営駐車場で月2回実施されている資源ごみ収集について、より広い場所を確保し、収集回数を増やすなど、市民に寄り添った資源ごみの収集方法は考えられないか問う。	市 長 市 長
	2 志布志市生物多様性地域戦略の推進について	(1) 令和3年3月に策定された志布志市生物多様性地域戦略の中で、「5つの将来像を実現するため、各主体（市民、事業者、各種団体、行政機関）の連携と協働の下、志布志市生物多様性地域戦略を推進するため「志布志市生物多様性センター」（仮称）を設置する」とあるが、どのようなセンターを設置するか問う。	市 長
	3 歴史遺産の活用について	(1) 「歴史遺産を保存活用し、次の世代に引き継いでいく責任を果たす」と所信表明で述べているが、どのように引き継いでいくのか問う。 (2) 観光ガイドの活動状況及びガイドの育成・活用推進の在り方について問う。	市 長 教 育 長 市 長
6 小野広嗣	1 地方公共団体情報システムの標準化について	(1) 「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」が制定され、令和7年度までに「Gov-Cloud（ガバメントクラウド）」上で基準に適合した情報システムを利用する形態に移行することを目指すことになるが、本市の認識と今後の取組について問う。	市 長
	2 AIチャットボットの導入について	(1) AIチャットボットは、会話形式による自動応答により、24時間365日、問合せが可能なシステムである。コロナ禍の影響もあり、新型コロナウイルス感染症等に関する市民からの質問にAIが24時間回答するなど、様々な用途に活用でき、導入する自治体が増えている。本市も導入に向けて検討する考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6 小野広嗣	3 子育て世代包括支援センターについて	(1) 子育て世代包括支援センターは、妊娠期から出産、子育て期までの切れ目ない支援を行い、育児不安の軽減等を図ることを目的としており、様々な相談に応じる場として重要な役割を担っている。事業内容も多岐にわたるが、現状の職員体制と運営状況について問う。	市 長
	4 市民に親しまれる港について	(1) 所信表明には「イベント等を開催することにより、市民が集い親しまれる港としての活用を図る」とあり、今回の施政方針には、「自転車ロードレース大会を契機に市民から親しまれる港としての活用を図るとともに、サイクルツーリズムを推進する」とある。市民に親しまれる港としての、今後の展望について問う。	市 長
	5 図書館行政について	(1) 「読書バリアフリー法」が2019年6月の国会で成立し施行されて以降、「読書バリアフリー法」に基づく、本市図書館における具体的な取組について問う。 (2) コロナ禍の中、利用したい人が図書館に出向かずに本に親しむ方法として、公立図書館における電子書籍貸出サービスを実施する自治体が増えつつある。電子書籍貸出サービスは、電子図書館に登録された電子書籍について、図書館利用登録者が所有するスマートフォンやパソコンなどを使って、24時間365日いつでも予約し、閲覧することができるサービスである。本市も導入に向けて検討する考えはないか。	教 育 長 教 育 長
7 稲付洋平	1 漁業振興について	(1) 漁業は後継者不足が懸念され、高齢化が進んでいる状況である。また、地球温暖化により志布志湾の海中環境も変化しつつあることから以下について問う。 ① 「枇榔島沖にイセエビの増殖場を整備し、水産資源の維持・回復を図る」と施政方針で述べているが、継続的に整備していく考えはないか問う。 ② 新規漁業就業者に対して、市単独の就業支援資金制度を設けることはできないか問う。	市 長
	2 自主財源の確保について	(1) 自治体を実施する事業に共感した人から資金を募る寄附制度（ガバメントクラウドファンディング）を本市でも取り入れていく考えはないか問う。	市 長
8 南 利 尋	1 森林伐採について	(1) 施政方針の中にも、「林道の適切な管理に努め機能維持を図る」とある。伐採後の林道の現状をどのように把握しているか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8南 利 尋	1 森林伐採について	(2) 持続可能な林業振興に寄与するためにも、新たな条例などを制定し、安全・安心な林道機能の維持を図るべきではないか問う。	市 長
	2 新しいまちづくりについて	(1) 志布志インターチェンジ開通などにより、来訪者の増加が期待できるが、今後どのようなまちづくりを進めていく考えか問う。	市 長
		(2) 「稼ぐ志布志」を実現するために、ハード面からはどのような施策に取り組む考えか問う。	市 長
3 環境行政について		(3) 市内で新たに起業する事業者に対して、公平性を重視した補助事業に取り組むべきではないか問う。	市 長
		(1) 高齢者の多い地域では、ごみの分別と搬出の在り方が喫緊の課題になっている。どのような対策を講じる考えか問う。	市 長
		(2) ごみの分別や搬出に係る市民の意見や要望をしっかりと把握し、見直すべき点は早急に改善すべきではないか問う。	市 長
9丸山 一	1 農道の改良について	(3) 前回定例会でも質問したが、本市における埋立処分場の在り方を再度検討すべきではないか問う。	市 長
		(1) 野井倉土地改良区内の3号水路沿いの農道は、農業従事者はもとより、有明中学校の生徒の通学路としても利用されているが、幅員が狭く非常に危険であるので、安全性向上のためにも拡幅工事を行う考えはないか。	市 長 教 育 長
	2 市道の街路灯について	(2) 飯山地区から通山地区までの農道について、農業従事者の利便性向上につなげるために、拡幅・改良工事を行う考えはないか。	市 長
		(1) 一丁田・志陽・飯山・吉村の各地区へと通じる市道には、街路灯があまりにも少ないと感じる。実際に、夜間は非常に暗い現状となっていることから、増設等の対策ができないか問う。	市 長
3 安楽地区公民館の駐車場について	(1) 安楽地区公民館は、隣接する山宮神社の駐車場を使用しているような状況となっている。別途、専用の駐車場を確保すべきと考えるが、見解を問う。	市 長 教 育 長	
4 ふれあい広場（通山地区）について		(1) 現在、通山地区内にある「ふれあい広場」のトイレは和式であるが、高齢者の利用も多いことから、洋式化する考えはないか。	市 長 教 育 長
		(2) 指定管理者制度を活用した運営はできないか。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10東 宏二	1 定住対策 について	(1) 本市でも人口の減少が進んでいる中で、奨学金の返還を支援し、人口増につなげられないか。今後の取組について問う。	市 長 教 育 長
	2 農業行政 について	(1) 近年、サツマイモ基腐病の影響が本市でも深刻な問題となっている。喫緊の対応が求められていると思うが、今後の支援や対策について問う。 (2) サツマイモ基腐病の拡大により作付面積が減少し、耕作放棄地が増加する一因にもなっている。本市における耕作放棄地の解消に向けた取組や対策について問う。	市 長 市 長
11隈元香穂子	1 子ども食堂 について	(1) 子供の貧困問題に地域で取り組むことを目的として、「子ども食堂」の開設が全国的に拡大しているが、本市における開設状況と支援体制の在り方について問う。	市 長
	2 子育て支 援について	(1) 大浜緑地について、子供たちが安心して遊ぶことのできるスペースが確保できているか。また、小・中学生、大人が楽しめる遊具の導入や、屋根のある休息場所の設置ができないか問う。 (2) 「雨天時でも、あらゆる子供たちが安心して遊び、学べる利用のしやすい児童館を設置してほしい」との声があることを踏まえ、検討できないか問う。 (3) 未就学児の療育、支援の在り方についての現状と今後の対応について問う。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長 市 長
	3 津波対策 について	(1) 夜間の地震・津波発生を想定した避難訓練の実施について問う。 (2) 市内に開設される各避難所における非常用物資の備蓄状況及び衛生環境の確保・対策について問う。	市 長 市 長
12市ヶ谷孝	1 高齢者福 祉について	(1) 近年増加の一途をたどる高齢化率と、高齢者における「夫婦のみ」、「単独世帯」が占める割合の多さから、一人暮らし高齢者の増加も年々顕在化している。こうした中、高齢者に対する食品・食事提供サービスの重要性はますます高まっていくと思われる。本市においても「食」の自立支援事業等を実施しているが、今後、より多様化する高齢者のニーズに対応するための柔軟かつ継続性を備えた事業の在り方をどう展開していくのか、考えを問う。	市 長
13小園義行	1 商業振興 について	(1) 国が2023年10月からインボイス制度を実施しようとしている。中小事業者の皆さんへの周知等、どのように対応しているのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月定例会 (No.7)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
13小園義行	1 商業振興について	(2) インボイス制度が実施された場合、シルバー人材センターの運営にどういった影響があるか。 (3) 中小企業・小規模企業振興基本条例を制定し、経営を守る考えはないか。	市 長 市 長
	2 マイナ保険証について	(1) 現状と今後の対応を問う。	市 長
	3 教育行政について	(1) 文部科学省が4月27日付で支援学級の子どもを対象に「週の授業時間の半分以上を目安に支援学級で授業を行う」とし、通常学級での授業を半分以下にするよう通知を出した。本市の現状を問う。	市 長 教 育 長
		(2) 文部科学省が3月にすべての新任教員が採用後10年目までに特別支援学校や特別支援学級で2年以上の指導経験を積むことを求める通知を出している。この事をどのように受け止めているか。	市 長 教 育 長
	4 農業振興について	(1) 水田活用の直接支払交付金助成制度が変わることの影響を3月定例会で質問した。生産者への説明、また、どういった反応があったのか。	市 長
5 地域の持続的発展について	(1) 校区毎の振興計画等、どのように議論されているのか。	市 長 教 育 長	
14鶴迫京子	1 環境行政について	(1) ごみ出し困難者のための対策事業について、利用するための条件と手続の方法、併せて過去3年間の利用状況を問う。	市 長
		(2) ごみ出し困難者の実際の状況と、対策事業利用者数には乖離があるのではないかと考えるが、その実情に沿ったきめ細やかで使い勝手の良い事業へ見直すことができないか。	市 長
		(3) 月1回の資源ごみ収集予定日以外に、4品目（ペットボトル・プラスチック類・空き缶類・その他の紙類）については希望があれば月に1回の特別収集が利用できるが、現在の利用状況はどうか。また、特別収集の周知方法を示せ。	市 長
		(4) リサイクルステーションに設置されている金網のボックスは、重さがあることから開閉時に手を挟んでしまうなど怪我につながった例もある。高齢者や子供にとっても扱いやすい形状・資材に改良していく考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年9月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野 広 嗣	1 物価高騰に伴う支援策について	(1) ウクライナ危機による世界経済への影響や円高による物価高騰により、市民生活が極めて厳しい困難に直面している。コロナ禍により困窮する市民が増えている中、物価高騰を踏まえた市民の暮らしを支援する施策が求められているが、今後、市としてどのような支援を考えているのか。	市 長
	2 防災力の向上について	(1) この夏、停滞する前線などの影響で大雨被害が相次いだ。気象災害が頻発化・激甚化する中で、地域気象防災情報が市民に的確に届き、防災行動へ結びつくような施策の展開について問う。	市 長
		(2) 災害発生時における停電は、電力の復旧が長期にわたる場合もあるため、停電時の備えは極めて大切である。本市の停電時における対応策の現状について問う。	市 長
	3 ヤングケアラーについて	(1) ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定される家事や家族の介護、感情面のサポートをする子供のことを指し、過度な負担が学業や健康、友達関係、将来の進路にも影響を及ぼすことが指摘されている。ヤングケアラーについて、本市ではどのように認識しているのか。	市 長 教 育 長
4 子どものネット依存について	(1) スマートフォンなどが社会に広く普及する中、インターネットの使い過ぎで、健康や生活に支障をきたすネット依存が深刻化している。国の推計では、この10年間でネット依存の疑いのある子供が急増している。本市の現状と対策について問う。	教 育 長	
2 野村 広 志	1 港湾行政について	(1) 志布志港においては、小口混載貨物の海外輸出体制が整ってきた。農林水産品・食品の輸出増に期待されるどころだが、港湾を抱える地元の自治体として、どのような輸出戦略を持って、推進していくつもりなのか。 (2) 海外輸出戦略に特化した専門部署の設置について、機構改革も含めて検討していきたいとの答弁であったが進んでいるのか。 (3) 以前質問した港湾計画の変更について、協議が進んでいるようだが、本市の意向も踏まえた計画策定となっているのか。	市 長 市 長 市 長
	2 地域コミュニティの在り方について	(1) 現在、校区公民館組織から地域コミュニティ協議会へと順次移行が進んでいるが、将来に渡って持続可能な地域を形成するためには、まだまだ課題があると感じている。当局が思い描く地域コミュニティの在り方とは、どのようなものなのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年9月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2野村広志	2 地域コミュニティの在り方について	(2) 地域内の公共施設等は、老朽化が目立つものが見受けられる。公共施設等総合管理計画に基づいて計画的に改修等の事業が図られると思うが、地域コミュニティの中でも、そのような議論を深めていく時期にきているのではないか、今後の考え方について示せ。	市 長
3永田 梓	1 動物愛護について	(1) 市では所有者不明猫の不妊・去勢手術について、令和3年11月から対象団体にメスで1万円、オスで5千円の手術費用補助を実施しているが、現状では、所有者不明猫の数は思うように減っていないように感じる。現在までの補助実績について問う。	市 長
	2 教育行政について	(1) 志布志市子ほめ条例について、義務教育期間中に1人1回表彰しているが、条例施行から現在までの児童・生徒及び保護者の反応について問う。	市 長 教 育 長
	3 福祉行政について	(1) 結婚50周年を迎えるご夫婦をお祝いするために合同金婚式を開催しているが、コロナ禍における開催状況について問う。	市 長
4 戸山 晋司	1 津波対策について	(1) 令和4年度に入り、定例会や住民説明会の中でも津波避難の経路の説明は行われているが、迅速な避難を行うための対策の実施状況はどうか。	市 長
	2 子育て支援について	(1) 移住を目的に本市を訪れる方々や、観光に訪れるカップルなどが、本市で充実した時間を過ごすために、あずかり保育などの対応を行っているのか。 (2) 近年増えるインクルーシブ公園について考えを問う。 ① 既存の公園の数と管理・運営の状況はどうか。 ② 施政方針でも特別支援教育の充実に取り組むとあり、6月議会でも市長自らインクルーシブ教育について答弁があるが、インクルーシブ公園についてはどのように考えているかを問う。	市 長 市 長 教 育 長
	3 地域エネルギー資源について	(1) 本市における太陽光発電の現状について考え方を問う。 (2) 水道管を利用した新たな発電方式について考えを問う。	市 長 市 長
	4 高齢者や障がい者に配慮した社会づくりの推進について	(1) 施政方針にも認知症対策等の充実・推進に取り組むとあるが、認知症に直結するとの研究が進んでいるヒアリングフレイルについての考えを問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年9月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 栢山晋司	5 パートナ ーシップ宣 誓制度につ いて	(1) 本市においてのLGBTQ+に対する正しい理解につ いての取組状況を問う。	市 長 教 育 長
5 小園義行	1 行政の在 り方につ いて	(1) 旧統一教会（世界平和統一家庭連合）と関連団体 との関係の有無はどうか。 (2) 旧統一教会とその関連団体からの被害はないか、 市民に呼びかけるとともに相談窓口を設ける考えは ないか。	市 長 市 長
	2 国葬につ いて	(1) 故安倍元首相の国葬について、国からの要請等に ついて問うとともに、その受け止め方を問う。	市 長 教 育 長
	3 インボイ ス制度につ いて	(1) シルバー人材センターの負担の在り方等につい て、具体的に問う。 (2) 水道事業についての影響はどうか。	市 長 市 長
	4 国保につ いて	(1) 未就学児の均等割額を全額見直す考えはないか。	市 長
	5 生理の貧 困について	(1) 学校のトイレに生理用品を配置するよう求めてき たが、現状を問う。	市 長 教 育 長
6 玉垣大二郎	1 人権行政 について	(1) 「社会を明るくする運動」と「再犯防止推進運動」 の取組について問う。	市 長 教 育 長
	2 買物弱者 対策につ いて	(1) 買物弱者解消に向けた取組の現状と今後の対策に ついて問う。	市 長
	3 放置竹林 対策につ いて	(1) 放置竹林の現状と竹を利用した産業誘致により、 解消は考えられないか。	市 長
7 南 利 尋	1 環境保全 について	(1) 除草作業などの保全活動が困難になった自治会が 多くある。安全・安心の観点からも、早急に対策を 講じるべきではないか問う。	市 長
	2 経済対策 について	(1) 終息の見えないコロナ禍で、市内飲食店街、タク シー、代行業などは、未曾有の危機に陥っている。 本市独自の支援事業に取り組むべきではないか問 う。 (2) 物価高騰により、多くの市民が大変な思いを強い られている。全市民に対しての商品券配布を検討す べきではないか問う。	市 長 市 長
	3 観光振興 について	(1) 第2次志布志市観光振興計画の策定の在り方につ いて問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年9月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7 南 利 尋	3 観光振興について	(2) 観光事業に精通した戦略コンサルタントを置き、観光トレンド等を考慮した施策を推進していくべきではないか問う。	市 長
	4 畜産振興について	(1) 全国和牛能力共進会鹿児島大会へのこれまでの取組と、最終予選会の結果をどう捉えているか問う。 (2) 和牛は、ふるさと納税返礼品の主力である。畜産振興について、抜本的な見直しを図るべきではないか問う。	市 長 市 長
8 隈元香穂子	1 高齢者運転免許証自主返納支援事業について	(1) 物価の上昇やチョイソコしぶしの本格運行開始時期を迎えるにあたって、2万円分のタクシー・給油利用券交付の見直しについて問う。	市 長
		(2) もともと運転免許を持たない高齢者や外出時の交通手段のない高齢者の社会参加について問う。	市 長
		(3) お買物特典制度について、必要の是非を問う。	市 長
2 チョイソコしぶしについて	(1) 本格運行を前に、今後の展開を問う。	市 長	
	(2) チョイソコしぶし登録時、郵送される利用案内やマップなどのリーフレットの内容を充実させていく考えはないか。 (3) 効率の良い運行ができるよう、工夫や改善を図る考えはないか。	市 長 市 長	
3 大浜緑地の整備について	(1) 大浜緑地に健康遊具を設置できないか問う。	市 長	
	(2) 屋根のある休息場所の設置ができないか問う。	市 長	

一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野広嗣	1 地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金の活用について	(1) 地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金を積極的に活用し、年々、激甚化・頻発化する自然災害や感染症等から、施設を利用している高齢者等を守るための取組を後押しする考えはないか。	市 長
	2 高額療養費の支給申請手続の簡素化について	(1) 国民健康保険法施行規則の一部が改正されたことにより、国民健康保険の高額療養費の支給申請について、市町村の判断により手続を簡素化することが可能となっている。対象となる市民の負担軽減・市民サービス向上の観点からも、高額療養費の支給申請手続の簡素化に取り組むべきではないか。	市 長
	3 出産・子育て応援交付金について	(1) 政府が11月8日に閣議決定した2022年度補正予算案に、すべての出産家庭に計10万円を支給して妊産婦の伴走型支援につなげる「出産・子育て応援交付金」事業が盛り込まれたが、現時点における本市の認識と今後の対応について問う。	市 長
	4 こども家庭庁を見据えた施策について	(1) 本年6月、「こども家庭庁設置法案」及び「こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律」が成立し、明年4月にこども家庭庁が設置される。今後、子供に関する包括的な支援体制の強化、構築が期待されるが、国の動向を踏まえ、本市ではこども政策を今後どのように推進していくのか。	市 長 教 育 長
	5 発達性読み書き障害（ディスレクシア）について	(1) 発達性読み書き障害であるディスレクシアは、学習障害のひとつのタイプとされ、全体的な発達には遅れはないのに文字の読み書きに限定した困難があり、そのことによって学業不振に陥り、二次的な学校不適応などが生じる疾患である。ディスレクシアに関する認識について問う。	教 育 長
2 野村広志	1 物価変動等の対処に関する考え方について	(1) 日本を含む世界各国でインフレが加速して物価が高騰し、市民生活を直撃している。特に介護保険サービスや障害福祉サービス等を提供する事業者は、発生する経費について、ほとんどのモノの価格が上昇しており大変苦慮しているようである。そこで、県が発表した新たな支援策について詳細を示せ。	市 長
		(2) 本市が発注する工事請負契約について、通常予見不可能な物価変動等によって、契約単価の変更を措置する場合の考え方について示せ。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 野村広志	1 物価変動等の対処に関する考え方について	(3) 昨今の物価高騰を受けて、本市の各種団体補助金や交付金補助金等の在り方について、どのような考え方をしているのか示せ。	市 長 教 育 長
	2 戦争遺産の考え方について	(1) 戦争遺産に対する考え方や向き合い方を整理し、後世に語り継ぐべき遺産として、どのように位置づけて考えていくのか示せ。	市 長 教 育 長
3 稲付洋平	1 人口減少について	(1) 人口減少に対する方向性ならびに対策について以下を問う。 ① 人口減少の原因分析について。 ② 志布志市U・Iターン者支援事業の利用状況は。 ③ 今後、人口が増える見通しはあるのか。 ④ 本市のPR力を向上させるべきではないか。	市 長
	2 耕作放棄地について	(1) 耕作放棄地が増加する原因、対策について以下を問う。 ① 耕作放棄地は増加傾向である。原因分析しているのか。 ② 今後の対策案として具体的な計画はないか。	市 長
	3 保育施設・放課後児童クラブ利用申込について	(1) 認可保育施設、放課後児童クラブの利用申込について以下を問う。 ① 申請は期間中の土日を除く8時30分から17時15分となっているが、受付時間を延長できないか。 ② インターネットを利用した申請は可能か。	市 長
	4 商工業小規模事業承継支援対策事業補助金について	(1) 本事業について以下を問う。 ① 支援の状況について ② 市内、市外の補助金差額を無くすべきではないか。 ③ 事業承継したい方をPRしていく考えはないか。	市 長
4 永田 梓	1 生物多様性について	(1) 生物多様性の保全と持続可能な利用について市民の意識向上等を図ることを目的として、先日、九州初となる生物多様性センターがオープンしたが、現状と今後の在り方について問う。 ① 令和4年8月のオープン計画がなぜ遅れたのか。また、今後の事業展開をどのようにイメージしているのか問う。 ② 各地域にビオトープ（生物生息空間）を設置し、環境教育の場として活用する考えはないか問う。 ③ 独自に生物多様性に関する調査・研究を行っている民間団体・個人に対して、調査・研究助成金を交付する考えはないか問う。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 永田 梓	2 道の駅松山について	(1) 道の駅松山の活性化を地元住民は強く望んでいるが、現状と今後の在り方について問う。 ① シェアキッチンとして、施設の一部を開放する考えはないか問う。 ② 多目的広場にオートキャンプ場を整備する考えはないか。また、ふれあい広場に遊具を整備する考えはないか問う。	市 長
5 持留 忠義	1 畜産振興について	(1) 肉用牛の価格が短期間で下落し、生産者の経営環境悪化や意欲低下などによる生産基盤の弱体化が懸念される中で、経営改善に取り組む生産者を支援するため、国において優良肉用子牛生産推進緊急対策事業が実施されているが、現場の生産者の疲弊は長期にわたっていることから、奨励金単価の見直しなど本市として声を上げることができないか。 (2) 配合飼料の高騰が続いているが、本市としての見解と、今後の具体的な対応策を問う。	市 長 市 長
	2 茶業振興について	(1) 茶の年間平均価格が十数年にわたって低迷しており、経営状況は厳しさを増している。価格補填に取り組む考えはないか。 (2) 原油価格の高騰に対する支援・助成はできないか。	市 長 市 長
	3 サツマイモ基腐病等への対策について	(1) サツマイモ基腐病の蔓延や発生を予防するため病害虫対策が行われたが、その効果を問う。 (2) サツマイモ基腐病が2018年に発生が報告されて以降、さつまいもの生産に大きな打撃を与えているが、これまで被害を受けた生産者数や面積を把握しているか。 (3) サツマイモ基腐病の影響とともに肥料価格の高騰が続いている。支援・助成を行う考えはないか。	市 長 市 長 市 長
6 隈元香穂子	1 市内商工業者への今後の支援策について	(1) 廃業する事業所が増えているが、物価高騰しぶし版支援給付金に続く支援策の検討はされているか。 (2) 商工会、観光協会などの団体に属さない事業者に対しても情報の共有はできているか	市 長 市 長
	2 産婦人科・小児科のオンライン診療相談及び産婦人科誘致について	(1) 産婦人科オンライン診療・相談の必要性について問う。 (2) 産婦人科医院跡の再活用について検討する考えはないか。 (3) 小児科オンライン相談の必要性について問う。	市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6 隈元香穂子	3 市民目線の市政の在り方について	(1) 市の事務事業を市民に伝達するまでの過程において、当事者を含む関係各位を交えた意見交換の場を設けることの必要性を問う。	市 長
7 南 利 尋	1 新しいまちづくりについて	(1) 新たな拠点づくりを実現するために、官民一体となった具体的なランドデザインを策定すべきではないか問う。	市 長
	2 地域振興について	(1) 本市の特性を生かした新たなグリーンツーリズムの拠点として、旧出水中跡の利活用を図るべきではないか問う。	市 長
	3 観光振興について	(1) 本市を訪れる観光客に対して、点在する観光スポットを紹介し、経済活動を促すためにも、経済活動拠点となる物産館を整備すべきではないか問う。	市 長
		(2) ダグリ岬周辺整備事業が国際の森周辺まで拡張された。国際の森周辺の地形の特性を生かし、世界的に人気のあるジップスライダーや、アスレチック等を整備すべきではないか問う。	市 長
4 スポーツ振興について	(1) 本市から九州大会、全国大会に出場する選手に対して、新たな助成事業を行なうべきではないか問う。	市 長 教 育 長	
8 小 辻 一 海	1 環境行政について	(1) 生物多様性の保全と持続的な利用確保に市民が理解して取り組む必要があると考えるが、進むべき方向性と今後の取組について問う。	市 長 教 育 長
		(2) 生物多様センターの設置場所や人員体制など事業運営について問う。	市 長
		(3) 生物多様性の保全と持続的な利用についての考察や、子供たちへの具体的な教育について問う。	市 長 教 育 長
		(4) メリケントキンソウ撲滅事業に対する検証・評価と今後の取組について問う。	市 長 教 育 長
		(5) 市内各地において、多くの外来生物が確認されているが、駆除や生態系の保護、農林畜産物への被害を防ぐための対策が必要と考える。外来生物の現状と対策について問う。	市 長
		(6) 高齢者、子育て世代、市内企業、市外から移住された方々からごみ分別の簡素化や焼却施設整備等の多くの意見を聞くが、今後の取組について問う。	市 長
9 小園義行	1 学校給食について	(1) 現在半額補助となっている給食費の全額無償化について今後の考え方を問う。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9小園義行	1 学校給食について	(2) 学校給食調理及び配送業務の民間委託について問う。 (3) 1997年文科省の審議会答申で単独校調理場方式への移行について答申が出されている現状と併せてどのように考えるか。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	2 国保について	(1) 来年度の県への納付金額は示されたのか。 (2) 県国保財政安定化基金は令和3年度末でいくらになるのか。 (3) 市町村国保の納付金の上昇を抑制するために基金としていくら活用できるのか。 (4) 基金の運用方針を10月に開かれた国保運営連携会議財政部会で協議されたと聞くが、どのような方針になったのか。 (5) 県の基金の運用の考え方は「県の1人あたり国保事業費納付金額の対前年度伸び率が10%を超過した場合に使える」としているが10%の引き下げを要求すべきではないか。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長
	3 インボイスについて	(1) シルバー人材センターの運営についてその後の対応について問う。	市 長
	4 道路行政について	(1) 市道の維持管理について考え方を問う。 (2) 国・県との連携について問う。	市 長 市 長
10鶴迫京子	1 防災・減災について	(1) 地震・津波・台風などの自然災害から命を守るため防災・減災対策について、どのように取り組んでいるのか本市の状況を問う。 ① 海岸線一帯の津波・台風対策について ② 津波避難困難区域解消に向けての取り組みについて ③ 志布志市総合防災マップを周知・活用し、市民の自主的な防災意識の向上を図るための取組について ④ 災害対策本部機能の充実・強化、各種災害等に迅速に対応できる体制整備をどのように図るのか。また、庁内体制はどうか。 ⑤ 備蓄対策をどのように推進していくのか。 ⑥ 届出避難所の現状と今後の活用について ⑦ 地域防災リーダー育成への取組は。また、自主防災組織の育成・充実を図るための取組は。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
11 栞山 晋 司	1 学校と保護者の負担軽減について	(1) 文部科学省の「全国の学校における働き方改革事例集」にも記載があるように、学校職員と保護者の双方向の負担軽減を図る取組を行う必要があると考えるが、以下の点について問う。 ① 統合型校務支援システムを活用した、保護者との連絡手段のデジタル化について ② 出欠連絡だけではなく、アンケートにも活用できるアプリ導入の考えはないか。	市 長 教 育 長
	2 ヒアリングフレイルについて	(1) 若年層におけるヒアリングフレイルについての考えを問う。	市 長 教 育 長
	3 創業支援について	(1) 商店街や地元企業の活性化のみならず、人の流れを生み出す新たなプロジェクトや、市外に進学した若年者等の将来的な地元回帰への後押しとなる観点から、創業支援施策の現状を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年3月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村 広志	1 港湾振興 について	(1) 室の設置により、本市の港湾振興がさらに進むことが期待される。特に輸出戦略において、関係課も多くあり、明確な方向性やビジョンが示される必要があると思うが、考え方を示せ。	市 長
	2 農業振興 について	(1) (仮称) 農業サポートセンターが設置され、市内農業従事者のよりどころとして期待されるが、各種相談事をはじめ、生産者の所得向上や離農抑止、または新規就農者支援等、多岐にわたる課題の中で、積極的な営農指導による支援体制の構築を図る必要があると思うが、考え方を示せ。	市 長
	3 教育行政 について	(1) 市内各校には、学校運営協議会が設置され、各種取組や課題、または地域との連携の在り方等についても意見が交わされている。コロナ禍で、学校との連携も希薄になりつつあることが危惧される中、市当局が考える協議会の目指すべき目的や、あるべき姿について考え方を示せ。	市 長 教 育 長
	4 空き家対 策について	(1) 市内には多くの空き家が点在し、今も増え続けている。空き家バンクの活用も含め、移住・定住につながるような有効な施策の展開は考えられないか。	市 長
2 小野 広嗣	1 施政方針 について	(1) 自治体DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進について 自治体DXを踏まえ、デジタル技術等を活用して、市民の利便性の向上や業務の効率化を図るとあるが、自治体行政においては、「住民基本台帳」など20業務について、国が定めた仕様に基づくシステムの標準化に向けた作業が求められるなど、デジタル化は喫緊の課題である。本市の行政デジタル化推進に向けた取組状況と推進体制について問う。	市 長
		(2) 地域福祉・高齢者福祉の充実について 高齢者等を中心に食料品の購入や飲食に不便や苦勞を感じる方、いわゆる「買い物弱者等」が増えてきており、「食料品アクセス問題」として社会的な課題になっている。外出に困難を感じている高齢者等が、安全に安心して外出ができる体制づくりは喫緊の課題である。本市の認識と課題解決に向けた取組について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年3月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 小野広嗣	1 施政方針 について	(3) 自助共助による健康づくりの推進について 厚労省によると、うつ病を含む精神疾患の患者数は約 615 万人に上る。コロナ禍での不安や孤立・孤独などで心の不調を抱える人はさらに増加しているとみられる。そうした精神的な不調を抱える人々を支え、適切な支援が届けられる体制構築に向けた本市の取組について問う。	市 長
	2 児童虐待 について	(1) 2021 年度に県内の児童相談所と各市町村で把握した虐待の通告・相談は 3,792 件で、うち 2,423 件が虐待と認定され、過去最多となっている。全国で相次ぐ虐待事件を受け、住民の関心が高まり、通報などが増えていると考えられている。本市の児童虐待の現状と対応状況について問う。	市 長 教 育 長
	3 部活動の 地域移行に ついて	(1) 公立中学校の休日の部活動の「地域移行」が、2023 年度から段階的に始まる。政府は 25 年度までの 3 年間で「改革集中期間」と位置付けて移行を進めるとしているが、部活動のあり方を大きく転換するものであり、学校や移行先だけでなく、保護者や行政などの関係者が連携しながら丁寧に進める必要があると考えるが、本市の今後の方向性について問う。	教 育 長
3 永田 梓	1 環境行政 について	(1) 施政方針で、「市民のごみ出しの機会の充実を図るため、自治会回収日及び市営駐車場集合収集日以外にも資源ごみを出すことができる環境の整備に向けた検討を行う」とあるが、これまでの取組状況及び今後の具体的な検討内容を問う。	市 長
		(2) 資源ごみの売却収益は年間 2,000 万円近くに上るが、その収益金を活用して、本市で誕生した赤ちゃんや、希望する高齢者へ紙おむつの無料配布を検討できないか。	市 長
		(3) 小・中学生が入学時に購入した制服は、成長期にある中で次第に着用が難しくなり、新たに購入を検討しなければならない場合がある。卒業等などにより着用しなくなった制服の譲渡ができる場を、本市で提供する取組が検討できないか問う。	市 長 教 育 長
2 動物愛護 について	(1) 野良猫を捕獲し、不妊・去勢手術を行い、元の場所に戻す (TNR) 活動をされているボランティアの方から、「市からの助成は年間 5 匹分であり少ない」との声が上がっている。助成金額の増額と、限度額の撤廃はできないか問う。	市 長	

一 般 質 問 通 告 書

令和5年3月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 永田 梓	2 動物愛護について	(2) 犬・猫の多頭飼育崩壊が確認された際、市としてどのような対応・対策を行うのか問う。 (3) 本市は 1,578 頭の犬の登録があるが、市民とペットの憩いの場として、ドックランの設置を検討できないか問う。	市 長 市 長
	3 やっちくふるさと村（道の駅松山）について	(1) あと3年程度で指定管理期間が終了するが、今後は指定管理施設の分散や、一部をテナントとして他の事業者へ貸し出す等の検討ができないか問う。 (2) 今後の活用について、多目的広場にオートキャンプ場を整備するとともに、施設の一部をシェアキッチンとして開放する考えはないか問う。	市 長 市 長
4 稲付洋平	1 施政方針について	(1) 施政方針において、「市民が主体となったまちづくりを推進する」や、『『市民目線』の初心を忘れることなく」とあるが、市民の声をどのように反映させていく考えか問う。	市 長
	2 エネルギー施策について	(1) 近隣自治体では、水力発電、風力発電などの自然を生かした再生可能エネルギーの導入に取り組んでいるが、本市への導入計画はないか問う。	市 長
5 青山浩二	1 本庁舎移転計画について	(1) 今定例会で議案として上程されている民間ビル購入について、なぜ、事前に市民や議会に説明をし、意見を聞く機会を設けないまま提案に至ったのか問う。	市 長
		(2) 民間ビル購入の提案は、どのような会議を経て、いつの時点で決まったのか問う。	市 長
		(3) 庁舎等の在り方検討委員会からの提言をどのように受け止め、民間ビル購入の提案に至ったのか問う。	市 長
		(4) 今後の組織機構再編の考え方について問う。	市 長
		(5) 今定例会で議案として上程されている志布志市庁舎整備事業基金条例について、予定している積立額及び積立期間を示せ。また、当該基金の活用方法について問う。	市 長
6 隈元香穂子	1 産婦人科の誘致に向けた取組について	(1) 令和4年12月定例会において、産婦人科のオンライン診療相談及び対面診療について一般質問したが、現状では具体的な取組が示されていないように見受けられる。現在の進捗状況と今後の対応を問う。	市 長
	2 志布志港の利活用促進について	(1) 観光船バースでは、地域活性化につながるようなイベントの開催などみられないが、現状における利用の状況について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年3月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6 隈元香穂子	2 志布志港の利活用促進について	(2) 「港のあるまち・志布志」の特色を最大限に生かしたイベントの開催に取り組む考えはないか問う。	市 長
	3 子育て支援について	(1) 0歳児から2歳児までの保育施設利用者に対して、「手ぶら登園」を支援・導入する考えはないか。	市 長
7 八代 誠	1 港湾行政について	(1) 志布志港の現状について以下を問う。 ① 志布志港の輸出入について。 ② 港湾管理者である県が策定する志布志港港湾計画の改定の状況について。 (2) 「みなとオアシス」認定に向けた取組について問う。	市 長 市 長
	2 防災行政について	(1) 中山間地域に存在する県営シラス対策事業等で設置された排水施設の維持及び管理について問う。 (2) 本市単独補助事業である「宅地災害復旧作業支援事業補助金」及び「法面防災事業補助金」制度について問う。	市 長 市 長
8 小園義行	1 会計年度任用職員制度について	(1) 待遇改善について問う。 (2) 国の期間業務職員に支給されている勤勉手当を支給する考えはないか。	市 長 市 長
	2 住宅政策について	(1) 市営住宅の空き家政策の対応について、現状と今後の考え方を問う。 (2) 県営住宅退去時の個人負担に対して、県に見直しをするように要望する考えはないか。	市 長 市 長
	3 国保について	(1) 県国保財政安定化基金の運用について、その後の対応はどうなったのか。 (2) 子供の均等割額の独自軽減を図る考えはないか。	市 長 市 長
	4 教育行政について	(1) 施政方針で学校の在り方を考えていきたいと述べている考え方を問う。	市 長 教 育 長
	5 インボイス制度について	(1) 導入（開始）にあたって、水道事業会計、農業集落排水事業会計、学校給食の食材納入業者への影響と対応を問う。	市 長 教 育 長
	6 地域コミュニティについて	(1) 現在、自治会未加入の住民との合意形成の在り方について問う。	市 長 教 育 長
9 南 利尋	1 林道整備について	(1) 伐採作業が終了した林道で、施設の破損が多く見受けられる。徹底した維持管理を図るべきではないか問う。	市 長
	2 観光振興について	(1) ダグリ岬ベイサイド構想に対して、どのようなグランドデザインが策定されたのか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年3月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9南 利 尋	2 観光振興について	(2) ダグリ岬周辺を魅力ある観光地として整備するためにも、徹底した環境保全に取り組むべきではないか問う。 (3) 稼ぐ観光の一環として、道の駅整備事業に取り組むべきではないか問う。	市 長 市 長
	3 環境行政について	(1) SDGsの観点からも、埋立処分場の在り方を検討すべきではないか問う。 (2) 近隣自治体と連携を図り、新たなごみ処理の在り方に取り組むべきではないか問う。	市 長 市 長
10戸山晋司	1 創業支援について	(1) 新年度の創業支援施策について考え方を問う。	市 長
	2 学校でのマスク対応について	(1) 政府の新型コロナウイルス感染症対策本部の決定を踏まえて、マスク着用の考え方の見直しについて文部科学大臣から発言もあったが、新年度からの学校生活におけるマスク対応をどのように考えているか。	市 長 教 育 長
	3 子育て支援について	(1) 父親に対する乳幼児指導の実施状況を問う。	市 長
11小辻一海	1 権限移譲について	(1) 合併から現在までの本市における権限移譲の推移について問う。	市 長
		(2) 権限移譲を受けた事務内容とメリット、デメリットについて問う。	市 長
		(3) 移譲事務の増加に対する職員体制と専門的な技術研修等の人材育成について問う。	市 長
	2 税の滞納対策について	(4) 農地転用許可等に関する事務の権限移譲について問う。	市 長 農 業 委 員 会 会 長
		(5) 浄化槽設置等の届出受理・維持管理指導に関する事務の権限移譲について問う。	市 長
		(6) 権限移譲を受けるにあたっての財源措置について問う。	市 長
	3 学校給食センターについて	(1) 令和3年度決算において、市税が減収になっている。具体的な状況を示せ。 (2) 滞納状況の分析と滞納縮減への取組について問う。 (3) 税・使用料等の滞納を一括して管理する部署を設置して、財政健全化を図る考えはないか。	市 長 市 長 教 育 長
		(1) 学校給食センターを8月から民間業者へ委託していくがその理由を示せ。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年3月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
11小辻一海	3 学校給食センターについて	(2) 民間委託となった場合、現在働いている会計年度任用職員の雇用条件、賃金や勤務日数等の処遇について問う。	教 育 長
		(3) 食材の購入にあたり、地元の生産者や納入業者との連携について問う。	教 育 長
		(4) 給食の献立作成、食に関する指導について問う。	教 育 長
		(5) 民間委託にあたっての保護者説明について問う。	教 育 長
12福重彰史	1 道路行政について	(1) 県道柿ノ木・志布志線弓場ヶ尾地区の拡幅改良の計画と見通しを示せ。 (2) 県に具体的にはどのような要望・要請を行っているのか示せ。	市 長 市 長
	2 中学校自転車購入について	(1) 自転車通学生の現状と助成（補助）要件を示せ。 (2) 対象者全員を自転車購入の助成（補助）対象にする考えはないか。	教 育 長 市 長 教 育 長
	3 サツマイモ基腐病対策について	(1) 昨年の基腐病の発生状況と、市として行ったまん延防止策を示せ。	市 長
		(2) 今年のまん延防止対策を示せ。 (3) 土作りのため、堆肥センター（仮称）の設置を検討する考えはないか。	市 長 市 長
4 有害鳥獣対策について	(1) 被害状況と、どのような対策が取られているか。また、報償金の交付（給付）はどうか示せ。	市 長	
	(2) 個体数を減らすため報償金の見直しをする考えはないか。	市 長	
13鶴迫京子	1 施政方針について	(1) 「市民のごみ出しの機会の充実を図るため、自治会回収日及び市営駐車場集合収集日以外にも資源ごみを出すことができる環境の整備に向けた検討を行う」とあるが、どのように進めていく考えか。 (2) 「家庭ごみの分別に支障を来している高齢者、心身障がい者等の負担軽減を図るため、専用袋により排出することができる仕組みを構築し、安心してごみ出しができる環境づくりに努める」とあるが、具体的な方策について問う。 (3) 「特別支援学校の誘致については、県の動向を注視し、関係機関と連携を図り、特別支援教育の充実に向けて取り組む」とあるが、今後どのように進めていく考えか。	市 長 市 長 市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年3月定例会 (No.7)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
13鶴迫京子	2 環境行政 について	(1) 高下谷親水公園のトイレや周辺の環境整備について、昨年6月定例会で一般質問したが、その後の検討結果を問う。 (2) 良好な生活環境を保全し、市民の安全安心な住環境を守るために、空き家等市内の土地や建築物が適切に利用・管理されるように、条例を定める考えはないか。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 栴山晋司	1 人口減少について	(1) 若い世代の人口減が顕著な本市では、今後どのような問題が起こると予想されているかを問う。 (2) 若い世代の定住と、流入人口増加を目指して、市営住宅の入居要件を緩和する考えはないかを問う。	市 長 市 長
	2 ダグリ岬ベイサイドパーク構想について	(1) ダグリ岬ベイサイドパーク構想について、ユニバーサルデザインを考慮した設備やブルーフラッグ(海辺の国際環境)認証基準を意識した考えがあるのかを問う。	市 長
	3 子育て支援について	(1) 児童館を設置する考えがあるのかを問う。	市 長 教 育 長
2 稲付洋平	1 市内の公園について	(1) 公園の在り方について以下を問う。 ① 公園遊具の一部を撤去した理由について問う。 ② 公園遊具を増設する考えはないか。 ③ 公有財産を活用し民間企業と連携できないか。	市 長 教 育 長
	2 移動手段の確保について	(1) 電動カート購入補助金を新設できないか問う。	市 長
	3 教育行政について	(1) 教育現場の現状について以下を問う。 ① 学力の現状と向上に向けた取組について。 ② 豊かな人間性を育む取組について。 ③ 健康・体力向上に向けた取組について。	市 長 教 育 長
3 隈元香穂子	1 子育て支援について	(1) 子育て支援について、県内他自治体と比較した場合、本市の状況をどのように捉えているか。 (2) 新たな取組としての子育て支援策はあるのか。 (3) 小児医療の充実について、今後どのように取り組んでいくのか。	市 長 市 長 市 長
	2 特認校問題について	(1) スクールタクシーの廃止に伴い、地域コミュニティへの影響等についての考えを問う。	市 長 教 育 長
	3 チョイソコしぶしについて	(1) 本格運行を開始したことで、予約が取れないという声を聞くが、現在の2台体制から3台へ増やす考えはないか。 (2) 本格運行して以降、改善点は見えてきたか。また、それについての今後の取組について問う。 (3) 高齢者運転免許自主返納支援事業の特典として、チョイソコしぶしの利用券を加えることについて以前質問したが、進捗を問う。	市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 隈元香穂子	4 志布志市 臨海工業団 地整備事業 について	(1) 志布志市臨海工業団地（5工区）は、令和4年2月に立地基本協定を締結したが、現在の進捗状況を示せ。	市 長
4 西江園 明	1 子育て支 援について	(1) 市長会等を通じ、現行のふるさと納税制度の永久継続を国へ要望する考えはないか。 (2) ふるさと納税の活用策が市民に見える形の一環として、学校給食費を完全無料化する考えはないか。 (3) 保育園や認定こども園の利用定員の考え方について問う。 (4) 現在、保育士の給与の一部が補助されている国の事業は、永続的な施策か。 (5) 食材費等の価格高騰により、保育園や認定こども園の経営を圧迫している状況である。各施設へ補助すべきではないか。	市 長 市 長 教 育 長 市 長 市 長
	2 種子島航 路の新設に ついて	(1) 馬毛島の開発により、今後、物資・人の交流が大幅に増加することが期待される。志布志港との間を結ぶ航路の開設を急ぐべきと思うが、見解を問う。	市 長
5 小野広嗣	1 自治会組 織の在り方 について	(1) 自治会は地域に住む人々が互いに支え合う自主的な組織として、ごみや資源回収など、生活環境の整備や福祉の向上、防犯、防災など重要な役割を担っているが、高齢化や未加入世帯の増加などにより、その維持に困難を来している自治会もある。本市の現状認識と課題解消に向けた取組について問う。	市 長
	2 災害時の 業務継続性 確保のため の施策につ いて	(1) 近年、気候変動による災害の激甚化や頻発化に対して、人の生命を守るための対策強化が必要であり、災害時の業務継続性の確保は極めて重要であるが、本市の認識と取組の現状について問う。	市 長
	3 熱中症対 策の推進に ついて	(1) 気候変動の影響により、国内の熱中症による死者数は増加傾向が続いており、近年では年間千人を超える年が頻発している。今後起こり得る極端な高温も見据えて、熱中症の発生の予防を強化するための取組を一層強化することが必要ではないか。 (2) 学校における、子供の熱中症を防ぐための対策も、大変に重要である。熱中症対策の取組状況について問う。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 小野広嗣	4 不登校児童・生徒への支援について	(1) 文部科学省は令和5年3月31日に、誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現していこうと「COCOROプラン」を発表した。不登校の児童・生徒は、一人一人の状況が大きく異なるため、丁寧な指導を行うために、多様な学びの場の確保や、指導体制を整備することが必要である。本市の不登校児童・生徒支援の取組について問う。	教 育 長
6 野村広志	1 行政のデジタル化による将来展望について	(1) 総務省が示した自治体戦略2040構想にもあるように、人口減少や少子高齢化、環境問題やジェンダレス等、本市も抱える課題は多岐にわたる。多様化する市民ニーズに対応するため、どのように具体的将来像を描きながら、市民に寄り添った市政運営を行っていく考えなのか。 ① 行政手続きのオンライン化と新しい窓口の在り方について。 ② デジタル化に不慣れな方々を対象とした格差解消の取組について。 ③ コネクテッドカー（ICT端末としての機能を有する自動車）の早期導入による、誰一人取り残さない行政サービスの在り方について。 ④ フリーオフィス化の実現に向けた執務環境の在り方について。 ⑤ テレワークの推進による多様な働き方について。 ⑥ 示された組織機構再編計画は、行政のデジタル化を念頭に置いた、持続可能な再編計画になっているのか。	市 長
7 永田 梓	1 ダグリ岬の活用について	(1) ダグリ岬ベイサイドパークの計画が第二次観光振興計画で示されているが、今後この計画を進めていく上で、市は環境配慮についてどのように考えているのかを問う。 ① 国定公園での禁止行為等を明示した看板の設置はできないかを問う。 (2) 近年、ダグリ岬にも一般の方が運転する水上バイクが見られるようになったが、現在、水上バイクを含め、様々な危険行為や違反行為を規制する条例がない。ダグリ岬海水浴場の安全かつ円滑な運営のために、早急な条例等の整備が必要と思うが、市長の考えを問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7 永田 梓	1 ダグリ岬の活用について	(3) 津波が発生した際、一人でも多くの命を守るため、海水浴場からの避難訓練が必要と考える。過去に避難訓練を行った事は無いと認識しているが、その理由を示せ。 ① 災害が発生した場合、海水浴場周辺にいる方への避難をどのように呼びかけるのかを問う。 ② 打出ヶ浜は全長約700mあるが、砂浜の出入口は海水浴場側のみである。このため、串間市側の砂浜からは緊急時の垂直避難ができないことから、階段等を設置する考えはないかを問う。	市 長
	2 防犯対策について	(1) 観光や仕事で志布志市を訪れる方が増える中、様々な犯罪が発生するおそれがある。特に公共施設等のトイレでは、小さい子供が被害に遭う可能性があることから、防犯カメラの設置を検討できないか。 (2) 不法投棄の多い場所について、一時的にでも防犯カメラを設置することはできないか。 (3) 市内小中学校への防犯カメラ設置について、どのように考えているか。	市 長 市 長 教 育 長
8 八代 誠	1 有害鳥獣対策について	(1) 今定例会の補正予算において提案されている有害鳥獣捕獲事業について問う。 (2) イノシシによる掘り返しで、ほ場の法面や農道の崩壊があり、市民からの相談が寄せられている。崩壊箇所の復旧に対する支援（市単独事業による整備）はできないか。	市 長 市 長
	2 道路行政について	(1) 市道、農道の区画線の現状と対応について問う。	市 長
9 南 利 尋	1 有害鳥獣捕獲事業について	(1) 昨今、中山間地域では昼夜問わずイノシシ等を見かけるようになった。明らかに個体数が増え、被害数が多発している。予算の拡充を図り、捕獲事業に取り組むべきではないかを問う。 (2) ジビエを、ふるさと納税の返礼品などの特産物として、加工、販売事業に取り組む考えはないかを問う。	市 長 市 長
	2 鳥獣害対策について	(1) 家畜農家から、カラス被害の相談が数件あった。現状を把握し、生産者とともに駆除対策に取り組むべきではないか。	市 長
	3 観光振興について	(1) 第2次志布志市観光振興計画の基本方針に「稼ぐ観光地経営を目指す」とあるが、「歴史のまちづくり事業」に対しての費用対効果及び経済波及効果をどのように捉えているか問う。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9南 利 尋	3 観光振興について	(2) 「稼ぐ観光地経営」を実現させるためにも、経済活動拠点整備事業にスピード感をもって取り組むべきではないか問う。 (3) ダグリ岬ベイサイド構想の進捗状況について問う。 (4) どのような、グランドデザインが策定されているのか問う。	市 長 市 長 市 長
	4 環境行政について	(1) 昨今、以前より多くの箇所で不法投棄を見かける。本市独自の厳しい罰則を設けるべきではないか問う。 (2) 本市を訪れる方が不快な思いをしないためにも、観光拠点に「護美箱」を設置する考えはないか問う。	市 長 市 長
10市ヶ谷 孝	1 本庁舎移転計画について	(1) 今定例会で補正予算として議案上程されている民間ビル購入について、前回定例会での減額修正後、再上程するにいたった経緯について問う。 (2) 本庁機能を志布志庁舎に移転して以降、周辺民間施設の活用についてどのような取組をしてきたのか問う。 (3) 今回購入を想定している民間ビルの購入意図と活用方法について問う。	市 長 市 長 市 長
11東 宏 二	1 道路行政について	(1) 市道、県道、国道の維持管理状況、特に除草作業の現状と対策について問う。	市 長
	2 指定管理について	(1) ボルベリアダグリ、道の駅松山「やっちくふるさと村」の運営状況と、今後の指定管理委託事業の考え方について問う。	市 長
	3 枇榔島の栈橋について	(1) 枇榔島の栈橋設置について、本市としての今後の考え方を示せ。	市 長
12鶴迫京子	1 交通安全対策について	(1) 市民から信号機設置の必要性や、停止線・外側線・横断歩道など白線が消えている箇所が市内いたるところで見受けられ、危険であるとの相談が寄せられている。現状認識と今後の対策について問う。 (2) 歩道横の雑木が生い茂り、頭上危険な状況下で通学している児童・生徒の保護者から不安の声が寄せられている。現状認識と今後の対応について問う。	市 長 市 長 教 育 長
13小園義行	1 個人情報保護の在り方について	(1) 自衛隊員の募集について、情報提供の在り方を問う。 (2) 学校において、どのように対応しているか。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
13小園義行	2 福祉行政 について	(1) 加齢による聴力のおとろえを感じる住民が補聴器の購入を希望する際、補助金を支給する考えはないか。	市 長
	3 環境行政 について	(1) 校区公民館活動から地域コミュニティ協議会へ移行する事で自治会未加入の住民のごみ出しについてどのように考えるか。	市 長 教 育 長
	4 服務管理 について	(1) 会計年度任用職員だけで仕事をしている職場について日々の管理の在り方を問う。 (2) 給食センターの民間委託が行われるが、会計年度任用職員の年休取得等対応を問う。	市 長 教 育 長 教 育 長
	5 行政のデジタル化について	(1) 進めるにあたっては、現在本市が抱えている課題をよく把握した上で取り組む必要があると考える。国の重点計画が示している事をどのように受けとめて進めていく考えか。 (2) 改正マイナンバー法が成立した。戸籍への「氏名の振り仮名」を追加する戸籍法の改正が盛り込まれている。どのように考えるか。 (3) マイナ保険証について考え方を問う。	市 長 教 育 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年9月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野広嗣	1 人生100年時代を見据えた施策について	(1) 人生100年時代には、働き方や教育の在り方など、ライフスタイルのあらゆる面に革命的变化が起きると言われている。今後は、超高齢化社会に対応するための、さまざまな支援策が求められるが、本市の認識について問う。	市 長 教 育 長
	2 災害ケースマネジメントについて	(1) 5月30日、政府の中央防災会議が開かれ、被災者一人ひとりの事情に応じて支援を行う「災害ケースマネジメント」の取組などを盛り込んだ国の防災基本計画の修正案が決定され、今後、全国の自治体に整備を促していく方向性が示されたが、本市の認識を問う。	市 長
	3 地球温暖化対策の実施計画推進について	(1) 本市では、地球温暖化対策の推進を図ることを目的として、「志布志市地球温暖化対策実行計画」を令和5年3月に策定し、計画を実のあるものにするためには、市民、事業者、行政が一体となって全力で取り組むことが必要であるとしているが、実行計画推進の取組の現状について問う。	市 長
	4 GIGAスクールの課題と対策について	(1) 「GIGAスクール構想」によって整備された一人一台端末環境は、令和の教育改革の柱である「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に必要不可欠なツールであるが、全国的に学校間の利用格差をはじめ様々な課題が指摘されており、改善に向けた対策が急務となっている。本市の現状について問う。	教 育 長
2 稲付洋平	1 物価高騰について	(1) 物価高騰に対する全市民への支援策として、割増率の高いプレミアム商品券を発行する考えはないか問う。	市 長
	2 子育て支援について	(1) 本市の子育て支援策として、副教材の購入を支援する考えはないか問う。	市 長 教 育 長
3 野村広志	1 畜産振興について	(1) 子牛平均価格が10年ぶりに50万円を切った。畜産農家は悲鳴を上げている現状を鑑み、本市の畜産振興の将来展望は描けるのか。	市 長
	2 中心市街地の活性化について	(1) 令和5年6月定例会において取得する事が決まった民間用地について、しかるべき調査後に、民間による活用策は考えられないか。 (2) 駐車場の一部有料化の考え方について。 (3) 近隣残地の取得の考え方について。	市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年9月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 野村広志	3 市民の憩いの場の提供について	(1) コロナ禍を経て、疲弊した市民コミュニティにとって、安心して集い憩える「場」の提供は必要ではないかと感じる。市民広場のような施設整備は考えられないか。 (2) 市立図書館にカフェ等を併設し、憩いと安らぎの場として活用する考えはないか。	市長 教育長 市長 教育長
	4 本庁舎5階と文化会館をつなぐ連絡橋の整備について	(1) 本庁舎5階と文化会館を連絡橋でつなぎ、一体的な庁舎機能としての活用は考えられないか。 (2) 連絡橋が実現する事により、総体的な活用法として、どのような可能性があると考えられるか。	市長 教育長 市長
4 栢山晋司	1 開業支援事業について	(1) 創業支援事業制度から、開業支援事業制度に変更となったが、現状を問う。	市長
	2 パートナーシップ宣誓制度について	(1) パートナーシップ宣誓制度への取組状況について問う。	市長
5 小辻一海	1 鉄道記念公園（S L・車掌車・ディーゼル車）の整備について	(1) 鉄道記念公園の整備とS Lを含む3車両を市が取得した経緯について問う。 (2) 鉄道文化遺産を活用したまちづくりと、次世代を担う子供の教育のための必要性について問う。 (3) 管理保存の現状と今後の対応について問う。 (4) 観光資源としての活用について問う。	市長 市長 教育長 市長 市長
	2 環境行政について	(1) 特定外来生物毒グモ「ハイイロゴケグモ」の生息状況把握について問う。 (2) 特定外来生物を発見した場合の対応について問う。 (3) 最初の発見から現在までの取組と今後の駆除対策について問う。	市長 教育長 市長 教育長 市長
	3 道路行政について	(1) 県道110号塗木大隅線改良工事の進捗状況と見通しについて問う。 (2) 国道220号線沿い上天神三叉路付近の歩道整備及び信号機設置の進捗状況と見通しについて問う。	市長 市長
6 玉垣大二郎	1 市民福祉行政について	(1) 市営墓地の現状について問う。 (2) 人生の終末期をよりよく生きる施策について問う。 (3) 市営墓地に合葬墓を建設する考えはないか。	市長 市長 市長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年9月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6 玉垣大二郎	2 放置竹林対策について	(1) 前回(令和4年9月定例会)の質問から本事業に対する取り組み状況について問う。	市 長
7 永田 梓	1 みどりの食料システム戦略について	(1) 市は国が定めている「みどりの食料システム法」をどのように受け止め、今後どのように取り組みを行う予定か問う。	市 長
		(2) 無農薬・有機農業への転換を希望する個人農家に対して、市によるサポート事業を創設できないか問う。	市 長
		(3) 農林水産省が推進している有機農業に地域ぐるみで取り組む産地(オーガニックビレッジ)として本市が宣言し、積極的に取り組んでいく考えはないか問う。	市 長
		(4) 化学肥料や農薬を原則、使用せず栽培された農産物である「オーガニック給食」の推進に取り組む考えはないか問う。	市 長 教 育 長
	2 母子手帳交付事業について	(1) 病院で妊娠が確認された後に、市に母子手帳の交付を申請することになるが、その際志布志市では必要以上の情報を記入するよう見受けられる。デリケートな内容になることから、最低限の情報のみでの発行はできないのか問う。	市 長
8 南 利 尋	1 地域振興について	(1) 各地域で地域コミュニティ協議会が設立された。協議会では地域活性化を図るため、新たな事業に取り組んでいる。行政としても、新規支援体制を構築すべきではないか。	市 長
	2 有害鳥獣捕獲事業について	(1) イノシシの個体数が増加している現状で、猟友会の高齢化が懸念される。新規会員増加に向けた取組について問う。	市 長
	3 観光振興について	(1) 他自治体の歴史のまちづくり事業では、立地条件の良い場所に、飲食店や休憩所が整備されている。本市も同様の整備について、取り組むべきではないか問う。	市 長 教 育 長
(2) ダグリ岬周辺の定期的な環境保全に取り組むべきではないか問う。		市 長	
(3) ダグリ岬ベイサイド構想に対して、問い合わせのある企業との進捗状況について問う。		市 長	
(4) 前回(令和5年6月定例会)、夏井漁港はダグリ岬ベイサイド構想には含まれないとの答弁があった。直営の海づり公園を整備し、夏井漁港の活性化を図るべきではないか問う。		市 長	

一 般 質 問 通 告 書

令和5年9月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8南 利 尋	4 新しいまちづくりについて	(1) JR志布志駅を中心とした、新たなまちづくりについての進捗状況を問う。	市 長
		(2) 現状と市民の意見や要望をしっかりと把握して、整備事業に取り組むべきではないか問う。	市 長
9小園義行	1 個人情報保護について	(1) 現在マイナンバーカードをめぐるトラブルについて、個人情報が漏えいしている現状がある。個人情報保護について、基本的な考え方を問う。	市 長
		(2) 自衛隊へ名簿情報を紙媒体で提供している。このことを個人情報保護の視点からどのように考えるか。	市 長
	2 国保について	(1) 課税限度額の引上げを毎年提案されているが、法律に基づいて考えると本市が直接判断できると考えるがどうか。	市 長
		(2) 令和6年度の県への納付金額の仮算定が示される時期である。県の基金の使い方を令和6年度も可能とするように県に要請する考えはないか。	市 長
	3 森林環境税について	(1) 令和6年度から課税される事になっている。森林環境譲与税は「森林整備及びその促進に関する費用に充てる」とされている。本市の状況を問う。	市 長
	4 福祉行政について	(1) 児童扶養手当の支給の在り方で扶養義務者の取り扱いを国が6点示している。すべての要件を満たさなければ支給を受けられないのか。	市 長
5 インボイスについて	(1) 令和5年10月実施に向けて、国は動いている。実施されると免税事業者の方々、また課税事業者の方々も事務量大変になる。どのように対応しているのか。	市 長	
6 マイナ保険証について	(1) 全国で起きているトラブルの現状をどのように受け止めているか。	市 長	
10隈元香穂子	1 老老介護・認知介護について	(1) 本市における「老老介護・認知介護」の状況把握はできているか問う。	市 長
		(2) 2025年には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になることで、在宅介護が増えるなどの問題の発生が予想される。現状における本市の対応策について問う。	市 長
		(3) 本市では、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指して「オレンジほっとカフェ(認知症カフェ)」が設置されているが、市との連携については、どのような状況になっているか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年9月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10隈元香穂子	1 老老介護・認認介護について	(4) 在宅介護講座や初任者研修講座など、本市の主導で開講する予定はないか問う。	市 長
	2 ひとり親世帯について	(1) 生活が困窮している世帯を把握しているか問う。 (2) ひとり親世帯の見守りなどの活動に取り組んできた志布志市母子寡婦福祉連絡協議会について、令和5年3月に解散したようであるが、本市として同様のサポート体制を構築する考えはないか問う。	市 長 市 長
	3 JR日南線の存続について	(1) 鉄道のある自治体を対象としたマスコミによる首長アンケートの調査結果が公表されている。その中で、赤字路線については「どちらかといえば廃線とするべき」と回答した市長の考えについて問う。 (2) JR日南線存続に向け、利用促進事業補助金の周知や「ぽっぽマルシェ」との連携・活用など、積極的な取組がなされているか。 (3) 今後の展開を、市としてはどのように描いているか。	市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年12月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 コミュニティ協議会の在り方について	(1) 年次的に校区公民館からコミュニティ協議会への移行が進み、来年度からいよいよ市内全地区でコミュニティ協議会がスタートする。しかしながら、各地区では、まだ様々な課題や懸念事項があると聞いている。今後の方向性を示しながら事業の推進を図るべきではないか。	市 長 教 育 長
	2 港湾行政について	(1) 市が取り組む港湾のにぎわいづくりとは、具体的にどのようなことを想定しているか。 (2) 港湾におけるにぎわいづくりの一環として、海釣り公園等を整備する考えはないか。 (3) 「みなとまち」としてのブランド化を図るために、都市公園法に基づく公募設置管理制度 (Park-PFI) を活用した民間資金によるにぎわいの創出は考えられないか。 (4) これまでの一般質問においても、みなとオアシスの考え方が示されているが、現在の具体的な進捗について示せ。	市 長 市 長 市 長 市 長
2 小野広嗣	1 職員の意識改革と人材育成について	(1) 今後ますます多様化する市民の行政ニーズや複雑化する課題に対応し、的確な行政サービスを提供していくためには、より一層幅広い知識と能力の深化が求められており、職員の意識改革と人材育成は急務である。多様化する社会の変化を踏まえた本市の認識について問う。 (2) 市民から信頼される職員・市役所を目指すには、地方公務員法第30条に、「すべて職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、且つ、職務の遂行に当たっては、全力を挙げてこれに専念しなければならない」とあるように、全ての職員が服務規定に則り「公務員倫理」と「法令遵守」に対し、共通の認識を持って行動することが大事であると考えているが、本市の認識について問う。	市 長 市 長
	2 デジタル化の推進と課題について	(1) 本市は各地域コミュニティ協議会と、協働によるまちづくりパートナーシップ協定を締結しており、双方が持つ特性を理解して認め合うとともに、さらなる地域自治と協働によるまちづくりを推進することを目的としているが、今後、地域コミュニティにおけるデジタル活用については、どのように推進していくのか問う。 (2) 本市の市民がデジタル化の恩恵を享受できる地域社会の実現のためには、デジタル化の恩恵を受けることに障壁や制約がある方に対する配慮・支援が必要である。本市のデジタル・デバイド解消に対する認識と取組について問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年12月定例会(No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 小野 広嗣	3 教員の働き方改革について	(1) 文科省が6年ぶりに行った2022年度の教員勤務実態調査の結果では、改善した面があるものの、いまだ教員の長時間労働が続いている状況が浮き彫りになっている。常態化している教員の長時間労働の是正に向け、8月末には、教員確保策を議論する中央教育審議会の特別部会が、教員の働き方改革に関する緊急提言を文科相に提出している。本市の教員の働き方改革の現状について問う。	市 長 教 育 長
3 持留 忠義	1 農業振興について	(1) 農地バンクが遊休農地を積極的に借り受け、簡易な整備を行ったうえで、担い手に対し農地の集積・集約化を支援する遊休農地解消緊急対策事業について、今後本市でも活用する考えはないか。 (2) よみがえる農地復元対策事業は、農業者の高齢化や減少に伴う耕作放棄地の拡大に歯止めをかけるとともに、認定農業者及び担い手農家の育成のため農地を確保することを目的とする事業であったが、今後改めて取り組む考えはないか。	市 長 市 長 農 業 委 員 会 長
	2 畜産振興について	(1) 国による和子牛生産者臨時経営支援事業は、肉用子牛価格の急激な下落により厳しい経営状況にある生産農家の支援を行い、生産基盤の維持を図ることを目的としているが、現場の生産者の疲弊は長期にわたっていることから、さらなる支援の拡充や見直しに向けて、本市として声を上げることはできないか。 (2) 令和4年第4回定例会において、配合飼料価格の高騰が続いていることに対する対応策を質問したが、現状について問う。	市 長 市 長
	3 茶業振興について	(1) 令和4年第4回定例会において、茶の年間平均価格が低迷している中で価格補填に取り組む考えはないかと質問したが、現状について問う。 (2) 肥料価格の高騰が生産農家の経営を圧迫しているが、本市としての見解と、今後の具体的な対応策を問う。	市 長 市 長
4 南 利 尋	1 各種学校の設立について	(1) 志布志港の整備やインフラ整備が進む一方で、人口減少が進み、労働力不足が深刻な状況にある。日本語学校などの設立を検討すべきではないか問う。 (2) まちの活性化を図るためにも、グローバルな交流人口、関係人口の増加につながる施策を検討すべきではないか問う。	市 長 市 長
	2 スポーツ振興について	(1) トップアスリートを目指す子供たちに対して、本市独自の支援事業に取り組む考えはないか問う。	市 長 教 育 長
	3 観光振興について	(1) 過去の一般質問においても、道の駅整備は必要だという旨の答弁があったが、取組状況を問う。 (2) ダグリ岬ベイサイド構想の進捗状況について問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年12月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 南 利 尋	3 観光振興 について	(3) 魅力あるダグリ岬ベイサイド構想を実現するためにも、国道沿いにある廃墟の購入・解体を検討すべきではないか問う。	市 長
		(4) 国道沿いの景観保全について問う。	市 長
5 青 山 浩 二	1 安全・安 心なまちづ くりについ て	(1) 現在、市内全域の公共施設において、AEDは何台設置されているのか。また、直近3年程度で、具体的な使用例があったのか問う。	市 長 教 育 長
		(2) 民間施設において、AEDの設置状況について把握しているのか問う。	市 長
		(3) AEDを設置している民間施設及び公共施設を一覧表にして、AED設置マップを作成し、市民に周知するというような官民連携した取組をしてみてもどうか問う。	市 長
		(4) AEDを設置する民間施設に市独自の補助金制度を創設する考えはないか問う。	市 長
	2 組織機構 再編計画に ついて	(5) 市の様々なイベント時におけるAEDの設置状況について問う。	市 長
		(1) 今回提案されている課設置条例の一部改正について、令和6年4月予定の再編計画に対する、市長の考え、思いを示せ。また、将来に向けて、組織とはどのような姿が理想だと思っているのか示せ。	市 長
		(2) 令和6年4月予定の再編計画の具体的な内容について問う。	市 長 教 育 長
	3 土地購入 (ひばりビ ル購入) 事 業について	(3) 令和7年度以降の再編計画の具体的な内容について問う。	市 長
		(1) 本年6月定例会で購入が決定した民間ビルについて、利活用の協議の進捗状況について問う。	市 長
6 戸 山 晋 司	1 体育館へ のエアコン の設置につ いて	(1) 志布志運動公園体育館の利用促進を図るとともに、熱中症予防、災害時への備えとして、体育館へエアコンを設置する考えがないかを問う。	市 長 教 育 長
	2 オーガニ ックビレッ ジ宣言につ いて	(1) 農林水産省では、みどりの食料システム戦略を踏まえ、有機農業に地域ぐるみで取り組む産地（オーガニックビレッジ）の創出に取り組む市町村の支援を行っているが、オーガニックビレッジ宣言を行う考えはないかを問う。	市 長
	3 本市独自 の就業支援 制度につい て	(1) 近年大きな課題となっている、働き手の人材不足問題や人口流出の対策として、また移住・定住促進へとつながる可能性を考え、市内事業所へ新規就業した方に向けて、本市独自の就業支援制度を設ける考えはないかを問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年12月定例会(No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7丸山 一	1 急傾斜工 事の対策に ついて	(1) 一丁田・通山・下通山・押切東地区にある急傾斜地について、数十年前の対策工事以降、現場には雑木・竹等が繁茂し、民有地への倒れ込みや急傾斜避難階段への通路をふさいでいる状況である。近隣住民の不安解消のためにも、今後何らかの対策を講じるべきと考えるが、市長の考えを問う。	市 長
	2 道路行政 について	(1) 人口減少・高齢化により、自治会による市道等道路愛護清掃伐採作業が困難になっている。今後の対応策について問う。	市 長
	3 有害鳥獣 対策につい て	(1) 近年イノシシ、アナグマ等が増加し、農地や家庭菜園が荒らされる状況である。今後の対応策について問う。	市 長
8市ヶ谷孝	1 組織再編 について	(1) 自治体運営を最大限に効率化する目的で、課の統廃合や細分化を推し進める際の、市長の考え方について問う。 (2) 今定例会で提案されている「課設置条例の一部を改正する条例の制定について」が、どのような経緯で議案上程に至ったのか問う。	市 長 市 長
	2 高齢者福 祉について	(1) 令和4年6月定例会の一般質問で答弁があった「食の自立支援事業」「配食支援事業」の方向性について、その後どのような協議の進捗があったか問う。	市 長
9鶴迫京子	1 子育て応 援施策につ いて	(1) 兵庫県相生市の子育て応援施策事業「11の鍵」では、支援の内容が一目瞭然で非常に分かりやすいパンフレットが作成され、市内外に向けた周知・広報に大いに寄与している。本市でも、充実した子育て支援施策が展開されていることから、同様の取組ができないか問う。 (2) 同市では、市民が地域全体で子育てを支えるまちを目指して平成23年に「子育て応援都市宣言」を行っている。子供は次代を担うかけがえのない存在であることは共通の認識であることを踏まえ、本市でも同様の宣言ができないか問う。 (3) 「11の鍵」のひとつに、子育て応援チケットの交付事業がある。これは、子供の誕生から3歳になるまで利用できる子育て応援券(20,000円分)をプレゼントするものであるが、本市でも考えられないか。	市 長 市 長 市 長
	2 年間行事 の時期の見 直しについ て	(1) 市や学校、団体等の年間行事が、2学期に集中し、行事が重なっていると感じる。行事の内容や開催時期を精査し、見直す考えはないか。	市 長 教 育 長
10小園 義行	1 組織機構 再編計画に ついて	(1) 組織の再編を進め、職員間の連携強化を図るとともに、グループ制を導入することになった。目的と経過を問う。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年12月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10小園義行	2 教育行政について	(1) 教育行政要覧で重点政策を示している。その中で豊かな心の育成として6点、述べている。教育委員会と学校との在り方等を問う。 (2) 特別支援教育について、特別支援学級に入級している児童・生徒を同学年とカウントしていない現状をどのように考えるか。 (3) 特別支援学校の設置に向けて、県と関係市町との協議について問う。 (4) 給食費の無償化に向けて、具体的な議論がなされているか。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	3 福祉行政について	(1) 障害者差別解消法が、2024年4月から民間事業者にも対応を求められている。本市の対応を問う。	市 長 教 育 長
11福重彰史	1 道路行政について	(1) 県道柿ノ木志布志線弓場ヶ尾地区の現状と拡幅改良計画の見通しを示せ。 (2) 前回の質問に対する市長の答弁から何か前進があったのか。 (3) 具体的にどのような行動を起こされたのか。 (4) 今後の対策について問う。	市 長 市 長 市 長 市 長
	2 有害鳥獣被害対策について	(1) 被害状況ならびに捕獲状況を問う。 (2) 捕獲対策の継続ならびに新たな対策、さらには猟友会や狩猟者に対する支援の拡充の考えはないか。 (3) 将来を見据えた猟友会の一本化に向けた取組は考えていないか。	市 長 市 長 市 長
	3 道の駅やちちくふるさと村について	(1) 現在の運営状況について示せ。 (2) 今後の経営方針と広場の維持管理・活用について問う。 (3) 所管の在り方を含め、全体的な構想をもう一度考えるべきでないか問う。	市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年3月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 西江園明	1 まちづくりについて	<p>(1) 港湾や道路網の整備など、市内での大規模なプロジェクトが着々と進む中で、今後のまちづくりの考え方を問う。</p> <p>(2) 自然災害を含め、あらゆる事態に対応するために、町原地区付近などへ広場（公園）を整備すべきではないか。</p> <p>(3) 移住・定住対策の現状と今後の方向性を問う。</p>	市 長 市 長 市 長 教 育 長
	2 介護保険制度について	<p>(1) 本市における介護保険行政の在り方について問う。</p> <p>(2) 本市では、入院中の方が介護保険制度を利用して住宅改修を行う場合、申請が可能となるのは退院後である。このため、完成までの間、対応に苦慮されている状況にあることから、他自治体のように、入院中でも申請できるような仕組みにすべきではないか。</p>	市 長 市 長
2 小野広嗣	1 施政方針について	<p>(1) 移住定住・交流の促進について 移住交流支援センター「エスプラネード」で移住に関する相談や支援をサポートし、情報発信の充実等を図るとともに定住支援事業の創設、空き家バンクの登録促進事業の創設が掲げられているが、本市のこれまでの移住定住・交流施策の成果と課題について問う。</p> <p>(2) 安心安全な住環境の確保を図る空き家対策について 全国で空き家の増加が社会問題化して久しい。中でも、老朽化が進んでいる家は倒壊の危険性などが懸念され、対策は喫緊の課題である。本市も管理不全な空き家の所有者及び管理者に対して、空家特措法の一部改正に基づき対応するとともに、引き続き危険廃屋の解体及び撤去に係る費用の補助を行い、市民の安心安全な住環境の確保を図っているが、空き家対策の取組状況について問う。</p>	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年3月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 永田 梓	1 出産・産後のケアについて	(1) 白血病や脳性麻痺、自閉症、小児難聴の治療にも活用されている「さい帯血」について、民間事業者が運営するさい帯血バンクを活用し、生まれてくる我が子のため、数年間にわたって保管しようとする場合に発生する登録費用を補助できないか問う。 (2) 産後ケア事業として、現在2つの助産院と提携しているが、市民の利用負担額を無料とする考えはないか問う。 (3) 育児中の方に対する心のケアのために、自宅からでもチャットを活用して相談できる体制が構築できないか問う。	市 長 市 長 市 長
	2 施設利用について	(1) 帖五区農産加工研修センター及び松山農産加工センターについて、土・日曜日や祝日の使用ができるよう、会計年度任用職員の雇用形態も含め、関係条例等の整備を行っていく考えはないか問う。	市 長
	3 海水浴場施設の安全について	(1) 令和5年第2回定例会において、ダグリ岬海水浴場での水上バイクによる危険行為を制限する条例が制定できないか質問した。市長は、条例の内容を確認し、早急にできることがあれば対応したい旨で答弁されているが、その後の検討状況について問う。	市 長
	4 生物多様性センターについて	(1) 生物多様性センターのオープンから1年が経過したが、これまでどのような活動が展開されたのか具体的に示せ。 (2) 今後の運営にあたって職員を増員する考えはないか問う。	市 長 市 長
5 栞山 晋司	1 森林の管理と防災について	(1) 木材輸出額は近年増加傾向にある中で、伐採されている山林が市内でも多くみられる状況となっている。事業者に対して、防災や植樹等の保全管理、災害発生時の対応等についての周知はどのようになっているのか問う。	市 長
	2 商業振興について	(1) 都城志布志道路は、令和6年度中に全線が開通する見込みであり、本市の交流人口増加につなげていくような施策の展開が期待されるが、現在どのような議論や検討がされているか問う。 (2) 本年度から、創業に限らず、既に事業を営んでいる場合でも活用が可能な開業支援事業補助金へ変更したところ、多くの開業につながったと聞いている。そこで、さらなる民間活力向上のために、起業者を育成する学びの場を創設する考えはないか問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年3月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 栢山晋司	3 自主文化事業の今後の展望について	(1) これまで、教育委員会の取組による様々な自主文化事業が実施されているが、内容の決定に至る考え方と、今後の展望について問う。	教 育 長
	4 リサイクル事業について	(1) 「食品リサイクル有機肥料」を活用した取組状況と、今後の展望について問う。	市 長
6 南 利尋	1 人口減少対策について	(1) 人口減少対策について、どのような施策に取り組んでいるのか問う。	市 長
		(2) 次世代の本市を担う若者や移住、定住者の意見や要望を踏まえた新しいまちづくりの方向性を検討すべきではないか問う。	市 長
	2 環境行政について	(1) 令和5年第1回定例会において、埋立処分場の在り方について質問したところ、「バイオマス発電の調査・研究を行う」という旨の答弁があった。進捗状況を問う。	市 長
		(2) 行政目線ではなく、市民目線に立ってごみ処理の在り方を検討すべきではないか問う。	市 長
3 道の駅整備について	(1) 多くの自治体で道の駅が整備され、賑わいを創出している。本市でも、道の駅整備事業にスピード感をもって取り組むべきではないか問う。	市 長	
	(2) 本市には農畜産物、水産物など多くの資源がある。6次産業化の推進を図り日本一の道の駅を目指す考えはないか問う。	市 長	
4 ダグリ岬ベイサイド構想について	(1) 現在の進捗状況を問う。	市 長	
	(2) パラダイス跡地の撤去・解体について多くの市民の意見が届くようになった。対策に取り組むべきだと考えるが今後の対応について問う。	市 長	
7 小園義行	1 施政方針について	(1) 「市民が主役のまちづくり」「誰一人取り残さないまちづくり」を基に市民目線で市民の立場に立つとの方針で4つの行政経営指針をもって行政運営をされてこられたが現状をどのように認識しているか。	市 長
		(2) 市民への接遇について7点ほど述べて職員にお願いをしているが、現状をどのように認識しているか。	市 長
2 個人情報	の在り方について	(1) 自衛隊への名簿提供について質問してきた。提供している事を住民に市報等で周知していくと答弁されてきたが対応を問う。	市 長
		(2) これまで法的根拠がないと質問してきた。憲法第13条の視点から提供する事をどのように考えるか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年3月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7小園義行	3 虐待防止 条例について	(1) 今回、児童、高齢者、障害者に対する虐待の防止を図る目的で市として条例を策定するとしているが、これまでの施策からどのように変わるのか。	市 長 教 育 長
	4 学校教育 について	(1) 新しく入学する児童の入学に至るまでの経過を問う。 (2) 特別に配慮が必要と思われる児童への対応はどうか。	教 育 長 教 育 長
	5 会計年度 任用職員制 度について	(1) 会計年度任用職員制度の在り方に対する認識を問う。	市 長 教 育 長
8隈元香穂子	1 小児医療 について	(1) 令和6年度の当初予算案に計上されている小児科開設支援事業補助金について、その詳細を問う。 (2) リモート診療・オンライン診療が可能な体制を構築するための検討はされたのか問う。 (3) 本市における予防接種実施医療機関の契約状況について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 産婦人科 誘致につい て	(1) 離れた場所でも本拠地に準じた機能を提供する「サテライト方式」の産婦人科又は助産院を誘致できないか問う。 (2) 産後の母親は継続して支援することが必要と考えるが、現状とその在り方について問う。 (3) 産後ケア施設利用にあたって、利用料の全額補助及び利用要件の緩和を検討できないか問う。	市 長 市 長 市 長
	3 災害対策 について	(1) 能登半島地震発生から2か月間ほど経過しているが、本市の災害対策における現状の把握、分析はできているか問う。 (2) プライバシーの侵害や盗難など、避難生活での発生が想定されるトラブルへの対策について十分に議論されているか問う。 (3) 女性が中心となった災害対策チームを設置する考えはないか問う。	市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年6月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 農業政策について	(1) 本市の基幹産業である農業において、担い手不足や高齢化等によって、業界を取り巻く環境は、疲弊感が増していると感じる。そこで、本市の農業政策の課題と将来像をどのように考えているのか問う。	市 長
	2 農村地域の集落機能維持について	(1) 国の食料・農業・農村基本法の改正を踏まえ、農村・地域コミュニティ維持の観点から、支え合いの仕組みを構築する必要性を感じている。本市としてどのように受け止め、施策を展開していくのか問う。 (2) 農村RMO（農村型地域運営組織）とは、複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織であり、高齢化・人口減少の進行により、集落機能が低下している本市においては、有益な取組であると思えるが、立ち上げについて検討していく考えはないか問う。	市 長 市 長
2 小野広嗣	1 フューチャー・デザインの積極的な活用について	(1) フューチャー・デザインは、持続可能な社会の形成に向けた新たな政策検討の手法である。政策形成に当たり、現代に生きる人々（現代世代）のみならず、まだ生まれていない将来に生きる人々（将来世代）も利害関係者として捉え、将来世代と現役世代の双方の視点を持って考えることで解決方法を見出す点に特徴がある。本市の認識について問う。	市 長
	2 防災対策について	(1) 災害発生時における情報は、多くの人々の命に直結する重要なものである。いつ、どこで発生するか分からない災害に対する、発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築は、急務である。本市の取組状況と考え方について問う。 (2) 能登半島地震の教訓の一つとして、人間の尊厳や命にも関わる「トイレの問題」が顕著化した。仮設トイレの目標（50人に1基）達成まで10日程度掛かっており、初期対応に「携帯トイレ」「簡易トイレ」等を一定量備蓄・配備しておくことが指摘されている。本市の災害時における「トイレの問題」について、認識を問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年6月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 小野広嗣	2 防災対策 について	(3) 能登半島地震においては、多くの学校施設が地域住民の命を守るための避難所となったが、全国的にはこれまでに老朽化した学校施設で外壁が落下する事故が相次いでおり、学校施設の老朽化対策・防災機能強化は、早期に対処しなければならない重要な課題である。本市の現状認識と取組状況について問う。	市 長 教 育 長
	3 子どもに やさしいま ちづくり事 業について	(1) 「子どもにやさしいまちづくり事業」は、子供の権利条約を自治体レベルで具現化するため、ユニセフが提唱する世界的な運動で、その特徴は、“まち”の人々がみんなでみんなの“まち”を作っていくことにあり、とりわけ、子供もまちづくりの主体、当事者として位置付けることにあり、現在多くの自治体でもこの取組が広がっている。本市の認識について問う。	市 長 教 育 長
3 平野栄作	1 消防行 政につい て	(1) 近年、消防団員の担い手不足が顕著になり、消防庁をはじめ様々な対策を講じているが、団員の増には結びついていないと感じる。あわせて、消防団員の活動の幅を広げる観点から、機能別消防団員・分団制度もある中、本市では女性消防団が導入されて以降、これまで目立った取組は、実施されていないと認識している。 また、消防組合においては、定数が設けられ、その中でのローテーション勤務となっている。働き方改革も推進される中、コロナ禍においては、極めて厳しい就業体系にあったようである。 今後、育児休暇の取得等も更に推進されていくことや、大規模災害時への対応等を考慮すると、人材確保に向けた対策が早急に必要ではないかと考え、以下を問う。 ① 消防団員の確保策の現状について ② 機能別消防団員・分団への取組について ③ 地域で構成する機能別消防団の構築について ④ 消防職員のOBやOGの活用策について	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年6月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 平野 栄作	2 港湾行政 について	<p>(1) 志布志港は、国際バルク戦略港湾に選定され、着々と整備が進められており、また、産直港湾としての認定も受け、コールドチェーンの確保に向けた整備が進められている。</p> <p>志布志港の機能向上を図る観点から、5月21日に開催された長期構想検討委員会において、検討案が協議されたと聞いている。</p> <p>これまで港の整備が進められてきたが、物流だけに重点がおかれ、人々が集い、にぎわいを創造する空間の整備が遅れていると感じるが、今後の整備推進について、国や県とどのような協議を行っていく考えかを問う。</p>	市 長
4 八代 誠	1 道路行政 について	<p>(1) 市道について、交差点の停止線等が視認できない箇所が増えている。対策を急ぐための一例として、生活道路となっている市道の停止線等は、地域コミュニティ協議会等に補助金を交付し、設置作業を行う等の取組も考えられるが、本市としての見解を問う。</p> <p>(2) 都城志布志道路について、令和6年度中の全線開通が見込まれているが、現状では草木の伐採や路面の舗装補修が計画的に実施されているようには見受けられない。市として、県に対し、今後の徹底した維持管理を強く要請する必要があると考えるが、見解を問う。</p>	市 長
		<p>(3) 東九州自動車道と都城志布志道路を結ぶ「(仮称)曾於志布志道路」について、本市としての活動の状況と今後の展望を問う。</p>	市 長
	2 港湾行政 について	<p>(1) 5月21日に開催された志布志港長期構想検討委員会において、今後の検討事項が示されたようであるが、志布志港の現状と今後の展開について問う。</p>	市 長
5 隈元香穂子	1 医療体制 について	<p>(1) 小児科開設支援事業について以下を問う。</p> <p>① 今年度、小児科開設支援事業補助金が創設されたが、現状について問う。</p> <p>② 本市と同様の事業を行っている大崎町と連携し、誘致活動を行う考えはないか問う。</p> <p>(2) 小児科の日曜・祝日救急診療体制についての考え方を問う。</p> <p>(3) 医師修学資金貸与制度を創設する考えはないか問う。</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年6月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 隈元香穂子	2 夜間保育 について	(1) 夜間保育の需要は増えているようだが、市としてその必要性をどのように捉えているか問う。 (2) 市として夜間保育を再開する考えはないか問う。	市 長 市 長
	3 旧ひばり ビルについて	(1) 令和5年度に購入した旧ひばりビルについて、今後の活用策を示せ。	市 長
6 南 利 尋	1 畜産振興 について	(1) 本市の基幹産業である畜産業の現状は、飼料価格の高騰、市場価格下落等により、危機的状況に陥っている。本市独自の支援事業に取り組むべきではないか問う。 (2) 全国和牛能力共進会北海道大会に向けた取組が始まろうとしている。どのような対策を講じていく考えか問う。	市 長 市 長
	2 道の駅整備 事業について	(1) 本市では、にぎわいの創出から経済効果を生み出す施策が確立されていないと考える。具体的な道の駅整備計画を検討すべきではないか問う。	市 長
	3 観光振興 について	(1) 令和6年3月の予算委員会において、「ダグリ岬海水浴場周辺の除草作業、仮設トイレの設置を行う」との答弁があった。早急に取り組むべきではないか問う。 (2) ダグリ岬ベイサイド構想において、旧パラダイスの解体・撤去は、必要不可欠である。所有者と協議し、購入、解体・撤去を行うことができないか問う。 (3) 夏井地区における景観の良い一部の共有地を、ひとつのゾーニングとして整備すべきではないか問う。	市 長 市 長 市 長
	4 環境行政 について	(1) 衛生自治会の在り方について問う。 (2) 5Rの促進を図りながら、新たなごみ処理の在り方を検討すべきではないか問う。	市 長 市 長
7 小辻一海	1 孤独・孤立を深める 「無縁社会」について	(1) 孤独・孤立を深める「無縁社会」とは、単独世帯、特に独居の高齢者が増え、家族の絆や人間関係が希薄になりつつある今の日本社会の一面を表す言葉で、これらの問題は、年々増加し、解決が急がれている。実際、本市でも、誰にみとられることなく、亡くなった人がいることを聞いているが、非常に悲しいことである。こういった状況は、今後さらに悪化していくことが予想されるが、本市の認識について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年6月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7小辻一海	1 孤独・孤立を深める「無縁社会」について	(2) 本市における単独世帯の現状と今後の見通しについて問う。 (3) 本市の独り暮らしの高齢者、高齢者以外の単独世帯の突然死、孤独死が過去どれくらい発生しているのか。また、単独世帯に対する見守り活動の現状と今後の取組について問う。	市 長 市 長
	2 環境行政について	(1) 生物多様性地域戦略の進捗状況と今後の取組について問う。 (2) 生物多様性センターの現状と今後の取組について問う。 (3) 生物多様性のためのボランティア活動に対する支援策について問う。 (4) 本市の希少野生動植物の生息・生育状況の把握と今後の保全対策について問う。 (5) 外来生物の現状と対策について問う。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長 市 長 市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
8丸山一	1 道路行政について	(1) 通山地区から一丁田地区において、線路跡地道路から海岸への道路は、砂利道であるため、通行に支障がある。道路の改良、舗装化はできないか。 (2) 一丁田地区の線路跡地は、いつから通行できるようになるのか。	市 長 市 長
	2 志布志港行政について	(1) 志布志港は、物流拠点として整備が進んでおり、市民の憩いの場としては、縁遠い存在となっている。また、農林水産物、食品の輸出増加、コンテナヤード、冷蔵冷凍施設の不足などの課題があるようだが、長期構想を示せ。	市 長
	3 農業行政について	(1) 高齢化、人口減により農家の後継者不足や従事者が減少したことにより、市内の土地改良区や水利組合を維持することが困難となってきている。組合を維持するため、新たな対策が求められると思うが、今後の対策を問う。	市 長
9永田 梓	1 環境行政について	(1) 4月1日に開設された志布志市循環センターについて以下を問う。 ① これまでの運営状況や市民の反響について問う。 ② 併設予定のリユースショップやリペア施設の運用開始時期を問う。 ③ 粗大ごみの受入れができないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年6月定例会 (No.7)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10稲付洋平	4 岳野山の活用について	<p>(1) 岳野山からの眺望や地域住民で造設された十二支石像は、市内外へ売り込むことのできる観光資源のひとつではないかと考える。市として、林道から頂上付近までの管理・整備について以下を問う。</p> <p>① 国から都道府県及び市町村に対し、森林環境譲与税の譲与が開始されたが、森林環境譲与税の適用される林道の種類を問う。また、令和6年度において本市の森林環境譲与税が充てられる事業について問う。</p> <p>② 岳野山頂上部付近の伐採や、景観の維持を行っている団体に補助金を交付することはできないか問う。</p> <p>③ 志布志道サポート推進事業があるように、志布志林道サポート推進事業を新設し、岳野山の林道でも活用できないか問う。</p>	市 長
11小園義行	1 地方自治の在り方について	<p>(1) 今、国会で審議されている、地方自治法改正案で地方自治体に対して行使できる新たな「指示権」がうたわれている。どのように受けとめるか。</p> <p>(2) 国から特定利用空港・港湾として、県内の2空港、6港湾が示され、志布志港も候補になっている。国や県から目的等含め、説明がされたのか。</p> <p>(3) 地方自治体から自衛隊へ個人情報4項目を本人の同意なく提供し、自衛隊が入隊勧誘のダイレクトメールを送付したことで、国家賠償請求訴訟が奈良市で起こされている。どのように受けとめているか。</p>	市 長
	2 農政について	(1) 国会で審議されている「食料・農業・農村基本法改正案」について、どのように受けとめているか。また、本市の農業への影響はどうか。	市 長
	3 いじめ防止条例について	(1) 各小中学校におけるいじめの現状を問う。	市 長 教 育 長
	4 福祉行政について	(1) 「補聴器の購入に対し、補助する考えはないか」との質問に対し、「他自治体の状況を調査し対応する」と答弁された。その後の対応はどうか。	市 長
	5 行政運営について	(1) マニフェストで本庁機能の充実を掲げているが、現状と今後の在り方を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年6月定例会 (No.8)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
12鶴迫京子	1 香月地区 公民館駐車 場の整備に ついて	<p>(1) 香月地区公民館駐車場の整備について 2012年6月議会で質問しているが、12年の年月が経過した現在、何ら変化が見られない。高齢者等の利用の多い生涯学習講座など、多目的に使われているが、出入口は狭く、未舗装で区画線もなく、駐車場内での事故につながった事案があった。また、雨天時のぬかるみによる転倒があったとの市民の声が届いている。学びたい意欲を損なうことなく、安心して公民館が利用できるよう、早急に駐車場を舗装整備する考えはないか。</p> <p>(2) 防災・津波対策について、「担当課とも相談し、駐車場の在り方を検討する」との答弁であったが、その後、検討されたのか。現状の認識と今後の見解を問う。</p>	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	2 公園（市 民広場）の 整備につい て	<p>(1) 出水市のウイングドームいずみ（屋根付き市民ふれあい広場）は、子供から高齢者までがふれあいの場やスポーツなどに利用できる場として、また、雨天時でも大規模なイベントが開催できる場となっている。その他、災害発生時には、地域防災拠点として、支援物資の中継基地やボランティア活動の場、市民の一時避難場所とするなど、様々な機能を有する施設として整備されている。本市でもこのような先進事例に倣い、安楽地区、町原地区の高台等に、同様の機能を有する屋根付き市民ふれあい広場を整備する考えはないか。</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年9月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野広嗣	1 マイナ保険証利用促進について	(1) 今年の12月2日から従来の「健康保険証」は新規発行されなくなり、その後は「マイナンバーカード」での保険証利用を基本とする仕組みに移行するが、その際、いかに円滑に移行していくかが極めて重要である。本市の今後の取組について問う。	市 長
	2 防災行政について	(1) 8月8日に発生した日向灘を震源とする最大震度6弱の地震に伴い、気象庁は、「巨大地震注意」の南海トラフ地震臨時情報を発表し、引き続き巨大地震への注意を呼びかけたが、今回の地震による本市の被害状況とその後の対応について問う。	市 長
		(2) 国の中央防災会議は、6月、国や自治体による災害対応の基礎となる防災基本計画の修正を決め、能登半島地震で高齢者などの要配慮者が数多く被災したことを踏まえ、災害応急対策に「福祉的な支援」の必要性を明記しているが、本市の認識について問う。	市 長
		(3) 能登半島地震では、女性の視点から、避難所生活の改善点など多くの要望が寄せられた。内閣府の避難所運営ガイドラインでは、避難所運営委員会等を設置し、女性がリーダーシップを発揮しやすい体制を確立することや避難所の運営において女性の能力や意見を活かせる場を確保することが示されているが、本市の認識について問う。	市 長
	3 食品ロス削減への取組について	(1) 日本では、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は年間約612万トンと言われている。食品ロスを出す割合では、食品関連事業者が全体の55%で、残りの45%は家庭からのものであり、大切な資源の有効活用や環境負荷への配慮から、地域における食品ロスを減らす取組は、大変に重要である。本市の認識と取組状況について問う。	市 長 教 育 長
2 野村広志	1 防災行政について	(1) 8月8日に宮崎県日向灘沖で発生した震度6弱の地震により、本市でも大きな揺れとともに被害も発生した。今後起こる可能性がある大地震に、市民は不安に思っているのではないか。「地震を正しく恐れる」の考えの下、正しい情報の提供と注意喚起について、当局の見解を問う。	市 長
		(2) 松山地域の一部でも、地震の揺れによる水道水の濁りが見られる現象が発生した。水道管内の錆が原因のようであるが、今回の事案を踏まえて当局の見解を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年9月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 野村広志	2 空き家を活用した移住・定住対策について	(1) 今年7月に一部改訂した「志布志市空家等対策計画」において、本市の空き家施策を総合的かつ計画的に推進する指針が新たに整ったものと理解している。そこで、特に利活用について、具体的にどのように促進を図っていく考えなのか。	市 長
		(2) 市内に点在する空き家について、民間の活力による耐震化や水回り等の改修で付加価値を付け、利活用の促進を図る考えはないか。	市 長
		(3) 市が空き家を中間管理住宅として賃貸契約し、住宅改修を実施したのち、移住・定住希望者へ賃貸する事業について、取り組む考えはないか。	市 長
3 玉垣大二郎	1 危機管理について	(1) 8月8日に発生した日向灘沖地震の影響により、南海トラフ地震発生の可能性が高まったとして、地震臨時情報が発表された。地震発生から地震臨時情報発表を受けて、市民の避難対応や本市の防災対策について、市長の考えに何かしらの変化があったのか問う。	市 長
		(2) 隣の大崎町では震度5強を計測したが、本市では震度4であった。本市の震度計は、どこに設置されて、管理をどこがしているのか問う。	市 長
		(3) 県が志布志港に建設した港湾施設や避難施設について、港で働く方々の避難経路が整備されていないように思う。県に対し、防災対策等を要望する考えはないか問う。	市 長
	2 熱中症予防対策について	(1) 連日の猛暑により、全国で熱中症による高齢者等の死者が発生している。本市では、市民に対する熱中症対策をどのように行っているか問う。	市 長
		(2) 小・中学校における熱中症の発生状況と、これまでの注意喚起の在り方やガイドラインの策定状況について問う。	教 育 長
		(3) 熱中症の原因として、地球温暖化による気温の上昇が考えられる。本市では、令和5年3月に「志布志市地球温暖化対策実行計画」を策定したが、取組状況について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年9月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 稲付洋平	1 組織機構見直し計画について	<p>(1) 本定例会に組織機構見直し計画に関する議案が提出されている。志布志庁舎に本庁機能を集約する等、市民生活に多大な影響があると考え。組織機構見直し計画の内容について以下を問う。</p> <p>① 本庁機能集約による各支所の窓口対応や、申請等の事務手続の変更内容等について問う。</p> <p>② 組織機構見直しが実施されることに伴い、庁舎間のパソコンや事務用品等の移動が必要となると思うが、それに掛かる費用について問う。</p> <p>③ 組織機構見直しを実施する時期について、令和7年1月とした経緯を問う。</p> <p>④ 組織機構見直しに伴い、有明庁舎別館に空きスペースが発生すると思うが、その活用方法について問う。</p>	市 長
5 永田 梓	1 災害対策について	<p>(1) 津波避難施設整備事業により、通山地区に避難地（築山高台）が設置されている。他に、避難困難区域の解消が必要とされている現場もある中で、新たな避難地の整備に向けた進捗状況と、今後の展開を問う。</p>	市 長
		<p>(2) ペットと飼い主が同じ場所で過ごせる避難所の開設について、検討がなされているか問う。</p>	市 長
		<p>(3) 自然災害の発生により、市内の老人福祉施設が使用できなくなる状況に備えて、他施設と相互の受入体制を構築するなど、広域的な連携が図られるよう市としても取り組むべきと考えるが、見解を問う。</p>	市 長
		<p>(4) 災害は、昼夜を問わず発生することから、様々な状況での避難行動を想定しなければならないことを踏まえ、夜間の避難訓練を実施する考えはないか問う。</p>	市 長
6 青山浩二	1 組織機構見直し計画について	<p>(1) 8月19日の全員協議会で示された、組織機構見直し計画の具体的な内容について問う。</p>	市 長
	2 ひばり跡地の利活用方針について	<p>(1) 8月19日の全員協議会で示された、ひばり跡地の利活用方針の具体的な内容について問う。</p>	市 長
7 戸山晋司	1 組織機構見直しについて	<p>(1) 組織機構見直しに伴う有明庁舎別館の在り方については、今後どのように利活用するのか問う。</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年9月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7 栞山晋司	2 子育て支援施設について	(1) これまで、インクルーシブ公園や児童館について質問をしてきたが、その後、市は、どのような調査研究を行ってきたか。	市 長 教 育 長
	3 小・中学校での防災教育について	(1) 自然災害の発生に備えた市内の小・中学校における避難訓練の取組状況と、避難後の保護者への引き渡しに係る流れについて問う。	教 育 長
	4 公共施設運営について	(1) 人口減少や公共施設の老朽化が進む中で、公共施設の集約・複合化を検討していく考えはないか問う。 (2) 平成30年12月定例会において一般質問があったネーミングライツパートナー(命名権者)について、「命名権の売却は容易ではないため、十分に検討し、戦略的に行う必要がある」との答弁であったが、新たな歳入の確保と施設のサービスの維持・向上を図ることを目的とし、市内公共施設に導入する考えはないか問う。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	5 地震・津波等災害対策について	(1) 地震・津波の発生時における避難経路の想定は、どのようになされているか問う。併せて、避難経路に存在する危険箇所の点検や対策は行われているか問う。	市 長
		(2) 防災・減災の観点から、比較的標高の高い地域に避難所としての機能を備えた複合公共施設を設置する考えはないか問う。	市 長 教 育 長
8 南 利 尋	1 行政運営について	(1) 時代に即した行政需要に的確に対応し、より一層の市民サービス向上を図るためには、職員の能力を最大限に発揮できる環境整備が必要不可欠と考える。行政改革において、職員の意見や要望がしっかりと考慮されているか問う。 (2) より一層の市民サービスを図るためには、執行機関と議会、市長と職員などの連携とコミュニケーションが重要であると考えますが、市長の見解を問う。	市 長 市 長
	2 国際交流について	(1) 人口減少が進む本市において、グローバルな視点での移住・定住を図るためにも、日本語学校などの各種学校を設立すべきではないか問う。 (2) 社会のグローバル化が進む中で、姉妹都市の取組は、重要であると考えます。志布志港と関連する都市との関係性を深めるためにも取り組むべきではないか問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年9月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8南 利 尋	3 観光振興について	(1) 昨今のレジャーでは、大自然を満喫できるキャンプや登山が主流となっている。笠祇岳を本市の登山やキャンプの観光スポットとして整備する考えはないか。	市 長
9東 宏二	1 グループ制導入の効果について	(1) 業務の効率化と職員の意識改革の両立につなげることを目的として、令和6年4月1日からグループ制の本格運用を開始したが、現状における職員の働き方については、どのような効果があったと捉えているか問う。	市 長
	2 道路行政について	(1) 令和5年第2回定例会で、市道、県道、国道の維持管理状況等について質問したが、その後の取組について問う。	市 長
10小園義行	1 国保について	(1) 令和7年度保険者努力支援制度(取組評価分)に関する国の通知が6月26日に出されている。どのように受けとめているか。	市 長
		(2) 子育て世帯の支援として18歳以下の子供の均等割を全額補助する考えはないか。	市 長
		(3) 国保一部負担金の免除、減額及び徴収猶予に関する取扱要綱について問う。	市 長
	2 学校教育について	(1) 本市の教職員の病気休暇の取得状況はどうか。 (2) 学級担任、専科担任が病気休暇の時の対応はどうか。	教 育 長 教 育 長
3 道路行政について	(1) 昭和弓場ヶ尾線の改良について問う。	市 長	
4 福祉行政について	(1) 9月は知的障害福祉月間である。本市の取組はどうか。	市 長	
	(2) 選挙における知的障害者等の投票に関して、選挙管理委員会と協議されているか。	市 長	

一 般 質 問 通 告 書

令和6年12月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野広嗣	1 多文化共生施策の推進について	(1) 急速な少子高齢化に伴う労働力不足が深刻化する日本にとって、経済活動を維持・発展させていくために外国人人材の受入れが必須になりつつある中、多文化共生社会の実現に向けて、外国籍の皆さんが心身ともに安全に安心して暮らせる環境づくりをはじめとした、多文化共生施策の推進に関する本市の認識について問う。	市 長 教 育 長
	2 男性介護者の支援について	(1) 男性が在宅で介護をする場合には、仕事と介護の両立が難しいことや介護の知識や家事の経験不足、地域との関わりの希薄さなどから社会的に孤立するケースが見受けられる。本市の現状と孤立防止支援の取組状況について問う。	市 長
	3 子どものネットリスク対策について	(1) 好奇心が旺盛な子どもたちにとって、インターネットは、自分の世界を広げてくれる魅力的なツールであるが、一方でネット依存やネットいじめ、SNSを通じた性犯罪被害、長時間にわたりパソコン・スマホの画面を見ることによる健康被害など、様々なリスクが伴う。子どもが安心・安全にインターネットを利用するためのネットリスク対策について問う。	市 長 教 育 長
	4 GIGAスクール端末の活用状況と更新について	(1) GIGAスクール構想の下で整備された端末の活用状況と今後の更新について、文部科学省では「公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定要領」において、更新端末への補助に当たり、端末の整備・更新計画の考え方及び更新対象端末のリユース、リサイクル、データ消去等、処分計画の策定・公表を義務付けている。本市の取組状況について問う。	市 長 教 育 長
2 野村広志	1 学校給食における食物アレルギーへの対応について	(1) 文部科学省では、学校における食物アレルギー事故防止の徹底を図るため、各学校設置者、学校及び調理場において、食物アレルギー対応に関する具体的な方針やマニュアル等を作成するよう指針が出ているが、本市での現状について問う。	市 長 教 育 長
	2 子育て支援について	(1) 学校から帰宅しても、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象として、放課後児童クラブが開設されているが、現状について問う。 (2) 実費負担などの受益者負担を除き、公費によって放課後児童クラブを支援していく考えはないか。	市 長 教 育 長 市 長
3 小辻一海	1 道路行政について	(1) 道路法第3条において、道路の種類として市町村道を含む4つが挙げられている。市道路線として認定する基準の在り方について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年12月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3小辻一海	1 道路行政について	(2) 市道が損傷する原因を特定、分析しているのか。また、今後の補修工事の計画等について、どのように設定しているか問う。	市 長
		(3) 近年、異常気象に伴う自然災害の発生が相次いでいるが、市道への被害及び復旧状況について問う。	市 長
		(4) 住宅地を中心とする生活道路について、しっかりとした計画に基づき、維持・管理が実施されているか問う。	市 長
		(5) 県道110号線塗木大隅線改良工事の進捗状況と今後の見通しについて問う。	市 長
4隈元香穂子	1 新型コロナワクチン接種について	(1) 全国で新型コロナワクチン接種による死亡と認定される事例がある。被害者家族が予防接種健康被害救済制度を申し出ようとする場合、サポート体制はできているのか問う。	市 長
	2 ジェンダーギャップ解消について	(1) 本市におけるジェンダーギャップ解消に向けての取組を示せ。 (2) 市役所内において、同じ年代の職員で男性と女性を比較して、役職、経験業務に差はないのかを問う。	市 長 市 長
	3 ハラスメント条例について	(1) 他自治体で首長のハラスメント行為が問題になっている。本市のハラスメント対策は、どのようなものがあるか問う。 (2) 職員向けのハラスメント防止規程や「志布志市ひとがともに輝くまちづくり条例」の中で、特別職（市長、議員等）がハラスメント行為をした場合の対応が明記されておらず、いずれも不十分なものである。条例制定の必要性を問う。	市 長 市 長
5南利尋	1 財政運営について	(1) 昨今、多くの市民が物価高騰等により、大変な思いをされている。農畜産業や商工業等においては、資材価格の高騰、市場価格の低迷により、経営危機に陥っている業者も多くある。このような現状において、令和5年度の決算額は777,869,000円であった。 大変な思いをしている市民や事業者の現状をしっかりと把握し、市民の要望する支援や整備事業に予算を計上すべきではないか問う。	市 長
	2 災害対策について	(1) 昨今の気候変動の影響により、大規模な災害が多発している。未然に防ぐ対応策を検討すべきではないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年12月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 南 利 尋	2 災害対策について	(2) 中山間地域の小さな河川では度重なる災害により、多くの寄州が点在し、さらなる災害を発生させる要因になっている。早急に対策を講じるべきではないか問う。	市 長
	3 環境行政について	(1) 生ごみの出し方について、衛生上の観点から見直してほしいとの要望がある。「溶けるポリ袋」を活用し、改善すべきではないか問う。	市 長
		(2) 令和6年3月定例会の一般質問において、「5Rを推進しながら、最終処分場の在り方を検討していく。」という旨の答弁があった。どのような検討がなされているのか問う。	市 長
4 観光振興について	(1) 「稼ぐ観光」を実現するためにも、「志布志ブランド」の構築を図るべきではないか問う。	市 長	
	(2) ダグリ岬ベイサイド構想の進捗状況について問う。	市 長	
6 八 代 誠	1 物価高騰対策について	(1) 物価の高騰は長期化しており、原油の価格や人件費にも影響が及んでいる。市として、この現状をどのように捉えているか。また、来年度の予算編成に当たって、物価高騰対策として何らかの支援が検討されているか問う。	市 長
		(2) 本市発注の公共事業及び指定管理委託事業において、受注者が賃金の著しい変動や価格高騰などの影響を受けた場合の対応について問う。	市 長
		(3) 本市単独の補助事業で設定されている補助金の上限額については、物価の高騰が続く現状を考慮した見直しが必要と考える。補助金等交付要綱を見直す考えはないか問う。	市 長
7 市ヶ谷 孝	1 高齢者世帯への支援について	(1) 少子高齢化や人口減少、核家族化等に伴う社会情勢の変化により、高齢者世帯の割合は増加傾向にある。高齢者が自宅で安心して健康に暮らすことのできる行政サービスの重要性は、今後ますます高まっていくと思われる。本市では、配食支援等を実施しており、また、民間事業者による移動販売サービスも展開されているが、より深化していくと見込まれる状況に対応するため、柔軟かつ継続性を備えた取組として、どのように進めていく考えか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年12月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8 栞山晋司	1 イベント運営事業について	(1) 「市民総参加型」のイベントを実施するとして、例年、予算が計上されている。コロナ禍を経て、人流の変化や物価の高騰によって、イベントの開催に影響を及ぼしていると考えるが、今後、どのように地域活性化の推進へつなげていくのか問う。	市 長
	2 ダグリ岬海水浴場の現状について	(1) ダグリ岬海水浴場には、日陰となる場所がなく、トイレは不衛生な状況にある。海水浴場の利用者のため、対応すべきこと、実施できることがあるのではないかと問う。	市 長
	3 教育施設について	(1) 避難所としての活用も想定される市内小・中学校の体育館に、エアコンを設置する考えはないかと問う。	市 長 教 育 長
9 小園義行	1 特定利用港湾の指定について	(1) 今回の海上自衛隊と米海軍との共同訓練に関する情報提供が、国や県からどのようにあったのか。	市 長
	2 国保について	(1) 県が保険料水準の統一に向けた作業を行っているが、その事に対してどのように受け止めているか。	市 長
		(2) 本市は、いろいろな努力をして保険税の引上げをしていないが、統一保険料になると、現在より負担はどのようにになると予測しているか。	市 長
		(3) 未就学児の均等割1/2の軽減については、子育て世帯の支援として早急を実施すべきと考えるがどうか。	市 長
	(4) 従来の保険証は、今年の12月2日から発行されなくなったが、いろいろな問題が予想される。それぞれに対する本市の対応を問う。	市 長	
3 教育行政について	(1) 9月議会の一般質問で担任や専科の先生の病気休暇が4名あると答弁があったが、その後の対応を問う。	教 育 長	
4 会計年度任用職員制度について	(1) 昨年の給与勧告に基づいて4月遡及を実施されたのか。	市 長	
	(2) 今年度の給与改定があった場合、4月遡及に向けて対応すべきと考えるが、どうか。	市 長	
	(3) 勤勉手当の対象職員数と支給率はいくらか。	市 長	
	(4) フルタイム職員の考え方はどうか。	市 長	

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 農業政策の展望について	<p>(1) 本市の農業者数は、高齢化等により近年減少傾向にあることに伴い、荒廃農地の積極的な活用ができていない現状がうかがえる。そのような中、農地別の担い手を地図上に示した、目標地図を定める地域計画の策定が本市でも進められている。今後、農地中間管理事業による農地の集積、集約の加速化が期待されるが、農地を有効に活用していくための取組について問う。</p> <p>(2) 地域計画の策定後は、次世代に農地を引き継いでいくため当該計画の毎年の更新が必要であると認識しているが、更新をどのように進めていく考えか問う。</p>	市 長
	2 港湾行政の展望について	<p>(1) 志布志港長期構想(素案)について、1月29日に行われた志布志港長期構想検討委員会でおおむね了承されたとの報道がなされた。今後、県により策定される具体的構想計画に基づいて整備が進んでいくものと期待されるが、港湾を抱えている地元自治体の声は、どの程度反映されたと認識しているか問う。</p> <p>(2) 今後の港湾振興の在り方を検討する中で、志布志港が抱えているソフト面の課題をどのように捉えているか問う。</p>	市 長
2 青山浩二	1 施政方針(教育行政)について	<p>(1) 学びの多様化教室「松風」においては、通所生への学習保障と体験活動の充実を図るとともに、市学びの多様化に係る基本構想策定検討委員会の答申を踏まえながら、子どもたちのニーズに応じた学びの保障に向けて、オンラインでの学習支援と県内初となる公立の学びの多様化学校の令和8年4月開校に向けて取り組むとしているが、具体的な内容について問う。</p> <p>(2) 確かな学力の育成については、小・中学校に対して、これまでのアナログ教材とのバランスを考慮しながら、デジタル教科書を導入するとともに、児童生徒が自分の理解度に応じて動画の視聴やWebドリルに取り組むことができる学習ソフトを導入し、一人一人の子どもに応じたより効果的で多様性のある授業展開を図り、学ぶ意欲や学習理解度の向上に努めるとしているが、これまでの成果と課題及び今後の具体的な取組内容について問う。</p>	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3小野広嗣	1 施政方針 について	<p>(1) 転出者数が転入者数を上回っている社会減への対策を当初予算の柱とした結果、一般会計予算の総額は、298億円となり、令和6年度当初予算と比較し34億円、12.9パーセントの増で、過去最大の予算規模となっている。「入るを量りて出ざるを制す（歳入の範囲内での予算編成）」を基本方針とする中、今後の人口減少への課題と対策について問う。</p> <p>(2) 公共施設や各地域コミュニティ協議会の活動拠点への公衆無線LANの整備を年次的に進め、災害時の避難所開設での利用など、ICTによる利便性の向上を図るとあるが、災害発生時における避難所等の通信確保や良好な生活環境の確保について問う。</p> <p>(3) 水道施設の計画的な更新や主体的な管理作業、配水管等の布設替え等による施設の長寿命化や漏水等への迅速な対応に努めるとあるが、1月28日、埼玉県八潮市の交差点で道路が陥没し、トラックが転落する事故が発生した。事故原因は、下水道管の破損に起因すると見られているが、本市は八潮市の陥没事故をどのように受け止めているのか。</p> <p>(4) 全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対して、切れ目のない相談支援等を一体的に行う機関である「こども家庭センター」を設置するとあるが、設置後の各種事業の展開について問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
	2 投票率向上のための 施策について	<p>(1) 本年7月の参議院選挙や明年早々に行われる市長選挙・市議会議員選挙へ向けた投票率向上のための施策と、投票率が低い若年層の投票率を上げるための考え方について問う。</p> <p>また、主権者教育をはじめとした選挙に関する学校教育の充実について問う。</p>	<p>選挙管理委員長 教 育 長</p>

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 平 野 栄 作	1 環境行政 について	<p>(1) 平成11年から、旧志布志町において資源ごみの分別収集が開始され、それまでの埋立処分からリサイクルへと大きく舵を切った。その結果、本市は、全国で常に上位のリサイクル率を誇っている。また、埋立てごみの約2割を占める紙おむつの再資源化に取り組むなど、埋立処分施設の更なる延命化を目指している。</p> <p>一方で、高齢化の進展等に伴うごみ出し困難者の増加や不法投棄も顕著になっているように感じることから、次の点について問う。</p> <p>① 仮に、本市単独でごみ焼却施設を建設とした場合の経費と維持費について</p> <p>② 市民1人当たりのごみ処理費の推移について</p> <p>③ 不法投棄ごみ対策に係る取組について</p> <p>④ 地区ごとの単位衛生自治会長会開催の有無と出された意見等について、市は把握しているか。</p> <p>⑤ 衛生自治会で生ごみ処理機購入の助成を行っているが、更なる生ごみ搬出の負担軽減を図るため、本市単独の事業として生ごみ処理機の貸与など取り組むことができないか。</p> <p>(2) 市花であるひまわりを活用した「サンサンひまわりプラン」を見直し、今後改めて取り組んでいく考えはないか。</p>	市 長
	2 学校施設 の環境整備 作業について	<p>(1) 小・中学校における敷地内の環境整備作業(愛校作業)は、学校・P T A・地域等により実施されている。作業実施後に発生する多量の刈り草の搬出について、負担軽減の方策を問う。</p>	市 長 教 育 長
	5 小 辻 一 海	1 志布志港 の振興につ いて	<p>(1) みなと振興課の現在の役割について問う。</p> <p>(2) 志布志港は、海上輸送網の拠点として重要港湾に指定されているが、このことをどのように認識しているか問う。</p> <p>(3) 志布志港は、南九州地域における国内外の物流拠点となっているが、本市としての利活用促進策について問う。</p> <p>(4) にぎわいの創出や誘客につなげるため、お釈迦まつりやみなとまつりなどのイベントと連携した取組ができないか問う。</p> <p>(5) 大規模災害の発生に備え、防災拠点として耐震強化岸壁などの整備が必要と考えるが、国や県に整備を要望することについて、市長の見解を問う。</p>

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 小 辻 一 海	2 企業誘致について	(1) 工業団地整備事業について、現状と今後の展望を問う。 (2) 住友林業株式会社と市臨海工業団地(5工区)の土地売買契約を締結し、令和4年2月に立地基本協定を結んだが、現状と今後の見込みについて問う。 (3) 今後、更なる企業誘致に取り組み、雇用の促進につなげていく必要があると思うが、市長の見解を問う。	市 長 市 長 市 長
	3 市制施行20周年について	(1) 志布志市が誕生して20周年となるが、市制施行20周年記念式典記念イベントの概要について問う。 (2) 10周年記念式典時における反省や総括などがなされた上で、20周年記念式典記念イベントが計画・立案されているか問う。	市 長 市 長
6 丸 山 一	1 道路行政について	(1) 市道西谷線及び井久保2号線は、バイパス道路として利用されているが、カーブが多く、見通しが悪い状況であるため、改良できないか。	市 長
	2 水道行政について	(1) 発がん性が指摘される有機フッ素化合物について、国内外の水道水で検出されている事案がある。市民の健康を守るためには、水道水の安全確保が求められるが、本市の状況を問う。	市 長
7 永 田 梓	1 みどりの食料システム戦略について	(1) 令和5年3月に策定された志布志市農業振興計画における「有機農業の推進」について、1年が経過したが、現在の進捗状況を問う。 (2) 環境負荷軽減の取組として、環境保全型農業直接支払交付金事業を実施しているが、取組状況及び今後の事業展望を問う。 (3) 農林水産省は、持続可能な食料システムを構築するため、環境負荷低減の取組の「見える化」を令和6年3月から開始しているが、本市の取組状況を問う。	市 長 市 長 市 長
	2 環境行政について	(1) 本市のリサイクル事業について、本市を訪れた方や市民の理解をより深めることを目的として、ボランティアによる「市民ガイド」を養成する考えはないか問う。	市 長
	3 母子ケアについて	(1) 様々な理由から、妊婦が自家用車を運転して通院できない場合がある。国による交通費等の助成事業があるものの、「概ね60分以上の移動時間」等の条件があり、利用しにくい状況にある。本市独自でタクシー代等を支援することができないか問う。	市 長
	4 国際の森について	(1) 国際の森には、旧志布志町時代から使用されていない遊歩道があるが、遊歩道を市民の憩いの場として利活用するため、再整備する考えはないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8 稲 付 洋 平	1 P T Aと教育委員会の在り方について	(1) P T Aは、保護者と教師が協力し、子供の学校生活や教育活動を支援・推進するための組織である。最近では、P T Aへの強制加入、活動への参加と仕事の両立が難しい等の課題が表面化しており、他自治体ではP T Aを解散した事例もある。 本市におけるP T Aの在り方やP T Aと教育委員会との関わり方について問う。	教 育 長
	2 下水道等の現状と今後の整備計画について	(1) 下水道等について、排水管等の老朽化により漏水などの危険が増大し、メンテナンスや更新が急務となっている。下水道等の改修は、交通や生活への影響を最小限に抑えて行う必要があり、時間と費用が大きな課題であると思うが、市内の現状と整備計画等について問う。 ① 農業集落排水施設の管路等の維持管理と整備計画について ② 都市下水路の維持管理と整備計画について	市 長
	3 人口減少対策について	(1) 人口減少が進行している本市では、若者の地元就職支援や子育て支援を強化しているものの、都市部への一極集中が進行し、改善しているとは言い難い現状であると思うが、今後の取組について問う。	市 長
	4 多世代交流施設整備事業について	(1) 旧ひばりビルの多世代交流施設計画は、子育て世代を中心に地域コミュニティの活性化を図ることを目的として実施することは理解するが、建物の老朽化や改築費用等が課題であると思われる。今後の取組について問う。 ① 費用対効果の検証について ② 旧ひばりビルの耐用年数と修繕計画について	市 長
9 戸 山 晋 司	1 医療費負担削減の取組について	(1) 高齢化が進む中、医療費負担の増大は、大きな懸念事項となる。対策としては、予防医療に力を入れ、健康寿命の延伸を図る取組や医療サービスの効率化、自己負担割合の見直し等が考えられるが、本市の今後の施策について問う。	市 長
	2 移住定住促進の在り方について	(1) 移住定住支援施策については、39歳以下の方を対象とした事業が多いが、昨今の晩婚化により子育て世帯の年齢層も変化してきていることから、年齢要件を見直すことはできないか。	市 長
	3 市民の意見の反映について	(1) 各種実施計画の策定の際に、審議会の開催やアンケート、パブリックコメント等が実施されているが、市民の意見を十分に集約し、反映ができていると考えるか。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10鶴 迫 京 子	1 公園（市民広場）の整備について	(1) 令和6年6月定例会で、屋根付き市民ふれあい広場を整備する考えはないか一般質問したが、調査研究するとの答弁であった。市民から「子供が家の中でゲームばかりしている」、「ウォーキングや散歩や友人と語り合う癒される広場がほしい」などの声も聞くが、その後の進捗状況について問う。	市 長
11持 留 忠 義	1 農業振興について	(1) 令和5年度に農業サポートセンターが設置されたが、事業の進捗状況を問う。	市 長
	2 畜産振興について	(1) 依然として子牛の価格や肉用牛価格の下落が続いているが、厳しい経営状況にある生産農家の更なる支援を行ってもらおうよう、国に対して要望することはできないか問う。 (2) 配合飼料価格の高騰が続いているが、対策を問う。	市 長 市 長
	3 茶業振興について	(1) 令和4年第4回定例会において、茶の年間平均価格が低迷している中で価格補填に取り組む考えはないかと質問したが、経営安定のための農業経営収入保険の加入への助成を行い、支援をしているとの答弁であった。収入保険に加入された方の人数とその効果について問う。 (2) 依然として肥料価格の高騰が続いており、生産農家の経営を圧迫しているが、本市としての見解と今後の具体的な対応策を問う。	市 長 市 長
12南 利 尋	1 物価高騰対策について	(1) 昨今、物価高騰に多くの市民が大変な思いをされている。誰ひとり取り残さないという観点から、市民の思いに寄り添ったどのような支援に取り組む考えかを問う。	市 長
	2 防犯対策について	(1) 闇バイトによる強盗事件や特殊詐欺など全国的に悪質な犯罪が多発している。市民の生命・財産を守るために、どのような防犯対策が講じられているのか問う。	市 長
	3 庁舎整備について	(1) 各庁舎に、市民や職員が気軽に利用できる売店・カフェ等を整備すべきではないか問う。	市 長
	4 観光振興について	(1) 道の駅整備やインバウンド対策など、稼ぐ観光地経営の実現に向けた施策について問う。 (2) ダグリ岬ベイサイドパーク構想の進捗状況と今後の課題を問う。	市 長 市 長
13小 園 義 行	1 施政方針について	(1) 令和7年4月に農業委員会を有明庁舎に移すとあるが、その後の松山支所の業務の在り方は、どのように変わるのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会 (No.7)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
13小園義行	1 施政方針 について	(2) 志布志庁舎は本庁兼支所、有明支所は農業分野を中心として再編されるが、松山支所をはじめ総合支所としての機能は、十分に保障されるのか。 (3) 県内初となる公立の学びの多様化学校の開校に向けて取り組むとあるが、基本的な考え方と今後の取組について問う。 (4) 「教育のまち松山」の構築を目指すとあるが、具体的な取組について問う。	市 長 市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	2 公共工事 について	(1) 市が発注する公共工事について、現在ある市内事業者で災害を含めて十分対応できるのか。	市 長
	3 認知症基 本法につい て	(1) 令和6年1月1日に施行されているが、本市での取組について問う。	市 長 教 育 長
	4 教育行政 について	(1) 新年度から全ての学級に担任の先生を配置できるように県教委としては対応がなされているのか。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年6月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野広嗣	1 政治姿勢について	(1) 下平市政が誕生してから、既に2期目の最終年度を迎えている。これまでの市政運営の総括（公約等の達成状況）と次期市長選（3期目）への出馬の意向について問う。	市 長
	2 第2期志布志市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	(1) これまでの市の地方創生の取組状況、成果、課題、今後の展開や考え方を確認する視点から、「第2期志布志市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取組状況について問う。	市 長
	3 循環型社会について	(1) 令和7年度の施政方針には、循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行を推進し、将来にわたって持続的な活動が行われる循環型社会の実現を目指すがあるが、今後の具体的な方向性について問う。	市 長
	4 GIGAスクール構想第2期（NEXT GIGA）について	(1) 2019年12月に学校におけるICT技術の活用を推進するためにスタートした国によるGIGAスクール構想は、まもなく5年半を迎える。既にGIGAスクール構想第2期（NEXT GIGA）に入っているが、その取組状況と今後の展望について問う。	教 育 長
2 野村広志	1 有害鳥獣被害対策について	(1) 近年、有害鳥獣による被害は、深刻さを増し、農作物被害だけにとどまらず、社会問題化しているのではないかと感じている。特にイノシシ・サルは、個体数の増加が懸念されており、多くの市民が被害に悩まされ、不安を感じている現状にある。そこで、本市における被害状況、また、今後の有害鳥獣被害対策について問う。	市 長
	2 本市のPR戦略（情報発信）について	(1) 各地方自治体では、人口減少社会への対応として公共サービス等の充実など、競争激化が見受けられる。そこで、「行ってみたいまち、住んでみたいまち」を具現化するために、本市では、どのようなPR戦略（情報発信）をとっているのか、現状と今後について問う。 (2) 国土交通省観光庁が所管するロケツーリズムについて、関係人口の創出や地域経済の活性化に寄与している実例が多く発表されている。そこで、本市でもロケ地の誘致をPR戦略の一つとして調査する考えはないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年6月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2野村広志	3 防犯街灯 施策の在り 方について	(1) 防犯街灯の設置・維持に対する支援として、本市では防犯街灯設置事業補助金と防犯街灯維持管理助成金が設けられている。市民の安全・安心のために、生活インフラとして最低限必要な明かりを提供するこれらの施策の在り方について問う。	市 長
3西江園明	1 地域の活 性化につい て	(1) 自治会の活性化について、市長の見解を問う。 (2) 市役所職員の自治会への加入状況と確認の方法を問う。 (3) 昨年度と比較して、防犯街灯維持管理助成金を削減した理由について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 自治会の リサイクル 活動につい て	(1) ごみの分別について、自治会の位置づけを問う。 (2) 自治会への環境保全促進事業補助金について、合併以降見直しされていないため、増額すべきではないか。	市 長 市 長
	3 集落道整 備事業につ いて	(1) 財源としていた起債が終わることで、今後集落道整備事業の財源確保が難しくなると聞いているが、今後の見通しについて問う。 (2) 狭あいな道路に面した土地に住宅を建築した場合、道路中心後退部分は、市へ所有権移転をすべきではないか。	市 長 市 長
	4 会計年度 任用職員の 人事異動につ いて	(1) 会計年度任用職員を異動させる理由とメリットを問う。 (2) 教育委員会では、会計年度任用職員をどのように位置づけているのか。	市 長 教 育 長
	5 物品購入 について	(1) 市内業者ではなく市外業者から物品を購入する場合、どのような基準で選定しているのか。 (2) 納税者である市内業者から優先して購入すべきと思うが、見解を問う。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
4八代 誠	1 防災行政 について	(1) 今後、台風による暴風雨や南海トラフ地震等が発生した場合は、土砂崩れ等により道路や通信網が寸断され、中山間部に散在する集落が孤立するおそれがある。本市の対策について問う。 (2) 令和6年能登半島地震を踏まえ、国は、令和6年6月に防災基本計画を見直した。その主なテーマは、災害関連死を防ぐための避難所の環境改善となっている。また、本年5月28日には、改正災害対策基本法が成立し、避難所の運営状況を把握することなどを講じることとされている。今後の本市における避難所運営について問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年6月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 八 代 誠	1 防災行政 について	(3) 本市単独の住宅リフォーム助成金のうち、木造住宅の耐震診断及び木造住宅の耐震改修のための工事の助成金額を見直す考えはないか問う。	市 長
5 隈元香穂子	1 産前産後のケアについて	(1) 市長は、「安心して子育てができるまちづくり」を公約とされている中で、助産院や産前産後ケア施設の必要性をどのように捉えているか問う。 (2) 令和5年9月定例会で、看護師等を経験された方を「人材バンク」に登録できる仕組みを構築できないか一般質問した。この「人材バンク」は、助産院や産前産後ケア施設の機能向上にも大きく寄与するものとするが、現在の取組状況について問う。	市 長 市 長
	2 使用済紙おむつのリサイクルについて	(1) 使用済紙おむつは、資源ごみとして専用の袋に入れて各家庭から出しているが、他のごみ袋と同様に有料となっている。無料化の検討はできないか問う。	市 長
	3 国民宿舎ボルベリアダグリについて	(1) 国民宿舎ボルベリアダグリは、令和5年4月1日から現在の指定管理者となっている。20年に及ぶ指定の期間である中で2年以上が経過したところだが、現状をどのように評価しているか問う。 (2) 現在の指定管理者に対して、売上など数値的な経営上の目標を提示していないのか問う。 (3) 指定管理者から市への納入金が0円という状況が続いている。残された指定の期間は約18年であるが、今後も一般財源からの支出が続くのではないかと懸念される。市長の見解を問う。 (4) 温泉の入浴料の値上げや利用時間の短縮は、市民サービスの低下を招いていると考えるが、市長の見解を問う。 (5) 指定管理者との間で締結した基本協定等については、現状の施設運営状況からみて見直しが必要ではないかと考える。市長の見解を問う。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長
6 戸山晋司	1 国民宿舎ボルベリアダグリについて	(1) 現在の国民宿舎ボルベリアダグリの施設状況は、利用者にとって快適な設備環境とは思えないが、市長の見解を問う。 (2) 市と指定管理者との現在の管理運営体制は適切であると考えているか、その評価と課題について問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年6月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6 栞山 晋司	2 PTAと教育委員会の関係について	(1) PTAは、長年にわたり、学校教育・地域との連携・防災等の側面で重要な役割を担ってきたが、近年、本市の一部の学校では、市PTA連絡協議会から脱退して独自組織を立ち上げようとする動きが見られる。そこで、以下のことについて問う。 ① 任意団体であるPTAに加入することのメリット・デメリットについて。 ② PTAは、教育委員会においてどのように位置づけられているのか。 ③ 市PTA連絡協議会から脱退し、独自組織を立ち上げた場合、教育委員会としての支援や関与はどこまで可能か。	教 育 長
	3 通学支援について	(1) 本市では、就学援助制度の一つとして通学用の自転車購入費の助成を行っているが、更なる保護者負担軽減の観点から、電動アシスト自転車を購入する場合の助成額の拡充ができないか。	市 長 教 育 長
7 南 利 尋	1 有害鳥獣対策について	(1) 近年、有害鳥獣の捕獲数は大幅に増加しているものの、個体数の増加に歯止めがかかっていないようである。報償金の増額や補助金の在り方の見直し等を行うべきではないか問う。 (2) 猟友会の高齢化が進み、会員の確保が喫緊の課題である。新たに狩猟免許を取得し罝を掛けても、鳥獣が捕獲できず、活動しなくなったという事例を聞く。新規免許取得者の技能向上を図るためにも、各地域での講習会の在り方を検討すべきではないか問う。	市 長 市 長
	2 スポーツ活動への支援について	(1) 昨今、部活動の減少により、新たな団体を作り活動している事例がいくつかある。子育て支援の観点からも、新たな支援体制を検討すべきではないか問う。	市 長 教 育 長
	3 経済活動拠点の整備について	(1) 都城志布志道路の全線開通による経済波及効果を最大限に発揮させるためにも、経済活動拠点の整備を検討すべきではないか問う。	市 長
	4 観光振興について	(1) ダグリ岬ベイサイドパーク構想の進捗状況を問う。 (2) ダグリ岬遊園地のアトラクションを増設し、オールシーズンの集客を図るべきではないか問う。	市 長 市 長
8 永 田 梓	1 合同金婚式について	(1) 令和4年第3回定例会で合同金婚式の送迎と祝賀会の開催について一般質問したが、その後どのような検討がされたのか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年6月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8 永 田 梓	2 やっちくふるさと村について	(1) やっちくふるさと村の現在の指定管理者の指定の期間は、今年度で満了となるが、今後の運営についてどのような協議がされているのか問う。	市 長
	3 防犯対策について	(1) 令和5年第2回定例会で、市が管理する公衆トイレと市内小中学校への防犯カメラの設置を提案したが、犯罪抑止の有効な手段となることが考えられることから、トイレだけでなく、安全・安心なまちづくりのため、関係機関等との連携、検討をしていくとの答弁であった。その後の進捗状況について問う。	市 長 教 育 長
	4 旧ひばりビルについて	(1) 2006年以前に建築された建物については、アスベストが使用されていると思われるが、旧ひばりビルの今後の維持管理について問う。	市 長
9 小 園 義 行	1 国保について	(1) 国保税の子供の均等割の軽減については、未就学児分について検討すると答弁されたが、対応を問う。 (2) 資格確認証を国保加入者全員に交付するようとの質問に対し、内部で検討すると答弁された。その後の対応を問う。	市 長 市 長
	2 健康増進法について	(1) 法の第6章で受動喫煙防止の総則と措置について規定されている。本市の公共施設や多数の者が利用する施設等における対応はどうか。	市 長 教 育 長
	3 選挙について	(1) 障害を抱えている人の投票する権利については、しっかりと対応されているか。	選挙管理 委員会委 員長
	4 個人情報の保護について	(1) 自衛隊鹿兒島地方協力本部が2023年12月19日付けで2024年度中に18歳や22歳になる住民の個人情報に加え、15歳になる住民の個人情報も紙や電子媒体で提供するように求めている。本市の対応を問う。	市 長 教 育 長
	5 学校教育について	(1) 不登校の児童・生徒の増加がある。その要因をどのように分析し、把握しているか。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年9月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野広嗣	1 将来推計人口を見据えたまちづくりについて	(1) 本年は、団塊の世代全員が75歳以上に達し、国民の5人に1人が後期高齢者となる。少子高齢化の進展により、人口における年齢構成が変化している中で、本市の将来推計人口を見据えたまちづくりについて問う。	市 長
	2 食のまちづくりについて	(1) 総務常任委員会の所管事務調査を行った千葉県館山市では、平成27年に「たてやま食のまちづくり計画」を策定し、推進理念の下に、目的（一次産業を始めとした地域の産業振興＝雇用・移住・定住・関係人口の増加）を明確にして事業に取り組んでいた。本市における食のまちづくりについての考え方を問う。	市 長
	3 高齢者等へのDX対策について	(1) デジタル化が加速する現代、生活のあらゆる面でインターネットやスマートフォンの活用が進んでいる一方で、デジタル社会にうまく適応できないことによる「生きづらさ」を感じている高齢者等も多い。自治体DXを推進する上での高齢者等へのDX対策について問う。	市 長
	4 学校図書館について	(1) 文部科学省は、学校図書館図書標準の達成、計画的な図書の更新、学校司書の配置拡充を図るために、令和4年度から令和8年度までの第6次学校図書館図書準備等5か年計画を策定し、目標を定め計画を進めているが、計画目標年度まで1年余りとなる中で、本市の取組状況について問う。	教 育 長
2 野村広志	1 防災行政について	(1) 防災対策基本法第42条の規定に基づき、志布志市防災会議が地域防災計画を定めているが、基本的な考え方や理念について問う。 (2) 本市での防災の在り方を考える上で、各地区内の自助・共助の計画として、地区防災計画の策定を推進する考えはないか問う。	市 長 市 長
	2 外国人労働者の確保・定着への取組について	(1) 本市の外国人労働者の現状について問う。 (2) 外国人労働者の増加の実態を本市ではどのように受け止め、多文化共生社会の実現に向けた取組を進めていく考えか問う。 (3) 外国人労働者の住居について、公営住宅を活用した支援は考えられないか問う。	市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年9月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 西江園明	1 今後の志布志港と都城志布志道路について	(1) 都城志布志道路の全線開通により、志布志港の貨物量も急速に増大傾向にある。そのような中、トラックヤードが手狭になった志布志港について、志布志港港湾計画の改訂の正式な発表はいつ頃になると県から伝えられているのか。 (2) 都城志布志道路は、急速にトラック等の交通量が増えていると思うが、現状の把握と今後の展望について問う。 (3) 都城志布志道路の全線4車線化について、早期に要望活動をすべきと思うが、見解を問う。 (4) 港湾の企業との情報交換は、どのような形で行っているのか。 (5) 港湾のコンテナヤードの運用に対し、市がもっと積極的に関わるべきと思うが、見解を問う。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長
	2 職員研修について	(1) 本市の職員研修の現状を問う。 (2) 港湾等の市内企業での実務従事等の職員研修を行ったことはあるのか。 (3) 職員が自由に研修先を選択できる柔軟な研修制度を導入すべきと思うが、見解を問う。 (4) 職員研修を充実させるため更なる予算措置をすべきと思うが、見解を問う。	市 長 市 長 市 長 市 長
4 小辻一海	1 特認校制度について	(1) 潤ヶ野小学校、田之浦小学校及び森山小学校を特認校制度による指定校とした経緯と特認校制度の内容について問う。 (2) 特認校制度について、保護者等からこれまでに出されたあらゆる意見・課題はどのように検証されたのか問う。 (3) 特認校に通学する児童について、スクールタクシーの廃止に伴う今後の通学手段をどのように考えているか問う。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	2 グループ制について	(1) グループ制の導入から約1年6か月が経過している。その効果が得られているか問う。 (2) 係長を中心とした指示系統(係制)に戻す考えはないか問う。 (3) グループ制の導入後に出されたあらゆる意見・課題について、しっかりと検証し具体的な取組が協議されているか問う。	市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年9月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 稲付洋平	1 農業政策について	(1) 自民党の食料安全保障強化本部は、農家の所得向上に向け、今後5年間で2兆5,000億円の予算を確保し、農地の大区画化を進めることなどを求める「農業構造転換集中対策の実施に向けた緊急決議」を決定し、内閣総理大臣に申入れを行った。この予算が計上された場合の本市における計画はあるのか。 (2) 本市の農家の平均年齢と離農件数について問う。 (3) 令和3年に策定した志布志市過疎地域持続的発展計画について、「事務事業マネジメントシート等による事業評価、効果検証を行う」となっているが、農業政策の効果検証をしているのか。	市 長 市 長 市 長
	2 土地改良事業分担金について	(1) 志布志市土地改良事業分担金徴収条例施行規則第2条第3号の農業農村整備事業の分担金は、「土地10アールにつき5万円を乗じて得た額」となっているが、この5万円の根拠を問う。 (2) 分担金の使途は、志布志市土地改良事業分担金徴収条例第1条に定められているが、その具体的な内容を示せ。	市 長 市 長
	3 ほ場整備事業について	(1) ほ場整備事業について、行政の関わり方を問う。	市 長
6 八代 誠	1 道路行政について	(1) 伐採作業が依然として実施されていない市道が多く見受けられる。今年度の市道伐採作業の状況について問う。 (2) 市道の交差点について、指導停止線が視認できない箇所が多く見受けられる。対策を急ぐために、地域コミュニティ協議会をはじめ、地域安全モニター部会や交通安全協会支部に補助金を交付し、指導停止線の補修作業ができる仕組みを構築できないか問う。	市 長 市 長
	2 伊崎田地区の住居環境整備について	(1) 伊崎田地区において、県立の「曾於地区特別支援学校」が令和10年4月に開校する予定となっている。このことにより、伊崎田地区には新たな地域特性が形成され、交流・関係人口が拡大すると考える。この機会を活かして、県と連携しながらまちづくりに取り組み、移住・定住を促進するための環境（住宅用地・学校職員用の戸建住宅等）の整備を検討できないか問う。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年9月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7永田 梓	1 環境行政について	(1) 使用済紙おむつの市全域の回収が令和6年度から始まったことで、埋立処分場の延命化が図られたとのことだが、その詳細を問う。	市 長
		(2) 災害ごみの仮置き場について問う。また、近隣の自治体と連携し、焼却処分することはできないか問う。	市 長
		(3) 井手間資源ごみ収集所について、粗大ごみの持込みが廃止となった経緯を問う。また、粗大ごみの持込みの再開を望む住民の声を聞いているが、再開する考えはないか問う。	市 長
		(4) 市内2か所の循環センター及び井手間資源ごみ収集所での一般ごみの回収について、見解を問う。	市 長
		(5) 令和6年第2回定例会において、循環センター（有明）に併設予定のリユースショップやリペア施設の運用開始時期についての質問に対し、「実証実験を踏まえ、運用方法や開始時期などについて、民間事業者とも協議・研究していく」との答弁であったが、その後の進捗状況について問う。	市 長
8南 利 尋	1 道路行政について	(1) 雑草、竹、雑木等の成長に道路の伐採作業が追い付いていない現状にある。道路維持作業員や重機を増やして対応すべきではないか問う。 (2) 集落伐採清掃報奨金について、近年続く物価高騰の影響を考慮し、増額を検討すべきと考えるが、見解を問う。 (3) 市内にある県道には、多くの危険箇所が点在する。保全管理のため、今以上に県と緊密な連携を図るべきではないか問う。	市 長 市 長 市 長
	2 地域振興について	(1) 地域社会における住民同士のつながりが薄れてきていることが懸念される。自治会員間の交流の機会を増やすためにも、各自治会の集会所内の設備が充実できるような補助事業を創設すべきではないか問う。	市 長
	3 職場環境整備について	(1) 市民サービスの向上を目指すためには、職員間で円滑なコミュニケーションが取れていることが不可欠である。庁舎内に職員が交流しやすい設備を整備すべきではないか問う。	市 長
	4 観光振興について	(1) ダグリ岬ベイサイドパーク構想は、市民も大きな期待を寄せている。本構想について、進捗状況を定期的に公開すべきではないかと考えるが、見解を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年9月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8南 利 尋	4 観光振興について	(2) ダグリ岬ベイサイドパーク構想の範囲には、国際の森周辺が含まれている。国道北側の国際の森周辺は、「県立公園」としての整備を県に要望していくべきではないか問う。	市 長
9東 宏二	1 ふるさと納税について	(1) 新聞報道によると、本市の令和5年度のふるさと納税寄附額は約67億6,500万円であったが、令和6年度は約15億7,400万円の減となった。その要因を問う。 (2) 令和7年度のふるさと納税寄附額の見通しは、令和5年度の水準に近づくと捉えているのか。	市 長 市 長
	2 道路行政について	(1) 市道の中央線や白線が消えている箇所が多く見受けられる。今後の対応について問う。また、県道・国道も同様の状況が見受けられるが、国・県との連携について問う。 (2) 市道の植樹帯の除草がされていない箇所が多く見受けられる。今後の対応について問う。また、県道・国道も同様の状況が見受けられるが、国・県との連携について問う。	市 長 市 長
10小園義行	1 情報保護の在り方について	(1) 本市の情報資産がSNS上において公開されたことが疑われる事案が確認され、セキュリティ侵害の発生を未然に防ぐ対策として、執務室への入室に関する措置が講じられている。これに至る経緯を問う。	市 長
	2 職員採用試験について	(1) 試験区分は、毎年度見直しをして決定されていると考えるが、それぞれの区分の現在(令和7年度)の職員数は、定数に対して何人いるのか。 (2) これまでの試験区分にない図書館及び学校図書室の司書及び司書補の採用をどのように考えているのか。 (3) 本市の障害者の法定雇用率の達成状況はどうか。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	3 学校教育について	(1) 中学校における部活動の地域移行の現状はどうか。 (2) 地域移行したときに、市役所職員が指導者として関われる環境作りはどうか。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	4 国保について	(1) 国は、国保の保険証の有効期限が過ぎた後でも、令和8年3月末までは利用できる旨の通知を出している。国保加入者への早急な周知が必要と考えるが、対策はどうか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年9月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10小園義行	5 自衛隊 への名簿 提供につ いて	(1) 現在の自衛隊への名簿提供の在り方について、自己情報コントロール権の視点から見直す考えはないか。	市 長
11鶴迫京子	1 福祉行 政につ いて	(1) 車椅子に対応した福祉車両を市で購入し、貸し出す事業に取り組むことができないか問う。	市 長
	2 がん検 診につ いて	(1) がん検診の種類別の対象者数と受診者数について、本市の現状を問う。 (2) がん検診の種類別の受診率は、近隣市町と比較してどのような状況にあるか問う。 (3) がん検診の更なる受診率向上のために、具体的な取組を検討しているか問う。	市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年12月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野広嗣	1 地域防災力の向上について	(1) 近年、災害が激甚化、頻発化する中で、地域での備えの重要性が一層高まっている。市民一人一人が、防災を自分事として捉え、地域での役割を果たせるような環境づくりがますます求められている。本市の地域防災力の向上に向けた考え方について問う。	市 長
	2 高齢者等の見守り支援について	(1) 近年の高齢化に伴い、高齢者の生活を支える見守り支援の重要性が増している。特に一人暮らしの高齢者の増加が全国的にも課題となる中、見守り体制の充実が求められている。本市における高齢者の見守り支援の取組状況について問う。	市 長
		(2) 人生の終わりについて考える終活は、これからの人生を自分らしく最期まで充実させるとともに、残された家族などの負担を軽減させるためにも重要な取組であると考えているが、身寄りがない人、支え手がない人などへの支援について本市の認識を問う。	市 長
	3 部活動の地域移行（地域展開）について	(1) 国は、これまで休日の部活動を段階的に地域へ移行することを目指していたが、地域全体で支えていくという趣旨に沿って、本年5月からは「地域移行」を「地域展開」に呼び方を変えている。これまでも部活動の地域移行について一般質問を重ねているが、その後の本市の現状について問う。	教 育 長
2 野村広志	1 「まちづくり」の将来展望について	(1) 喫緊の課題である人口減少・少子高齢化や未曾有の災害への備えなど都市の構造が変化する中で、様々な社会情勢への対応は急務である。そこで、本市が目指すべき持続的で安心して暮らせる「まちづくり」の将来像・基本的方向性について見解を問う。	市 長
		(2) 東九州自動車道及び都城志布志道路のインターチェンジ周辺エリアが持つポテンシャルを本市の発展につなげるため、まちづくりの視点からどのような施策を検討しているのか問う。	市 長
		(3) 都市計画マスタープランにおいて地域生活拠点として位置付けられている地域については、拠点化をどのように進め振興を図っているのか問う。	市 長
		(4) 松山支所の機能複合化と道の駅等近隣施設を含めた災害に強い拠点化を図り、地域の活性化につなげていく考えはないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年12月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 平野 栄作	1 蓬の郷 (ふれあ い交流セ ンター) について	(1) 蓬の郷(ふれあい交流センター)は、有明地域における市民の交流拠点の一つであるが、施設の老朽化が顕著であり、指定管理者制度を活用した今後の維持管理の継続も不透明に感じることから、以下の点について問う。 ① 今回の指定管理者の公募期間に応募がなかったことをどのように捉えているか。 ② 施設及び設備の老朽化が進んでいる中で、今後のふれあい交流センターの在り方をどのように考えているか。	市 長
	2 道路の 伐採作業 について	(1) 市道や農道の伐採について、人口の減少や高齢化によって作業が困難な自治会が増えている。また、近年では、雑草の成長が早く伐採作業が追い付いていないと感じられることから、以下の点を問う。 ① 伐採作業の現状と今後の考え方を問う。 ② 交差点の視認性が特に悪くなっている箇所のメンテナンスフリー化を重点的に進めていく考えはないか問う。 ③ 庁舎内における関係部署間の連携を図った上で、各種団体への作業要請を行う考えはないか問う。	市 長
4 丸山 一	1 水道水 の安全性 について	(1) NPOオアシス水環境研究会が市内の河川や小・中学校の水質調査を実施しているが、市が毎月検査、公表している亜硝酸窒素の数値に違いがある。水道水の安全性に問題はないか問う。	市 長
	2 急傾斜 地対策に ついて	(1) 押切地区の急傾斜地について、土地の所有者が伐採を行っているが、大きな切株が斜面に多量に残されている。津波が発生した際の避難ルートでもあることから、市で急傾斜地の対策を講じることはできないか。 (2) 令和5年第4回定例会において、通山地区の急傾斜地についての質問に対し、「どのような管理が県のほうで行われているかなどを含め、その実態を確認したい」との答弁であったが、その後の改善がみられないところである。現在の進捗状況は、どのようになっているか問う。	市 長
5 永田 梓	1 市営住 宅につい て	(1) 松山地域の市営住宅に空きが増加している。現在の入居要件の緩和を検討できないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年12月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 永田 梓	2 やっちくふれあいセンターの設備について	(1) やっちくふれあいセンターは、会議室が少なく市民の利用がしづらい状況にある。時代に合わせた改修を行い、誰もが利用しやすい施設にすることはできないか問う。	教 育 長
	3 やっちく松山藩出城公園の遊具について	(1) やっちく松山藩出城公園の遊具のほとんどが老朽化によって使用禁止になっており、子供たちから不満の声が上がっている。全ての子供が共に遊べる遊具の整備ができないか問う。	教 育 長
6 青山 浩二	1 奨学金返還支援事業について	(1) 少子高齢化により、人口減少が急速に進行する中、人口流出・若者の移住定着の対策として、奨学金返還支援事業を実施しているが、目的である定住促進を更に加速させるため、対象要件の緩和等を行うべきであると感じることから、以下の点について問う。 ① 年度別の実績（申請者数・認定者数・却下者数・補助額）と効果検証について問う。 ② 対象年齢34歳以下と支援額の上限24万円の妥当性について問う。 ③ 支援事業の対象者となるための要件が厳しく、対象者にならない事例がある。要件を緩和する考えはないか問う。 ④ 離職時の取扱いが厳しすぎるとの意見がある。要件を緩和する考えはないか問う。 ⑤ 申請手続が煩雑で負担が大きいとの意見を聞く。申請手続の簡素化を図る考えはないか問う。	市 長
7 戸山 晋司	1 ラーケーションの導入について	(1) 家庭や地域での体験を通じて学びを深めるラーケーションという新しい取組が注目されている。本市におけるラーケーションの捉え方と導入の可能性について問う。	教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年12月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7 栞山晋司	2 ユニバーサルプールの取組について	<p>(1) 令和5年6月定例会において、本市におけるユニバーサルビーチの取組について質問を行った。海岸での取組は意義深い一方、今後、本市では特別支援学校の分置が予定されており、多様な利用者が安全かつ安定的に利用できる環境整備も重要であると考えことから、以下の点について問う。</p> <p>① 屋内施設で管理しやすく、利用者の安全確保が図りやすいユニバーサルプールの取組についても検討すべきではないか。</p> <p>② ユニバーサルプールを含むユニバーサルレクリエーション施設の整備等、市としての基本的な考え方を問う。</p>	市 長 教 育 長
	3 予防医療について	<p>(1) 医療費の負担が更に増加するといわれる2040年問題について、以下の点を問う。</p> <p>① 本市における2040年問題をどのように捉えているか。</p> <p>② 超高齢化社会であっても、健康な人が多い社会を目指し、更なる予防医療についての取組を検討してはどうか。</p>	市 長
8 小園義行	1 志布志港港湾計画改訂について	<p>(1) 令和7年10月7日に県地方港湾審議会が開かれ、大幅な変更を盛り込んだ志布志港港湾計画を了承し、12月に計画改訂が告示される予定である。この計画改訂による本市への港湾改修負担金等を含めた影響をどのように受け止めているか。</p>	市 長
	2 教育行政について	<p>(1) 新入学時における保護者への負担軽減を図るため、制服代等に対する購入補助をする考えはないか。</p>	市 長 教 育 長
	3 水道事業について	<p>(1) 漏水等の故障が発生した場合、市民への対応は、どのようにされているか。</p>	市 長
		<p>(2) 以前のような修繕当番制に取り組む考えはないか。</p> <p>(3) 水道課に水道関連の資格を持った職員を採用し、市民の利便性を図る考えはないか。</p>	市 長
4 政治姿勢について	<p>(1) 市長の退職金について問う。</p>	市 長	